取扱説明書

デジタルカメラ

品番 DSC-SX150

準備

撮影・録音

再生

その他の操作

付録

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。3～12ページの「デジタルカメラを安全に正しくお使いいただくために」は必ずお読みください。また、後々のために「保証書」とともに大切に保管してください。

● 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の(　)内の記号が色記号です。

取扱説明書をお読みになる前に

電波障害自主規制について

この製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

記録するメディアについて

- 本機はコンパクトフラッシュとマイクロドライブの両方が使用できます。この説明書ではコンパクトフラッシュを基本として記載しています。本説明書ではコンパクトフラッシュとマイクロドライブを総称してカードと呼びます。

ご注意

- この説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- この説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客さまにより不適当に使用されたり、この説明書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定外の第三者により、修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社純正品および、当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、修理その他の理由により生じたデータの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影した画像の質は、フィルム式カメラの写真の質とは異なります。

この説明書では、次の記号でお知らせします。

もう少し詳しい説明や、操作上の注意事項

困った状態になったときの原因や対処のしかた

便利な使いかた

参照ページ

もくじ

ページ

準備 撮影・録音 再生 その他の操作 付録

デジタルカメラを安全に正しくお使いいただくために

安全のため必ずお守りください

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に、具体的な注意内容が描かれています。
（左の絵表示は、注意することを意味します。）

分解禁止

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左の絵表示は、分解禁止を意味します。）

充電器をコンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左の絵表示は、充電器をコンセントから抜け、という指示です。）

⚠警告

デジタルカメラについて

■煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

- 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。電源を切りすぐに電池を取りはずして、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。

■キャビネットをはずしたり、改造しない

- 内部には高電圧回路があり、手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
  内部の点検･調整･修理は、お買い上げ販売店にご依頼ください。

■運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどを運転しながらの撮影や再生、液晶モニターを見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- 自動車内に置くときは急ブレーキなど、カメラが落下してブレーキ操作の妨げにならないように、十分にご注意ください。
- 歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■撮影時は周囲の状況に注意をする

- 周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。
- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しないでください。事故の原因となることがあります。

■カメラをぬらさない

- このカメラは防水構造になっていませんので、ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂、シャワー室では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、電源を切り、速やかに電池を取りはずして、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■雷が鳴り出したら使わない

- 落雷を避けるため、雷が鳴り出したら使用しないでください。特に広い野原などでの撮影や携帯は、落雷により感電する恐れがあります。
  速やかに落雷を回避できる場所へ避難してください。

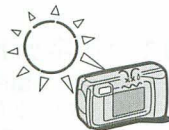
⚠警告

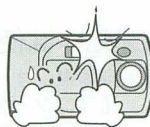
デジタルカメラについて(つづき)

■不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一カメラを落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電池を取りはずして、お買い上げ販売店にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

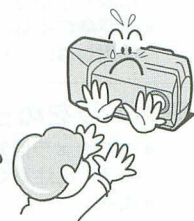
■太陽を見ない

- 太陽や強い光に向けて撮影しないでください。目に傷害を起こす原因となります。

■フラッシュを目に近づけて発光させない

- カメラを人の目(特に乳幼児)に近づけて撮影しないでください。
  目の近くでフラッシュを発光させると、視力障害を起こす原因となります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

■爆発の危険があるところでは使わない

- 可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。

■カメラを幼児やお子様の手の届く範囲に放置しない

- 次のような思わぬ事故の原因となります。
  - 誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
  - 電池や小さな部品を飲み込む。
    万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
  - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を引き起こす。
  - カメラでけがをする。

⚠警告

■電池の注意

付属の電池(ニッケル水素電池)の注意事項

● 電池の液漏れ、発熱、破裂、発火、事故の原因となりますので、以下のことをお守りください。

- ・付属の充電器で充電する
- ・電池の極性(プラス⊕とマイナス⊖)を間違わないように使う
- ・火中に投入したり、加熱しない
- ・プラス⊕とマイナス⊖を針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない
- ・変形させたり、分解、改造しない
- ・電池を水や海水につけたり、端子部分をぬらさない
- ・所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止める
- ・外装チューブをはがしたり、傷をつけない
- ・液漏れしたり、変色、変形、その他異常状態に気づいたときは使用しない
- ・幼児やお子様の手の届く範囲に放置しない
- ・電池を落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない
- ・充電した電池と放電した電池を混ぜて使用しない
- ・２本の電池を同時に充電して使用する
- ・お買い上げ後、初めての使用や、長時間使用しなかった場合は、必ず充電する

● 使用や保管場所の注意

使用環境：●温度		●湿度
	0℃～40℃（充電時）	45％～85％
	0℃～50℃（放電時）	
	－20℃～30℃（保管時）	

一般注意事項

● 本機には付属のニッケル水素電池を使用してください。マンガン乾電池は電池の寿命が短いばかりでなく、電池の発熱などにより本機の故障や事故の原因となることがありますので使用できません。

● 充電している電池と放電している電池を混ぜたり、ニッケル水素電池とニカド電池など、種類やメーカーの異なる電池を混ぜての使用は絶対にしないでください。

● カメラに入れるときは、極性(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、表示通りに入れてください。

● 種類の異なる電池を混ぜたり逆に入れたりすると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 電池は、有名メーカー品をお買い求めください。外装チューブがついていないなどの粗悪な電池を使用すると火災、けが、やけどの原因となります。

● 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取りはずしはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。

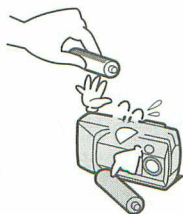
● 万一電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらずに、きれいな水で洗った後、医師にご相談ください。

● 電池を落としたり、ぶつけたりしないでください。

● カメラを長期間使用しない場合は、電池を取りはずし、涼しいところに保管してください。(長時間電池を取りはずしたままで放置すると、時刻・日付の設定をクリアします。)

● 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

● 10℃以下で使用する場合は、電池の使用時間が著しく短くなります。

● ご使用になる電池の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

⚠警告

付属の充電器について

■当社製ニッケル水素電池とニカド電池以外は充電しない

- ニッケル水素電池(付属品または別売のHR-3US、HR-3U)とニカド電池(別売のN-3US、N-3U)以外は充電しないでください。乾電池や他の充電式電池を充電したり、種類の異なる電池を同時に充電したりすると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となります。

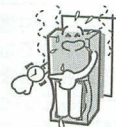
■電池の極性(プラス⊕とマイナス⊖)に注意する

- 電池は充電器に表示通りに入れてください。極性を間違えると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

■電源電圧AC100Vで使用する

- 電源電圧がAC100V以外で使用すると、火災、感電の原因となります。

■充電が終われば、コンセントからはずす

- 長時間コンセントに差したまま放置すると、火災の原因となることがあります。特に、まる2日(48時間)以上の連続充電をすると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となります。
- コンセントからはずした充電器は床などに放置しないでください。
  誤って踏むと、けがの原因となります。

■電源プラグの注意

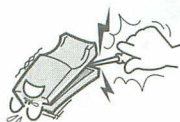
- 充電器はコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
- 電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- 電源プラグやコンセントに、ほこりなどを付着させないでください。ほこりなどにより、ショートや発熱が起こって、火災の原因となります。
- 電源コンセントから抜くときは、無理に引っ張らないでください。電源プラグが傷み、火災、感電の原因となります。

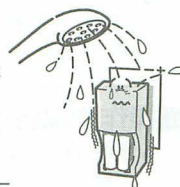
■煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

- 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。コンセントから抜いて、電池を取りはずし、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。

⚠警告

■分解したり、改造しない

- 内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。

■充電器をぬらさない

- 充電器を水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 風呂、シャワー室では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、電池を取りはずし、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ぬれた手で充電器をさわらない

- 感電の原因となります。

■雷が鳴り出したら使わない

- コンセントに差している充電器には、触れないでください。感電の原因となります。

■不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、電池を取りはずし、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■使用や保管場所の注意

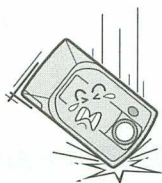
- 発熱体(ストーブの前面)や直射日光が当たるところで、充電しないでください。

使用環境：
- 温度　0℃～40℃（充電時）
  −20℃～60℃（保管時）
- 湿度　45％～85％
  （充電時、保管時）

⚠注意

デジタルカメラについて

■持ち運びの注意

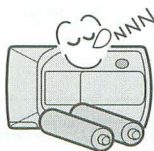
- ハンドストラップに手を通したまま、カメラを固定しないで持ち運ぶと、カメラに衝撃を与えたり、他のものに当たったりして故障やけがの原因となります。持ち運ぶときは、手でおさえるか、ポケットに入れるなど固定してください。
- カメラを落としたりぶつけたり、大きな衝撃を与えないようにご注意ください。
- レンズを直射日光に当てないでください。カメラ内部を傷めることがあります。撮影しないときは、レンズカバーを閉じてください。

■操作や保管場所の注意

- 本機は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での操作や保管は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

・直射日光が当たる場所
・温度および湿度変化の激しい場所
・水にぬれやすい場所
・冷暖房器具や加湿器に近い場所
・自動車の中
・ほこりやちりの多い場所
・火気のある場所
・揮発性物質のある場所
・振動のある場所

使用環境：	●温度	0℃～40℃（動作時）	●湿度	30％～90％（動作時、非結露）
		－20℃～60℃（保管時）		10％～90％（保管時、非結露）

■長期間使用しない場合の注意

- 安全のため電池を取りはずしてください。電池の発熱や液漏れなどにより、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となることがあります。（長時間電池を取りはずしたままで放置すると、時刻･日付の設定をクリアします。）

⚠注意

その他の機器について

■ACアダプター使用時のご注意

- このデジタルカメラにACアダプターをご使用になる際は、別売の専用ACアダプター(DSA-34)を使用してください。
- 他のACアダプターを使用すると、カメラ本体が故障したり、火災や感電など思わぬ事故が起きる可能性があります。
- 安全に正しくお使いいただくために、専用ACアダプター(DSA-34)に付属の取扱説明書を必ずお読みください。

■コンパクトフラッシュ・マイクロドライブのご注意

- 使用直後のコンパクトフラッシュ・マイクロドライブは高温になることがあります。
  コンパクトフラッシュ・マイクロドライブの取り出しはカメラの電源を切り、温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 幼児やお子様の手の届くところに放置しないでください。誤って口に入れるなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■大切な撮影は事前に確認を

- 大切な撮影をされる場合は、正常に撮影ができることを確認してください。
- 本機や別売の機器、ソフトウェアなどを使用中、万一これらの不具合により撮影や記録できなかった場合、撮影内容の補償や、撮影・記録できなかったことによる損失の補償については、ご容赦ください。

■著作権法について

- あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■お手入れとご注意

お手入れのしかた

1. 電源を切って、電池を取りはずす
2. 柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは…

3. 水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。
  変質したり、塗料がはげることがあります。
  また、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- デジタルカメラに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間、接触させたままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

正しくご使用いただくために必ずお守りください（つづき）

■レンズのお手入れとご注意

- レンズが汚れたら、市販のブロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください。

■使用しないときは

ふだん使用しないとき

- レンズカバーを閉じておいてください。

長期間使用しない場合

- 電池を取りはずしてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電池を入れて作動させてください。
- カメラの機構上、電源を切っても微少電流が流れています。ニッケル水素電池を長時間カメラに入れたままにすると、過放電状態になり、場合によっては充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。

■露つき（結露）のご注意

- デジタルカメラに露つきが起きた状態で使用すると、故障する場合があります。

露つきとは…

- よく冷えた水をコップに注ぐと、コップのまわりに水滴がつきます。これと同じように、カメラ内部にも水滴がつくことがあります。
このような状態を露つき（結露）といいます。

このようなときは、露つきにご注意

- 寒い所から急に暖かい部屋に持ち込んだとき
- 部屋を急激に暖房するなど、急に周りの温度が変わるとき
- エアコンなどの冷風が、直接当たる所に置いたとき
- 湿気の多い所に置いたとき

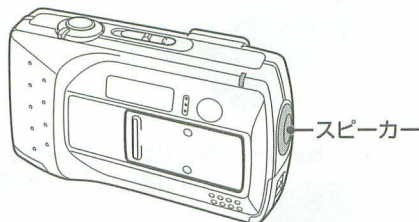
露つきが起こりそうなときは…

- デジタルカメラをポリ袋などに入れて密封し、周囲の温度になじませてから使用してください。

■不要電波の放射にご注意

- デジタルカメラをテレビやラジオの近くでご使用になると、受信障害が起きることがあります。不要電波の放射を軽減するために、付属のAV接続ケーブルのコアを取りはずさないでください。

■磁気にご注意

- 本機のスピーカーのそばにクレジットカードやキャッシュカード、磁気定期券、フロッピーディスクなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データがこわれて、使用できなくなることがあります。

■データ保存について

- 大切なデータは別のメディア（フロッピーディスク・ハードディスク・MOディスクなど）へコピーされることをおすすめします。
- 下記などの場合、記録したデータが消失（破壊）することがあります。データの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
  - ・コンパクトフラッシュやマイクロドライブの使用方法を誤ったとき
  - ・コンパクトフラッシュやマイクロドライブが正しく機器に装着されなかったとき
  - ・コンパクトフラッシュやマイクロドライブが電気的・機械的なショックや力を受けたとき
  - ・コンパクトフラッシュやマイクロドライブへのアクセス中に、コンパクトフラッシュやマイクロドライブを取り出したり、機器の電源を切ったとき
  - ・コンパクトフラッシュやマイクロドライブが寿命になったとき

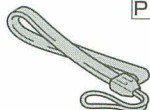
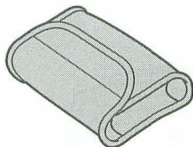
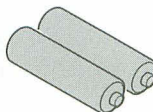
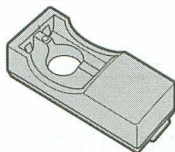
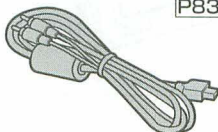
■コンパクトフラッシュやマイクロドライブの取り扱い上のご注意

- コンパクトフラッシュやマイクロドライブは精密部品です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。特にマイクロドライブは振動に弱い構造になっていますのでご注意ください。
- 極端に高温や低温な場所、直射日光の当たる場所、しめきった車の中、暖房器具のそば、湿気やほこりの多い場所での使用や保管はさけてください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところでのご使用・保管は避けてください。
- コンパクトフラッシュやマイクロドライブの端子部に、ごみや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。
- 使わないときは静電破壊防止のため、付属の保護ケースに入れてください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったとき等に力が加わり、壊れることがあります。
- 未使用のカードは、必ず本機で初期化（フォーマット）をしてからご使用ください。「カードの初期化 P111」
- 別売品または市販品をご使用になる場合は、機器に付属の取扱説明書をよくお読みください。

付属品を確認してください

P は、説明のあるページです。

箱を開けて、以下の付属品がそろっているか確認してください。

● ハンドストラップ P14

● ソフトケース P14

● 単3形ニッケル水素電池：2本 P17

● ニッケル水素電池充電器 P17

● AV接続ケーブル：1本 P83

● コンパクトフラッシュ(8MB)：1式 保護ケース

本機で使えるカードについて

本機は撮影した画像や録音した音声を本体内に装着したカードに保存します。
撮影可能枚数や撮影/録音可能時間は、装着するカードの容量や撮影内容などによって異なります。

本機に装着し、使用できるカードは以下のとおりです。

●コンパクトフラッシュ

●マイクロドライブ

マイクロドライブ使用時には特有の注意事項があります。ご使用の前に「マイクロドライブ使用時のご注意 P119」を参照ください。

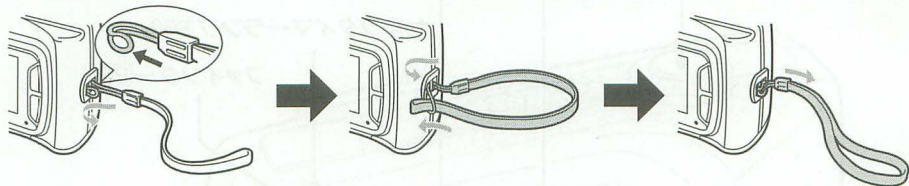
カードの表記について

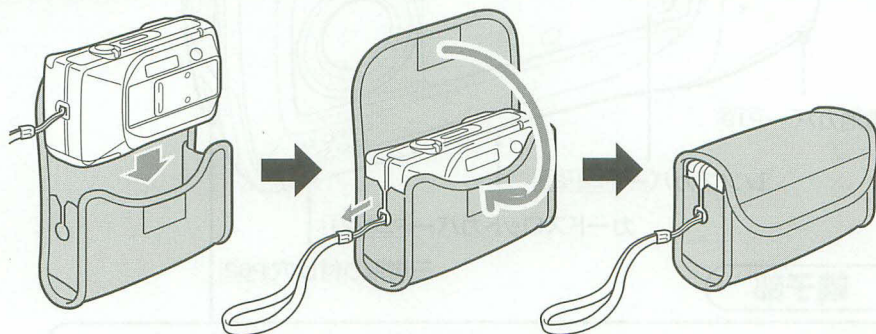
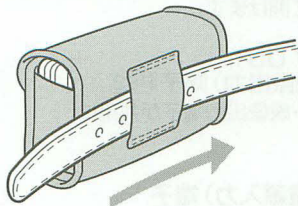
- 本書では本機で使用できるコンパクトフラッシュやマイクロドライブを「カード」と表記します。
- 本書で掲載しているカードのイラストはコンパクトフラッシュですが、装着・取り外し・初期化などは、マイクロドライブの場合でも同じ操作でできます。

ハンドストラップとソフトケースの使いかた

付属のハンドストラップを本機に取り付けておくと、持ち運びに便利です。
また、使わないときはカメラを保護するために、ソフトケースに入れておきましょう。

ハンドストラップの取り付け

ストラップの先を曲げておくと、ストラップホルダーに通しやすくなります。

ソフトケースを使う

ソフトケースの穴からハンドストラップを外に出しておくと、持ち歩くときに便利です。

ベルトなどに取り付けることもできます。

- ソフトケースを閉じていても急激な動作や衝撃により、カメラが飛び出すことがありますのでご注意ください。

各部のなまえ

P　は、説明のあるページです。

前面

フラッシュ発光部 P50・59

シャッターボタン P23・51・52

マイク P61・90

セルフタイマーランプ P62

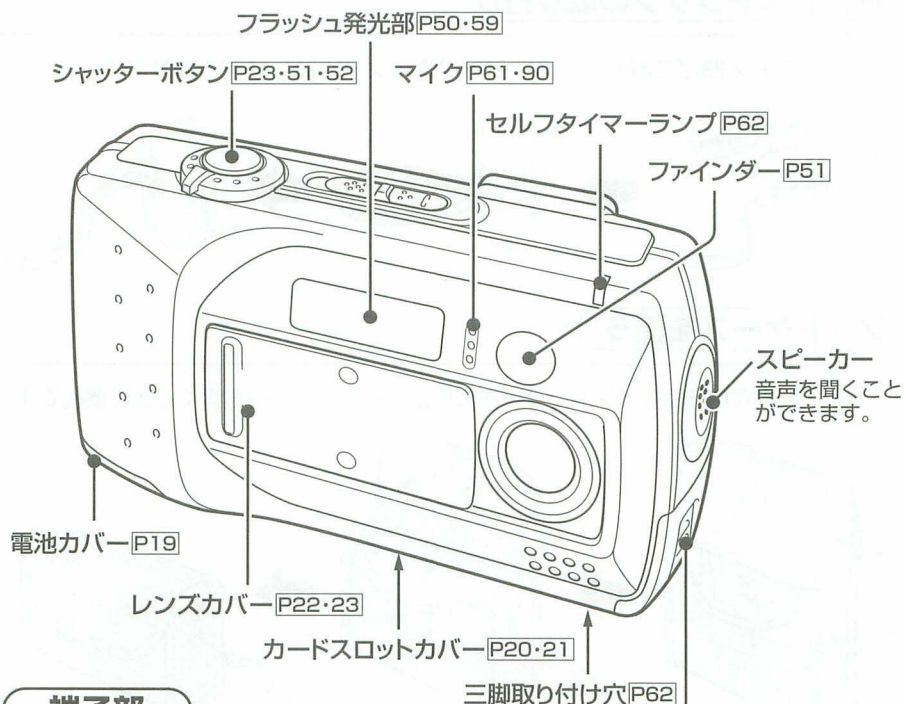
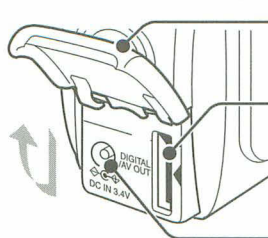
ファインダー P51

スピーカー
音声を聞くことができます。

電池カバー P19

レンズカバー P22・23

カードスロットカバー P20・21

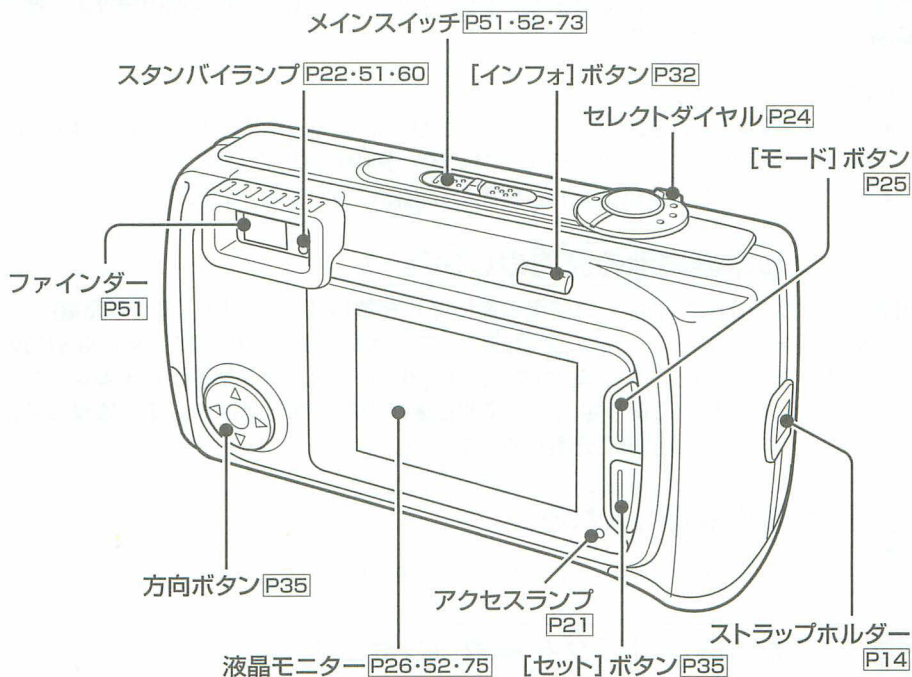
三脚取り付け穴 P62

端子部

端子カバー
下へスライドして開けます。

DIGITAL/AV OUT
（通信/音声・映像出力）端子 P83
通信端子と音声・映像出力端子が共用になっています。

DC IN（外部電源入力）端子

準備

後面

メインスイッチ P51・52・73
スタンバイランプ P22・51・60
［インフォ］ボタン P32
セレクトダイヤル P24
［モード］ボタン P25
ファインダー P51
方向ボタン P35
アクセスランプ P21
ストラップホルダー P14
液晶モニター P26・52・75
［セット］ボタン P35

＊使用中、液晶モニターのまわりが熱を持ちますが、内部構造による現象です。故障ではありません。

＊液晶モニターはその性質上、画素抜け（黒い点、白い点）などや常時点灯する点が出ますが、故障ではありません。

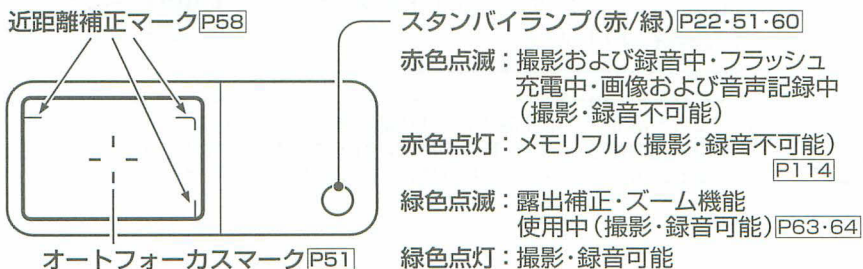
ファインダー内の表示

スタンバイランプ（赤/緑） P22・51・60

赤色点滅：撮影および録音中・フラッシュ充電中・画像および音声記録中（撮影・録音不可能）

赤色点灯：メモリフル（撮影・録音不可能） P114

緑色点滅：露出補正・ズーム機能使用中（撮影・録音可能） P63・64

緑色点灯：撮影・録音可能

電池の準備

準備

電池は、付属または別売の単３形ニッケル水素電池をご使用ください。単３形ニカド電池も使えますが、単３形ニッケル水素電池に比べて使用時間が短くなります。また、外出中にニッケル水素電池がなくなった場合、アルカリ乾電池でもファインダーを使う撮影P51ならば、ある程度撮影可能です。ただし、アルカリ乾電池の特性上、使用時間が極端に短くなります。

⚠注意

- マンガン乾電池は電池の寿命が短いばかりではなく、電池の発熱などにより本機の故障の原因になることがありますので、使用しないでください。
- 安全のため「電池の注意P6」と「付属の充電器についてP7」をお読みください。

ニッケル水素電池の充電のしかた

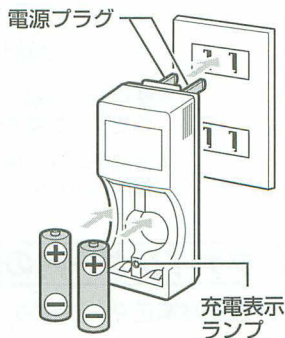
付属のニッケル水素電池は、ご使用の前に必ず充電してください。電池の充電には、付属の充電器を使います。この充電器は、ニッケル水素電池（付属品または別売のHR-3US、HR-3U）とニカド電池（別売のN-3US、N-3U）の充電ができます。ニッケル水素電池をはじめて使う場合や、電池残量が少なくなったとき（「電池残量のチェックP39」）は、以下の手順で充電してください。

1 電池を充電器に入れる

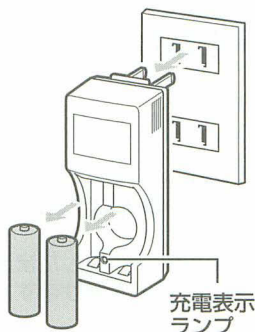
- 電池の極性（プラス⊕、マイナス⊖）に注意してください。

2 充電器の電源プラグを電源コンセント（AC100V）に差し込む

- 充電が始まります。
- 充電中は、充電器の充電表示ランプが点灯します。
- 過放電した電池の場合、点滅することがありますが、点灯に変われば正常です。
- 充電が終わると、充電表示ランプが消えます。

充電時間のめやす（付属のニッケル水素電池）
・２本充電時：約150分

- 別売のニカド電池を２本充電するときのめやすは、約100分です。
- 充電時の周囲温度は、約10℃以上に保たれることをおすすめします。約10℃以下では、電池の特性により、十分に充電ができない場合があります。

3 充電が完了（充電表示ランプが消灯）したら、充電器を電源コンセントから取りはずす

4 充電器から電池を取りはずす

- 新しくお買い求めの電池は、必ず充電してからお使いください。
- 電池は使わずに保管していた場合でも、自然放電します。必ず充電してからお使いください。
- 電池の使いはじめや長い間使用していなかった電池は、充電しても満充電しにくくなっています。（付属のニッケル水素電池を正常に充電した場合は約150分かかります。これより極端に短い時間で充電が終わるようなときは、十分な充電ができていませんのでご使用になってもすぐに電源が切れます。）この場合、充電して使用することを２～３回繰り返すと、正常な状態に戻ります。
- 正しく電池をセットしても充電表示ランプが点滅し続けたり、短時間で電池が発熱する場合は、電池の寿命が尽きたと考えられます。新しい電池で同じような状態になったり、充電開始から200分以上たっても充電表示ランプが消えない場合は、何らかの異常と考えられます。このような場合は、すぐに使用を止め、お買い上げ販売店にご相談ください。
- 充電は、電池２本を同時にしてください。
- 充電中、充電器や電池があたたかくなりますが、異常ではありません。
- 充電中、テレビやラジオに雑音が入ることがあります。そのようなときは、テレビやラジオからなるべく離れたコンセントで充電してください。

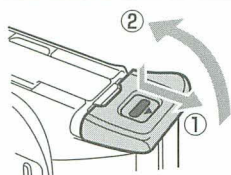
電池の準備（つづき）

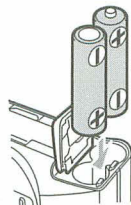
電池の入れかた

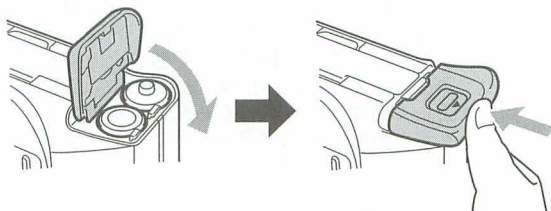
1 メインスイッチを[モニター切]または[カメラ]にする

2 レンズカバーを閉じる

3 底面の電池カバーを開ける

- 電池カバー中央のボタンを押したまま、電池カバーをスライドして開けます。

4 充電したニッケル水素電池を、電池ホルダーに入れる

- 電池の極性（プラス⊕、マイナス⊖）に注意してください。

5 電池カバーを閉じる

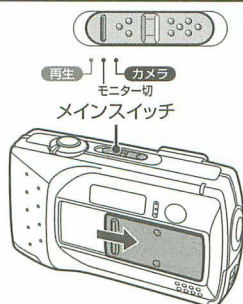
- カチッと音がするまで、電池カバーを矢印の方向に押してください。

- 本機は構造上、電源が切れている状態でもわずかずつ電池を消耗します。使用しないときは、電池を取りはずしておくことをおすすめします。ただし、電池を取りはずすと、日付・時刻を設定している場合は、設定をクリアする場合がありますので、使用時には日付・時刻表示を確認してくださいP36。

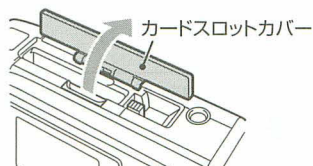
カードの装着と取り出し

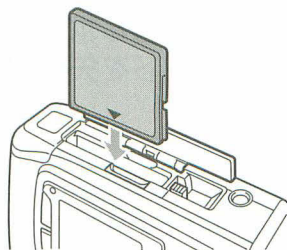
本機で撮影した画像は、カードに保存します。撮影の前に必ず装着してください。
カードの取り扱いについては、「コンパクトフラッシュやマイクロドライブの取り扱い上のご注意 P12」を参照してください。付属のコンパクトフラッシュも含め未使用のカードは、必ず本機で初期化（フォーマット）してからご使用ください。「カードの初期化 P111」

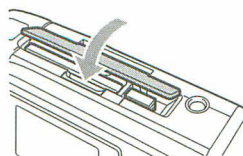
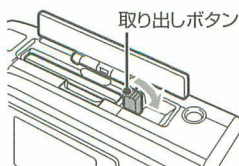
準備

カードの装着

1 メインスイッチを[モニター切]または[カメラ]にする

2 レンズカバーを閉じる

3 電源が切れていることを確認し、底面のカードスロットカバーを開ける

4 カードを装着する

- 端子部を下向きにして、矢印（▼マーク）の方向に装着します。
- 奥までしっかりと差し込んでください。

5 取り出しボタンを倒して、カードスロットカバーを閉じる

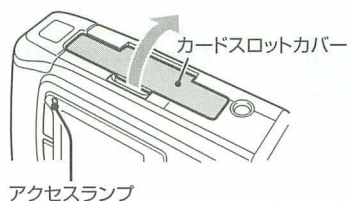
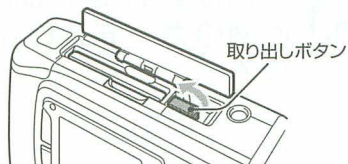
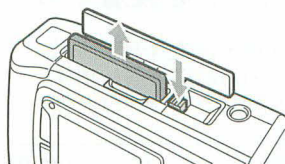
- カードを装着すると、取り出しボタンが出てきます。矢印の方向に取り出しボタンを倒してください。

カードの装着と取り出し（つづき）

カードの取り出し

1 メインスイッチを[モニター切]または[カメラ]にする

2 レンズカバーを閉じる

3 アクセスランプが点滅していないことを確認し、底面のカードスロットカバーを開ける

- アクセスランプが点滅または点灯しているときは、データの書き込み中です。この時は絶対にカードを取り出さないでください。

4 取り出しボタンを起こす

5 取り出しボタンを押し込み、カードを矢印の方向に取り出す

6 カードスロットカバーを閉じる

- カードに記録できる画像の枚数については、「撮影可能枚数/撮影可能時間/録音可能時間P119」をご覧ください。
- カードは、市販のコンパクトフラッシュ用PCカードアダプターと組み合わせると、PC Card Standard-ATAに準拠したPCカードとして使用可能です。

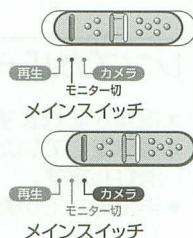
電源の入れかた・切りかた

電源の入れかた

撮影時と再生時で、電源を入れる操作が異なります。

撮影時

1 メインスイッチを[モニター切]または[カメラ]にする

[モニター切]：液晶モニターを使わない
[カメラ]　　：液晶モニターを使う

2 レンズカバーを開ける

- 電源が入ります。
- ファインダー横のスタンバイランプが点灯します。
- メインスイッチが[カメラ]の場合、液晶モニターに画像が出ます。

再生時

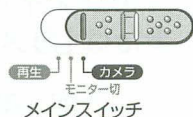
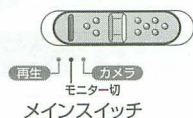
1 メインスイッチを[再生]にする

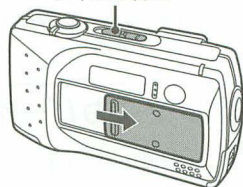
- 電源が入ります。
- 液晶モニターに画像が出ます。
- レンズカバーは閉じていても、開いていても再生に影響ありませんが、レンズ保護のため、レンズカバーを閉じておくことをおすすめします。

NO CARD表示が出る?
- カードを装着していない場合、液晶モニターに[NO CARD]表示が出ます。使用前には、必ずカードを装着してください。

電源の入れかた・切りかた（つづき）

電源の切りかた

1 メインスイッチを[モニター切]または[カメラ]にする

2 レンズカバーを閉じる

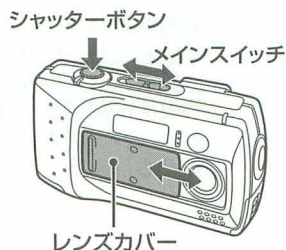
- 電源が切れます。
- 撮影をしていた時は、スタンバイランプが消灯します。
- 再生をしていた時は、液晶モニターが消灯します。

パワーセーブ状態から電源を入れる

電源の切り忘れなどによる電池の消耗を防ぐため、電源が入った状態で操作を行わないまま放置（撮影時：約１分間、再生時：約５分間）すると、自動的に電源が切れる「パワーセーブ機能」が備わっています。

撮影時に再度電源を入れるには

1 レンズカバーを開閉するか、またはシャッターボタンを１回押す

再生時に再度電源を入れるには

1 レンズカバーを開閉するか、メインスイッチを[再生]以外に切り替え、[再生]に戻す

- 別売のACアダプター（DSA-34）を接続している場合、電源を入れてから約30分後にパワーセーブ機能が働きます。また、電池を使ってパソコンを接続している場合は、約５分後にパワーセーブ機能が働きます。
- パソコンを接続した場合、パソコン側でパワーセーブ機能の時間を設定することができます。詳しくは別売のパソコン接続キットP112の取扱説明書をご覧ください。

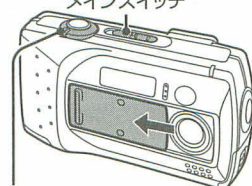
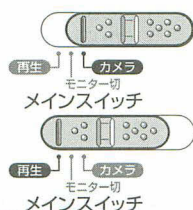
設定画面とオプション設定画面の出しかた・消しかた

撮影と再生の画面には、それぞれに設定画面とオプション設定画面があり、画面を見ながら色々な設定や操作ができます。

設定画面とオプション設定画面の出しかた

1 メインスイッチを合わせる

[カメラ]：撮影設定画面または撮影オプション設定画面を出すとき

[再　生]：再生設定画面または再生オプション設定画面を出すとき

2 撮影時は、レンズカバーを開ける

- 液晶モニターに画像が出ます。

3 セレクトダイヤルをまわし、希望する操作のマークに合わせる

	撮影時	再生時
	静止画撮影設定画面 P26	静止画再生設定画面 P30
	連写撮影設定画面 P27	連写再生設定画面 P30
	動画クリップ撮影設定画面 P28	動画クリップ再生設定画面 P30
	撮影オプション設定画面 P31 ● 録音（音声の記録） ● 日付・時刻の設定 ● 操作音（ビープ音）の設定 ● カードの初期化（フォーマット）	再生オプション設定画面 P31 ● 音声再生 ● 日付・時刻の設定 ● 操作音（ビープ音）の設定 ● カードの初期化（フォーマット） ● ゲーム

- [ ]に合わせたときは、撮影オプション設定画面または再生オプション設定画面が出ます。P31

[NO IMAGE]表示が出る
- 設定した再生モードに対応した画像がありません。セレクトダイヤルをまわし、撮影している画像に対応した、再生画面に切り替えてください。

設定画面とオプション設定画面の出しかた・消しかた（つづき）

4 [モード] ボタンを押す

- 撮影時は、操作3で選んだ撮影設定画面が出ます。P26～28
- 再生時にセレクトダイヤルを [ ] に合わせたときは、静止画再生設定画面P30が出ます。[ ] または [ ] に合わせたときは、9画面マルチ再生による画像選択画面P74になります。この場合は [セット] ボタンを押してから、[モード] ボタンを押してください。
- 設定画面の操作方法は、「設定画面の基本操作P35」をご覧ください。

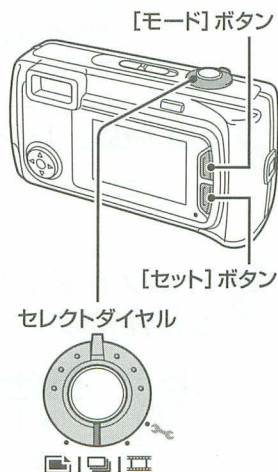
設定画面の消しかた

[モード] ボタンを押す

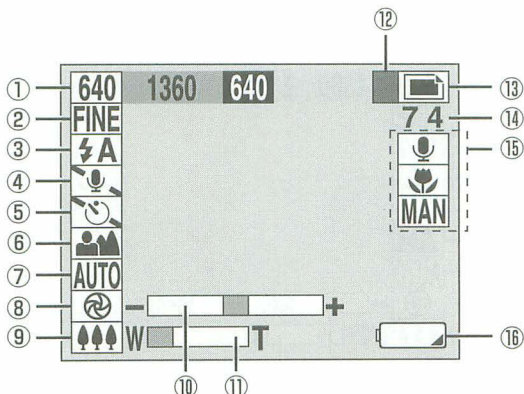
- 設定画面が消えます。

オプション設定画面の消しかた

セレクトダイヤルを [ ] 以外にまわす

- オプション設定画面から、撮影画面または再生画面に切り替わります。

撮影設定画面

静止画撮影設定画面

※すべての表示を１度に見ることはできません。

① 解像度メニュー P46
1360：1360×1024ピクセル撮影アイコン
640：640×480ピクセル撮影アイコン

② 圧縮率メニュー P47
FINE：FINEアイコン（低圧縮）
NORM：NORM（NORMAL）アイコン（中圧縮）
TIFF：TIFFアイコン（非圧縮）
解像度が 1360 の時だけ表示します。

③ フラッシュメニュー P59
⚡A：自動発光アイコン
⚡：強制発光アイコン
⚡（禁止）：発光禁止アイコン

④ ボイスメモメニュー P61
（切）：ボイスメモ切アイコン
（入）：ボイスメモ入アイコン

⑤ セルフタイマーメニュー P62
（切）：セルフタイマー切アイコン
（入）：セルフタイマー入アイコン

⑥ フォーカスメニュー P58
（通常）：通常フォーカスアイコン
（マクロ）：マクロフォーカスアイコン

⑦ オート/マニュアル撮影メニュー P49
AUTO：オート撮影モードアイコン
MAN：マニュアル撮影モードアイコン

⑧ 露出補正アイコン P63

⑨ 撮影ズームアイコン P64
解像度が 640 の時だけ表示します。

⑩ 露出補正バー P63

⑪ ズームバー P64
解像度が 640 の時だけ表示します。

⑫ メインスイッチ表示
メインスイッチが[カメラ]になっていると、赤色になります。

⑬ 静止画撮影モードアイコン

⑭ 撮影可能枚数表示 P40

⑮ 撮影状態表示エリア P29
撮影設定画面を消したとき、ボイスメモ入アイコン・マクロフォーカスアイコン・マニュアル撮影モードアイコンを表示します。

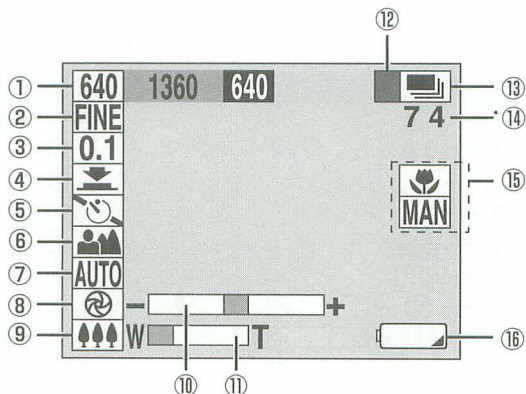
⑯ 電池残量表示 P39
電池残量を表示します。電池の残量が、ほぼいっぱいのときは表示しません。

準備

撮影設定画面（つづき）

準備

連写撮影設定画面

※すべての表示を１度に見ることはできません。

① **解像度メニュー** P46
- 1360：1360×1024ピクセル撮影モードアイコン
- 640：640×480ピクセル撮影モードアイコン

② **圧縮率メニュー** P47
- FINE：FINEアイコン（低圧縮）
- NORM：NORM（NORMAL）アイコン（中圧縮）

③ **連写速度メニュー** P53
- 0.06：0.06秒間隔連写アイコン
  解像度が640の時だけ表示します。
- 0.1：0.1秒間隔連写アイコン
- AE：AEシフト連写アイコン

④ **シャッター動作メニュー** P53
- ：ホールドアイコン
  押している間だけ撮影します。
- ：アルタネイトアイコン
  押すと撮影を開始し、もう1度押すと停止します。

⑤ **セルフタイマーメニュー** P62
- ：セルフタイマー切アイコン
- ：セルフタイマー入アイコン

⑥ **フォーカスメニュー** P58
- ：通常フォーカスアイコン
- ：マクロフォーカスアイコン

⑦ **オート/マニュアル撮影メニュー** P49
- AUTO：オート撮影モードアイコン
- MAN：マニュアル撮影モードアイコン

⑧ **露出補正アイコン** P63

⑨ **撮影ズームアイコン** P64

⑩ **露出補正バー** P63

⑪ **ズームバー** P64
解像度が 640 の時だけ表示します。

⑫ **メインスイッチ表示**
メインスイッチが[カメラ]になっていると、赤色になります。

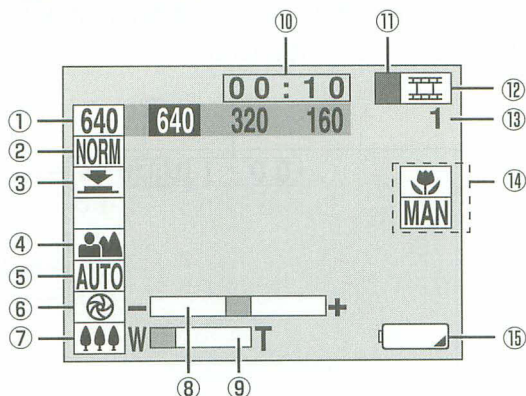
⑬ **連写撮影モードアイコン**

⑭ **撮影可能枚数表示** P40

⑮ **撮影状態表示エリア** P29
撮影設定画面を消したとき、マクロフォーカスアイコン・マニュアル撮影モードアイコンを表示します。

⑯ **電池残量表示** P39
電池残量を表示します。電池の残量が、ほぼいっぱいのときは表示しません。

動画クリップ撮影設定画面

※すべての表示を1度に見ることはできません。

① **解像度メニュー** P46
640：640×480ピクセル撮影モードアイコン
320：320×240ピクセル撮影モードアイコン
160：160×120ピクセル撮影モードアイコン

② **圧縮率メニュー** P47
FINE：FINEアイコン(低圧縮)
解像度が320の時だけ表示します。
NORM：NORM(NORMAL)アイコン(中圧縮)

③ **シャッター動作メニュー** P55
：ホールドアイコン
押している間だけ撮影します。
：アルタネイトアイコン
押すと撮影を開始し、もう1度押すと停止します。

④ **フォーカスメニュー** P58
：通常フォーカスアイコン
：マクロフォーカスアイコン

⑤ **オート/マニュアル撮影メニュー** P49
AUTO：オート撮影モードアイコン
MAN：マニュアル撮影モードアイコン

⑥ **露出補正アイコン** P63

⑦ **撮影ズームアイコン** P64

⑧ **露出補正バー** P63

⑨ **ズームバー** P64
解像度160ではズームバーが長くなります。

⑩ **撮影可能時間表示** P56
「分：秒」で表示します。

⑪ **メインスイッチ表示**
メインスイッチが[カメラ]になっていると、赤色になります。

⑫ **動画クリップ撮影モードアイコン**

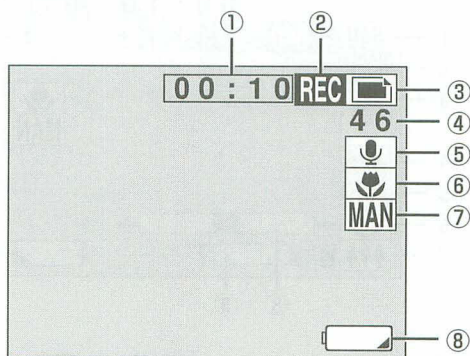
⑬ **撮影可能回数表示** P40

⑭ **撮影状態表示エリア** P29
撮影設定画面を消したとき、マクロフォーカスアイコン・マニュアル撮影モードアイコンを表示します。

⑮ **電池残量表示** P39
電池残量を表示します。電池の残量が、ほぼいっぱいのときは表示しません。

撮影設定画面（つづき）

撮影状態表示エリア

撮影設定画面を消したとき、撮影状態表示エリアには、本機やカードの状態がアイコンで出ます。さらに詳しい設定状態は、インフォ画面P32で確認できます。
※すべての表示を１度に見ることはできません。

① 撮影可能時間表示P56
動画クリップ撮影時、撮影可能時間を「分：秒」で表示します。

② REC（撮影中）表示P54・56・61
連写と動画クリップ撮影中、ボイスメモ録音中に出ます。

③ 撮影モード表示P24
セレクトダイヤルで選んでいる撮影モードを表示します。
：静止画撮影アイコン
：連写撮影アイコン
：動画クリップ撮影アイコン

④ 撮影可能枚数（回数）表示P40
静止画・連写撮影時は、撮影可能枚数を表示し、動画クリップ撮影時は、撮影可能回数が出ます。

⑤ ボイスメモ表示P61
ボイスメモ（音声）設定中に出ます。

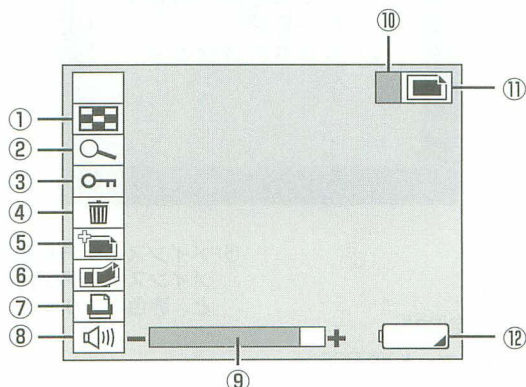
⑥ マクロ撮影表示P58
マクロ撮影設定中に出ます。

⑦ マニュアル撮影モード表示P49
マニュアル撮影モード設定中に出ます。

⑧ 電池残量表示P39
電池残量を表示します。電池の残量が、ほぼいっぱいのときは表示しません。

再生設定画面

静止画・連写・動画クリップ再生設定画面

※すべての表示を１度に見ることはできません。

① 9画面マルチ再生アイコン P77・78・79

② 再生ズームアイコン P81

③ プロテクト（消去禁止）アイコン P97

④ 消去アイコン P98

⑤ 編集アイコン

：静止画像編集アイコン P85・89

：動画クリップ編集アイコン P93・95

＊連写再生設定画面では、表示が出ません。

⑥ コピーアイコン P100

＊静止画再生設定画面では、表示が出ません。

⑦ プリント指定アイコン P101

＊静止画再生設定画面にのみ、表示が出ます。

⑧ 音量アイコン P75

＊静止画再生設定画面では、ボイスメモのある画像のみ表示します。

＊連写再生設定画面では、表示が出ません。

⑨ 音量バー P75

⑩ メインスイッチ表示

メインスイッチが［再生］になっていると、緑色になります。

⑪ 再生モード表示 P24

：静止画再生アイコン

：連写再生アイコン

：動画クリップ再生アイコン

⑫ 電池残量表示 P39

電池残量を表示します。電池の残量が、ほぼいっぱいのときは表示しません。

準備

オプション設定画面

準備

撮影オプション設定画面

① 音声の記録(録音) P71
② 日付・時刻の設定 P36
③ 操作音(ビープ音)の設定 P65
④ カードの初期化(フォーマット) P111

⑤ メインスイッチ表示
メインスイッチが[カメラ]になっていると、赤色になります。

再生オプション設定画面

① 録音した音声の再生 P74・82
② 日付・時刻の設定 P36
③ 操作音(ビープ音)の設定 P65
④ カードの初期化(フォーマット) P111
⑤ ゲーム P106

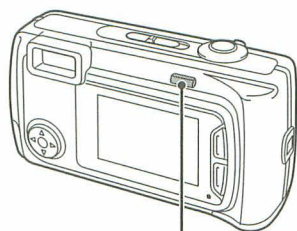
⑥ メインスイッチ表示
メインスイッチが[再生]になっていると、緑色になります。

情報を表示する([インフォ]ボタン)

撮影時に現在の設定状態が画面で確認できます。また、再生時には撮影したときの設定状態が確認できます。

撮影時の情報表示(インフォ画面)

1 撮影/録音状態にする

静止画撮影の場合 P52
連写撮影の場合 P53
動画クリップ撮影の場合 P55
音声録音の場合 P71

2 [インフォ] ボタンを押す

●インフォ画面が出ます。

■ インフォ画面を消すには、もう1度[インフォ]ボタンを押す

静止画撮影モードのインフォ画面

① 解像度の設定状態 P46

② フラッシュの設定状態 P59

③ ボイスメモの設定状態 P61

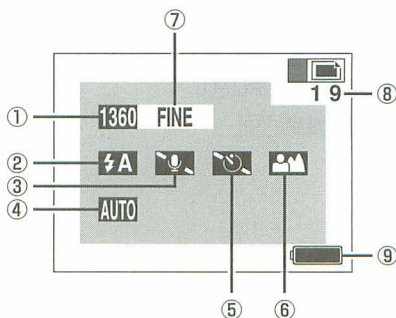
④ オート/マニュアル撮影の設定状態 P49
マニュアル撮影の場合は、マニュアル撮影設定状態が出ます。

⑤ セルフタイマーの設定状態 P62

⑥ フォーカスの設定状態 P58

⑦ 圧縮率の設定状態 P47

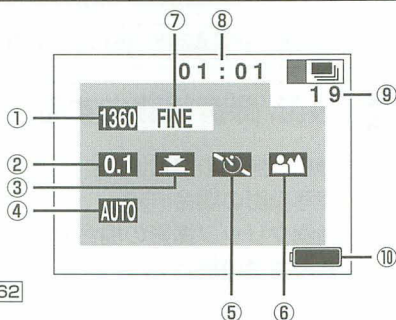
⑧ 撮影可能枚数 P40

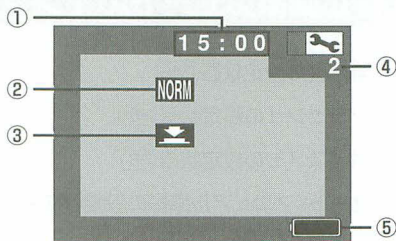
⑨ 電池残量 P39

情報を表示する（[インフォ]ボタン）（つづき）

準備

連写/動画クリップ撮影モードのインフォ画面

※すべての表示を1度に見ることはできません。

① 解像度の設定状態 P46
② 連写速度の設定状態（連写撮影時のみ表示）P53
③ シャッター動作の設定状態 P53・55
④ オート/マニュアル撮影の設定状態 P49
マニュアル撮影の場合は、マニュアル撮影設定状態が出ます。
⑤ セルフタイマーの設定状態（連写撮影時のみ表示）P62
⑥ フォーカスの設定状態 P58
⑦ 圧縮率の設定状態 P47
⑧ 撮影可能時間「分：秒」（動画クリップ撮影時のみ表示）P56
⑨ 撮影可能枚数（連写撮影時）または撮影可能回数（動画クリップ撮影時）P40
⑩ 電池残量 P39

音声記録モードのインフォ画面

① 録音可能時間「分：秒」P72
② 音質の設定状態 P71
③ シャッター動作の設定状態 P71
④ 録音可能回数 P41
⑤ 電池残量 P39

再生時の情報表示(インフォ画面)

撮影時の設定状態を表示します。

1 再生する画像/音声を表示する

静止画像の場合P75、連写画像の場合P78
動画クリップの場合P79、音声の場合P82

2 [インフォ]ボタンを押す

●インフォ画面が出ます。

■ インフォ画面を消すには、もう1度[インフォ]ボタンを押す

静止画・連写・動画クリップ再生モードのインフォ画面

※すべての表示を1度に見ることはできません。

① データの保存位置(フォルダー番号)とファイル名P43

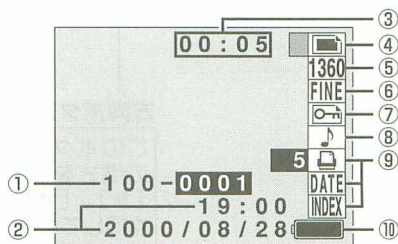
② 撮影年月日・時刻P36

③ 撮影時間「分：秒」(動画クリップ再生モードのみ表示)

④ 再生モードP24
- ：静止画再生モード
- ：連写再生モード
- ：動画クリップ再生モード

⑤ 解像度P46

⑥ 圧縮率P47

⑦ プロテクトの設定状態P97

⑧ ボイスメモの有無P75(静止画再生モードのみ表示)

⑨ プリントの設定状態P104(静止画再生モードのみ表示)

⑩ 電池残量P39

音声再生モードのインフォ画面

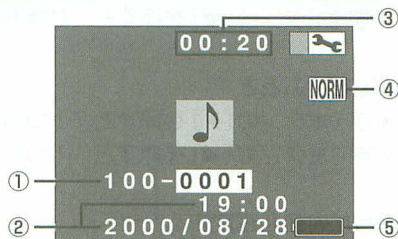
※すべての表示を1度に見ることはできません。

① データの保存位置(フォルダー番号)とファイル名P43

② 録音年月日・時刻P36

③ 録音時間「分：秒」

④ 音質P71

⑤ 電池残量P39

●インフォ画面が出ている時は、動画クリップ再生や自動再生、音声再生などができません。

設定画面の基本操作

設定画面では方向ボタンと[セット]ボタンを使って希望の設定をします。
選んだメニューまたはアイコンは、反転表示またはオレンジ色になります。
設定画面の出しかたと消しかたは、「設定画面とオプション設定画面の出しかた・消しかたP24」を参照してください。

このボタンは、押す位置によって、4つの働きをします。操作するときは[◀]、[▶]、[▼]、[▲]の表示の部分を、軽く押してください。

ボタン操作の基本

メニューを選ぶとき

- 方向ボタンの[▲]を押すと、上の表示を選びます。
- 方向ボタンの[▼]を押すと、下の表示を選びます。

数字を入力するとき

- 方向ボタンの[▲]を押すと、数字が減ります。
- 方向ボタンの[▼]を押すと、数字が増えます。

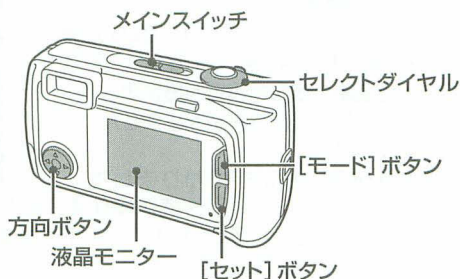
設定を選ぶとき

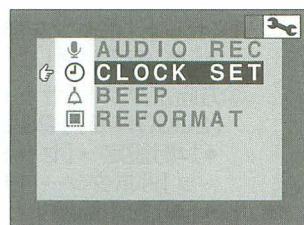
- 方向ボタンの[▶]を押すと、1つ右のアイコン(項目)を選びます。
- 方向ボタンの[◀]を押すと、1つ左のアイコン(項目)を選びます。

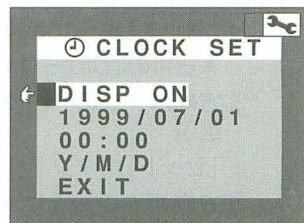
選んだ内容を確定するとき

- [セット]ボタンを押すと、メニューで選んだ設定が確定します。
- 撮影設定画面では、選んだアイコンが1番左の表示になります。
- 再生設定画面では、選んだアイコンに応じた機能の画面が出ます。

日付・時刻の設定

本機は撮影/録音時の日付・時刻を記録し、再生時に表示する時計機能を内蔵しています。撮影前には、日付・時刻が正しく設定できているか、確認してください。

[例]：2000年8月28日午後7時30分に合わせる場合

1 撮影オプション設定画面（または再生オプション設定画面）を出す P24

2 方向ボタンの[▼]を押して、[CLOCK SET]を選び、[セット]ボタンを押す

- 日付・時刻設定（CLOCK SET）画面が出ます。
- この状態で、現在の設定内容が確認できます。
- 再生時の撮影日表示、日付・時刻合わせ、日付表示順序などを設定するときは、以降の操作をしてください。
- オプション設定画面に戻るときは、[モード]ボタンを押すか、[EXIT]表示を選び[セット]ボタンを押します。

- 日付・時刻の設定をしていないと、撮影時の日付・時刻は1999年7月1日0時0分となります。また、再生時の日付・時刻表示は「1999/07/01 00：00」になります。
- 本機は電池を交換するときに内部時計をバックアップしますが、電池の使用時間によっては、時刻・日付の設定をクリアする場合があります。電池交換後は念のため、時計表示を確認されることをおすすめします（操作**1**・**2**）。

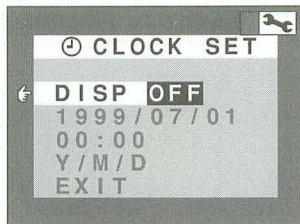
準備

日付・時刻の設定（つづき）

3 再生時の撮影日表示を設定する

①[セット]ボタンを押す
- [ON]または[OFF]がオレンジ色になります。

②方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、設定する
DISP[ON] ：再生時、撮影日表示が出ます。
DISP[OFF]：再生時、撮影日表示が出ません。

③[セット]ボタンを押す
- 再生時の撮影日表示設定が終わりました。
- 時計の設定をするときは、引き続き操作**4**～**6**をしてください。
- オプション設定画面に戻るときは、[モード]ボタンを押すか、[EXIT]表示を選び[セット]ボタンを押します。

4 時計（日付・時刻）を設定する

①方向ボタンの[▼]を押して、日付表示の行を選ぶ

②[セット]ボタンを押す
- 「年」表示がオレンジ色になります。

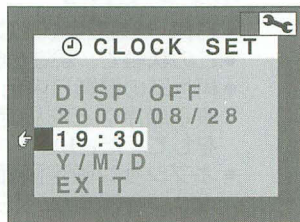
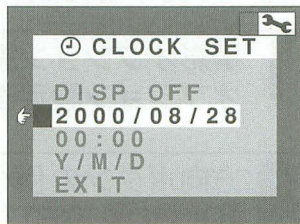
③方向ボタンと[セット]ボタンを押して、「2000年8月28日」に合わせる
- 「年」設定→[セット]ボタン→「月」設定→[セット]ボタン→「日」設定の順に合わせます。
- [▲]を1回押すと、数字が1つ減ります。
- [▼]を1回押すと、数字が1つ増えます。

④[セット]ボタンを押す
- 日付の設定が終わりました。

⑤方向ボタンの[▼]を押して、時刻表示の行を選ぶ

⑥[セット]ボタンを押す

⑦方向ボタンと[セット]ボタンを押して、「19時30分」に合わせる
- 「時」設定→[セット]ボタン→「分」設定の順に合わせます。
- 「時」は24時間表示です。

⑧[セット]ボタンを押す
- 正確に合わせるときは、時報などと同時に[セット]ボタンを押してください。
- 時刻の設定が終わりました。

5 再生時の日付表示順序を設定する

①方向ボタンの[▼]を押して、日付表示順序の行を選ぶ

②[セット]ボタンを押す

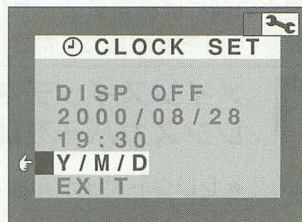
●「日付表示順序」がオレンジ色になります。

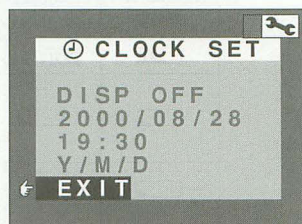
③方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、設定する

[Y/M/D]：年/月/日
[M/D/Y]：月/日/年
[D/M/Y]：日/月/年

④[セット]ボタンを押す

●再生時の日付表示順序の設定が終わりました。

準備

6 [EXIT]を選んで、[セット]ボタンを押す

●日付・時刻の設定が終わり、オプション設定画面に戻ります。

■ 本機の電源を切る P23

日付・時刻を修正するには

●操作**1**・**2**の後、修正したい行を方向ボタンの[▼]を押して選びます。修正したい表示を[▶]を押して選び、[▲]または[▼]を押して表示を修正し、[セット]ボタンを押してください。

電池残量のチェック

準備

ニッケル水素電池を使用している場合は、液晶モニターで電池残量が確認できます。撮影の前には必ずチェックしてください。電池の使用可能時間は、「電池使用可能時間P118」を参照してください。

1 メインスイッチを[カメラ]にし、レンズカバーを開ける

メインスイッチ

- セレクトダイヤルは[ ]以外に合わせてください。

2 [インフォ]ボタンを押す

- インフォ画面が出て、電池残量が液晶モニターの右下に出ます。
（撮影画像があれば、再生モードのインフォ画面でも確認できます。）P32～34
- 表示と 表示（点滅）は、インフォ画面を出さなくても現れます。

電池残量表示		電池の残量
インフォ画面を出した時	インフォ画面を出していない時	
	表示なし	ほぼいっぱいの容量があります。
	表示なし	容量が少なくなりました。
		もうすぐ撮影や再生ができなくなります。別売のパソコン接続キット（PCK-SX150）を使って、パソコンと接続している場合はパソコンからの操作ができません。
点滅	点滅	撮影時、シャッターボタンを押している間点滅すると、撮影はできません。また、動画クリップ編集中に点滅すると、動画クリップの編集はできません。電池を交換してください。

- 電池の特性により、低温時には 表示が早い時点で点灯するなど、電池残量を正しく表示することができません。また、周囲の温度や使用状態などにより表示状態が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。

■ 表示を消すには、[インフォ]ボタンを押す

- 電池残量表示は単３形ニッケル水素電池（付属）使用時のみ、上記のように表示します。ニカド電池を使用した場合は、正しく表示しません。
- 本機には、付属または別売の当社製ニッケル水素電池を使用してください。ニカド電池を使うと、電池使用可能時間はニッケル水素電池に比べて、短くなります。
- 同じ種類の電池でも、電池の使用可能時間が異なることがあります。
- 電池の消耗は、撮影条件（フラッシュの発光回数、液晶モニターの入/切）や周囲の温度（10℃以下の低温）によっても変わるため、撮影できる枚数は大きく異なります。
- 旅行や結婚式などの大切な撮影や、寒冷地など電池の消耗が多くなる環境で撮影する場合は、予備の電池を用意されることをおすすめします。（スキーなど寒い屋外で使用する場合は、電池をポケットに入れるなどして保温したものをご使用ください。）

- 液晶モニターを使った撮影時に、電池容量が少なくなると、一時的に液晶モニターの電源が切れることがあります。これはフラッシュの充電時の電池消耗を少なくする機能が働くためで、フラッシュの充電が終われば液晶モニターに電源が入ります。

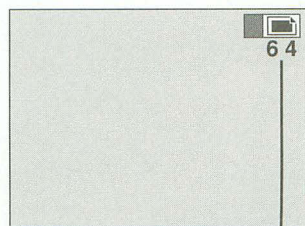
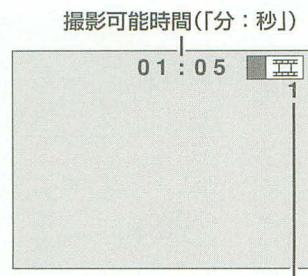
撮影可能枚数・撮影可能時間と録音可能時間のチェック

撮影した画像や録音した音声のデータは、カメラ内のカードのメモリに記録します。カードを装着していないと撮影も再生もできません。また、カードを装着していても、メモリの空き容量がないと、撮影や録音ができません。撮影を行う前に、必ずカードの状態をチェックしてください。カードに記録できる枚数や時間は、「撮影可能枚数/撮影可能時間/録音可能時間P119」を参照してください。

撮影可能枚数・撮影可能時間のチェック

1 メインスイッチを[カメラ]にする

2 レンズカバーを開ける

- セレクトダイヤルは[ ]以外に合わせてください。
- 液晶モニターの右上に、撮影可能枚数を表示します。(静止画・連写撮影モード)
- 液晶モニターの上に撮影可能時間、右上に撮影可能回数を表示します。(動画クリップ撮影モード)
- 撮影可能枚数や時間表示は、解像度や圧縮率などの設定に応じて変わります。
- 撮影可能枚数または、撮影可能回数表示が[0]になると、撮影ができなくなります。新たに撮影する場合は、別のカードに取り替えるか、画像を保存P42した後、画像を消去P98してください。
- 撮影可能枚数または撮影可能回数表示が[0]になっても、撮影モードを変えたり、解像度を低く設定したり、圧縮率を大きく設定することなどで、撮影が可能になる場合があります。

(静止画撮影モードの画面)

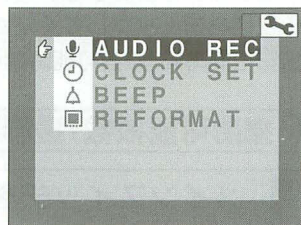
撮影可能時間(「分：秒」)

(動画クリップ撮影モードの画面)

撮影可能枚数・撮影可能時間と録音可能時間のチェック（つづき）

録音可能時間のチェック

1 撮影オプション設定画面を出す P24

- セレクトダイヤルを［ ］に合わせてください。
- この状態で［AUDIO REC］を選んでいます。

2 ［セット］ボタンを押す

- 録音モードの画面が出て、液晶モニターの上に録音可能時間、右上に録音可能回数を表示します。

撮影画像や音声の保存について

デジタルカメラで撮影した画像の保存のしかた

●パソコンに保存する

必要なもの：別売のパソコン接続キットP112・市販のパソコン

利　　点：パソコンのハードディスクなどに画像データとして保存するため、後で画像の加工や編集ができたり、パソコン通信などに利用したり、画像の活用範囲が広がる。

詳しくは別売のパソコン接続キットP112の取扱説明書をご覧ください。

●デジタルプリントサービス(FDIサービス)で高画質プリントする(ラボサービスを利用する)

画像を記録したカードを、デジタルカメラのデジタルプリントサービスを取り扱っている店にお持ちください。

利　　点：高画質のプリントができる。また、DPOF規格の取り扱い店では、本機でプリント枚数や日付の表示設定ができる。P101

詳しくはデジタルカメラのデジタルプリントサービスの取り扱い店にご相談ください。

ご 注 意：連写画像や動画クリップの1シーンをプリントする場合は、静止画像データとして複写をしていないとプリントできないことがあります。「画像を複写(COPY)するP100」
撮影した解像度が低いと、プリントサイズによっては高画質のプリントができないことがあります。

記録データのファイル形式

カードに記録するデータの形式および、ファイル名を付ける規則は以下のようになります。

静止画像データ
　データ形式　　　　：JPEG形式またはTIFF形式(Design rule for Camera File system準拠)
　ファイル名命名規則：SANYで始まり、拡張子には「.jpg」または「.tif」が付きます。
　　SANY＊＊＊＊.jpg、SANY＊＊＊＊.tif
　　＊には記録した順に続き番号が入ります。

ボイスメモデータ
　データ形式　　　　：WAVE形式
　ファイル名命名規則：ファイル名部分は対応する画像データのファイルと同じファイル名が付きます。拡張子には「.wav」が付きます。
　　SANY＊＊＊＊.wav

連写画像データ
　データ形式　　　　：JPEG形式
　ファイル名命名規則：SEQTで始まり、拡張子には「.jpg」が付きます。
　　SEQT＊＊＊＊.jpg
　　連続した番号(2けた)
　　連写フォルダ番号(2けた)

準備

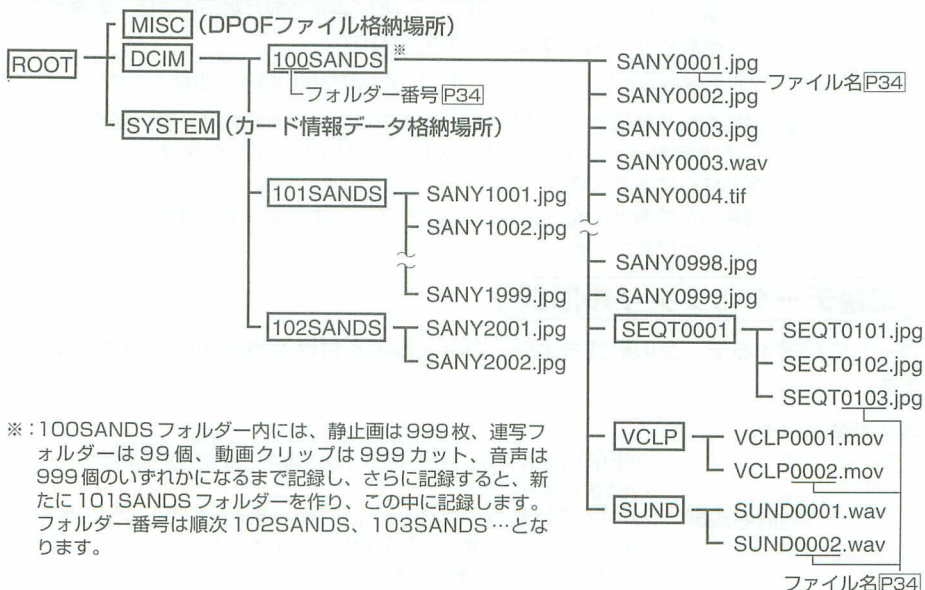
撮影画像や音声の保存について（つづき）

動画クリップデータ

データ形式　　　　：QuickTime movie形式
ファイル名命名規則：VCLPで始まり、拡張子には「.mov」が付きます。
VCLP＊＊＊＊.mov
＊には記録した順に続き番号が入ります。

音声記録データ

データ形式　　　　：WAVE形式
ファイル名命名規則：SUNDで始まり、拡張子には「.wav」が付きます。
SUND＊＊＊＊.wav
＊には記録した順に続き番号が入ります。

記録データのディレクトリ構造

※：100SANDSフォルダー内には、静止画は999枚、連写フォルダーは99個、動画クリップは999カット、音声は999個のいずれかになるまで記録し、さらに記録すると、新たに101SANDSフォルダーを作り、この中に記録します。フォルダー番号は順次102SANDS、103SANDS…となります。

カードのデータはパソコンで書き換えないでください

- デジタルカメラで撮影した画像や音声のデータは上記の規則に基づき、ファイル名を付けたり、指定のフォルダに保存をしています。このため、市販のカードアダプターなどを使って、パソコンから直接ファイル名を変更したりすると、画像をカメラで再生できなくなったり、カメラが正常に動作しなくなります。

本機で撮影した動画クリップデータについて

- Apple社のQuickTime 3以降を使用して、パソコンで再生することができます。別売のパソコン接続キットP112にはWindows/Macintosh版のQuickTime 4 Proを添付しています。
- WindowsのMediaPlayerで直接再生するためには、別売のパソコン接続キットP112に含まれる「フォトラボ」でWindowsに対応したAVI形式に変換してください。

撮影の手順

撮影は下記の手順で行います。付属のコンパクトフラッシュも含め、未使用のカードを本機で最初に使用するときは、カードの初期化(フォーマット)をしてください。P111

撮影モード(静止画・連写・動画クリップ・録音)を設定する ……………… P45

▼

静止画撮影：解像度と圧縮率を設定する …………………………… P46・47
連写撮影：解像度と圧縮率を設定する …………………………… P46・47
連写速度またはAEシフト連写モードを設定する ….. P53
シャッター動作を設定する ……………………………… P53
動画クリップ撮影：解像度と圧縮率を設定する …………………………… P46・47
シャッター動作を設定する ……………………………… P55
録音：音質を設定する ………………………………………………… P71
シャッター動作を設定する ……………………………… P71

▼

オート撮影モードまたは、マニュアル撮影モードを選ぶ …………………… P49

●オート撮影モード
撮影モードはカメラが自動設定します ……………………………………… P48

●マニュアル撮影モード
下記項目がそれぞれ設定できます。(クイックショットとスローシャッター設定は静止画撮影モードのみ)

・クイックショット ……………… P67
・スローシャッター設定 ……………… P68
・ISO感度設定 ……………… P69
・ホワイトバランス設定 ……………… P70

▼

被写体を捕らえる

・カメラの構えかた ……………… P50
・ファインダーを使う ……………… P51
・液晶モニターを使う ……………… P52

▼

撮影または録音する

●静止画で撮影する ……………… P51・52
・マクロ撮影をする ……………… P58
・フラッシュを使う ……………… P59
・ボイスメモを付ける ……………… P61
・セルフタイマーを使う ……………… P62
・露出補正をする ……………… P63
・ズーム撮影をする ……………… P64

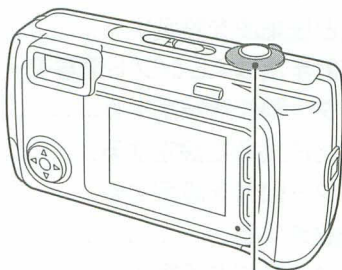
●連写で撮影する ……………… P53
・マクロ撮影をする ……………… P58
・セルフタイマーを使う ……………… P62
・露出補正をする ……………… P63
・ズーム撮影をする ……………… P64

●動画クリップで撮影する ……………… P55
・マクロ撮影をする ……………… P58
・露出補正をする ……………… P63
・ズーム撮影をする ……………… P64

●音声を記録(録音)する ……………… P72

撮影モードを設定する

撮影の前に撮影モード(静止画・連写・動画クリップ・録音)を設定します。
設定はセレクトダイヤルで行います。

1 セレクトダイヤルをまわし、希望する撮影モードのマークに合せる

セレクトダイヤル

- 静止画撮影モード：
  静止画で撮影します。P51·52
- 連写撮影モード：
  連写で撮影します。P53
- 動画クリップ撮影モード：
  動画クリップで撮影します。P55
- オプション：
  録音します。P72

● セレクトダイヤルで合せたマークの撮影モードになります。

解像度を設定する

撮影する解像度を選ぶことができます。解像度が高い（ピクセルが多い）ほど美しい画質で撮影できますが、撮影可能枚数は減ります。動画クリップ撮影モードでは、解像度を下げると撮影時間が長くなりますが、解像度に比例して再生時の画像サイズが小さくなります。それぞれの撮影モードで、画像の使用目的に応じて解像度を設定してください。

		撮影解像度（単位：ピクセル） ［液晶モニターのアイコン表示］			
		1360×1024 1360	640×480 640	320×240 320	160×120 160
撮影モード	静止画撮影	○	○	×	×
	連写撮影	○	○	×	×
	動画クリップ撮影	×	○	○	○

○：設定できます　×：設定できません

1 撮影設定画面を出す P24

例：静止画撮影モードの設定画面

2 解像度メニューから解像度を選ぶ

1360：1360×1024ピクセルで撮影します。
640：640×480ピクセルで撮影します。
320：320×240ピクセルで撮影します。
160：160×120ピクセルで撮影します。

- 選んだアイコンが反転表示します。
- 撮影モードによって、設定できない解像度があります。（上記表参照）

3 ［セット］ボタンを押す

- 解像度の設定ができました。

■ 撮影設定画面を消すには、［モード］ボタンを押す

解像度と圧縮率 P47 について

- デジタルカメラの写真は小さな点の集まりでできています。解像度とは、この点の数のことで、数が多いほど写真は鮮明になります。しかし、解像度が高いとデータ量が増え、撮影枚数が少なくなるため、デジタルカメラでは、データを圧縮して記録する方法が一般的になっています。本機ではJPEG方式のデータ圧縮を採用し、圧縮率 FINE モードで元のデータ量の約1/10、NORM モードで約1/15になります。ただし、JPEG方式で圧縮したデータは、元のデータに戻すときにわずかですが、再現できない部分が出てきます。また、圧縮率が高いほど再現できない部分が増えます。このため、画質を最優先した撮影用として、データを一切圧縮しない方法を本機では備えています。これが TIFF モードです。ただし、TIFF モードはデータ量が多いため、シャッターボタンを押してから撮影データを記録するまで約11秒、再生する場合は画像が出るまで約7秒かかります。（付属のコンパクトフラッシュ使用時）解像度と圧縮率の特長をいかして、お好みに応じた画質の写真をお楽しみください。

圧縮率を設定する

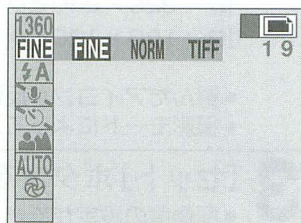
撮影画像データの圧縮率が設定できます。圧縮率の設定を変えると、同じ解像度で撮影しても、データサイズを小さくして撮影枚数を多くしたり、画質を優先した撮影ができます。

		圧縮率	撮影解像度(単位：ピクセル) [液晶モニターのアイコン表示]			
			1360×1024 1360	640×480 640	320×240 320	160×120 160
撮影モード	静止画撮影	FINE	○	○	×	×
		NORM	○	○	×	×
		TIFF	○	×	×	×
	連写撮影	FINE	○	○	×	×
		NORM	○	○	×	×
		TIFF	×	×	×	×
	動画クリップ撮影	FINE	×	×	○	×
		NORM	×	○	○	○
		TIFF	×	×	×	×

○：設定できます　×：設定できません

1 撮影設定画面を出す P24

2 圧縮率メニューから圧縮率を選ぶ

FINE：低圧縮で保存します。(高画質)
NORM：中圧縮で保存します。(標準画質)
TIFF：TIFF形式(非圧縮)で保存します。(超高画質)

例：静止画撮影モードの設定画面

- 選んだアイコンが反転表示します。
- 撮影モードによって、設定できない圧縮率があります。(上記表参照)

3 [セット]ボタンを押す

- 圧縮率の設定ができました。

■ 撮影設定画面を消すには、[モード]ボタンを押す

オート撮影モードとマニュアル撮影モードについて

オート撮影モードにしておくと、下記の設定はカメラ任せで撮影できます。マニュアル撮影モードにすると、撮影シーンに応じた設定で撮影できます。マニュアル撮影モードの設定P66～70は電源を切っても記憶しているので、普段はオート撮影モードを使い、設定を変えたいシーンで、マニュアル撮影モードに切り替えるなどの使い分けができます。
オート撮影モードとマニュアル撮影モードを上手に使い分けて、色々な撮影をお楽しみください。
オート撮影モードとマニュアル撮影モードの設定は、静止画撮影・連写撮影・動画クリップ撮影のそれぞれの撮影モードで設定できます。

オート撮影モードの設定内容

- クイックショット設定P67……… 切(静止画撮影モードのみ)
- スローシャッター設定P68……… 切(静止画撮影モードのみ)
- ISO感度設定P69…………………… 自動
- ホワイトバランス設定P70……… 自動

マニュアル撮影モードの設定内容

- クイックショット設定P67……… 入または切を選択可能(静止画撮影モードのみ)
- スローシャッター設定P68……… 切または1秒、1.5秒、2秒、3秒、4秒のいずれかを選択(静止画撮影モードのみ)
- ISO感度設定P69…………………… 自動(ISO100～200相当)またはISO100、ISO200、ISO400相当のいずれかを選択
- ホワイトバランス設定P70……… 自動または晴天、曇天、蛍光灯、白熱灯、スポイト(光源指定)のいずれかを選択

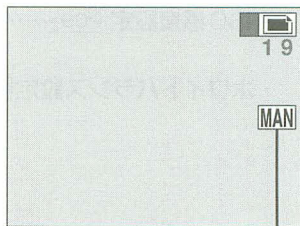
オート撮影モード/マニュアル撮影モードの設定

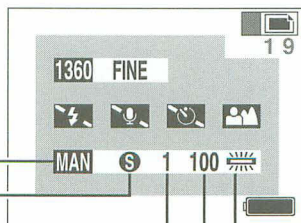
1 撮影設定画面を出す P24

2 オート/マニュアル撮影メニューから AUTO または MAN を選び、[セット]ボタンを押す

AUTO：オート撮影モードになります。
MAN：マニュアル撮影モードになります。

- MAN を選ぶと、マニュアル撮影設定画面が出ます。
- クイックショット設定 P67、スローシャッター設定 P68、ISO 感度設定 P69、ホワイトバランス設定 P70 の設定状態になります。設定する場合はそれぞれのページを参照してください。
- メインスイッチを[再生]や[モニター切]にしたり、電源を切ったりしてもオート/マニュアル撮影モードの設定を保持しています。

例：静止画撮影モードのマニュアル撮影設定画面

3 EXIT を選んで、[セット]ボタンを押す

- 撮影設定画面に戻ります。
- [モード]ボタンを押すと、撮影設定画面が消えます。
- マニュアル撮影モードに設定すると、撮影設定画面を消しても、液晶モニターにマニュアル撮影モードアイコン MAN が出ます。
- [インフォ]ボタンを押すと、設定している内容が確認できます。
- メインスイッチを[モニター切]にして、ファインダーを使った撮影ができます。

例：静止画撮影モード画面

例：静止画撮影モードのインフォ画面

撮影する

設定が終われば、いよいよ撮影です。レンズを被写体に向け、ファインダーまたは液晶モニターでしっかり捕らえましょう。本機は簡単に撮影できますが、ちょっとしたこつを覚えると、上手に撮影することができます。

カメラの構えかた

右手と左手でカメラをしっかり持って、脇をしめ、カメラがぐらぐらしないように構えてください。

レンズやフラッシュ発光部に、指やストラップがかからないように注意してください。

悪い例

指がレンズにかかっている

- カメラを縦位置で撮影した場合、液晶モニターやテレビで見る再生画像は、90˚回転した画像になります。

撮影する（つづき）

ファインダーを使った撮影

ファインダーから被写体をのぞいて撮影する方法です。液晶モニターで被写体を捕らえる方法に比べ、電池の消耗を防ぐことができます。

1 メインスイッチを[モニター切]にする

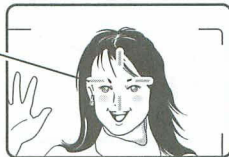
2 レンズカバーを開ける

- スタンバイランプが緑色に点灯すれば、撮影できます。
- 液晶モニターに画像は出ません。

3 フォーカスを（通常撮影）にする P58

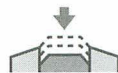
- 被写体との距離が短い（15cm～50cm）ときは、（マクロ撮影）にしてください。

4 被写体にレンズを向ける

5 ファインダーをまっすぐにのぞき、被写体をオートフォーカスマーク内に入れる

6 シャッターボタンを半分押す（フォーカスロック）

- オートフォーカス機能が働き、ピントを固定します。
- 「操作音（ビープ音）の設定 P65」で[ALL]または[SHUTTER]を選んでいると、ピントが合った時にピッピッと鳴ります。

7 さらにシャッターボタンを静かに押し込む

- シャッターが切れます。
- 「操作音（ビープ音）の設定 P65」で[ALL]または[SHUTTER]を選んでいるとピッと鳴ります。
- スタンバイランプが赤色で点滅している間は画像の記録中で、次の撮影はできません。緑色に点灯すれば撮影できます。
- 撮影後、メインスイッチを[再生]にすると、撮影した画像をすぐに見ることができます。

■ 撮影が終わったら、電源を切る

- 本機はニッケル水素電池専用ですが、外出中にニッケル水素電池がなくなった場合、アルカリ乾電池でもファインダーを使う撮影ならば、ある程度撮影可能です。

液晶モニターを使った撮影

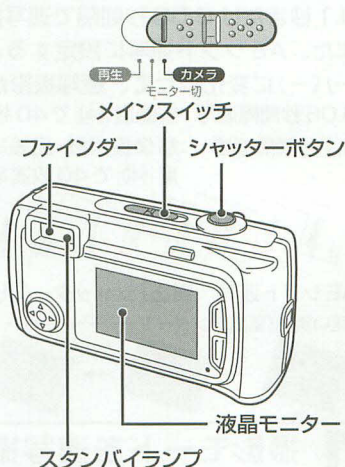
液晶モニターで被写体を確認し、撮影する方法です。

1 メインスイッチを[カメラ]にする

2 レンズカバーを開ける

- 液晶モニターに画像が出ます。

3 フォーカスを（通常撮影）にする P58

- 被写体との距離が短い（15cm〜50cm）ときは、（マクロ撮影）にしてください。

4 被写体にレンズを向ける

- 液晶モニターを見ながら、構図を決めてください。

5 シャッターボタンを半分押す（フォーカスロック）

- オートフォーカス機能が働き、ピントを固定します。
- ピントを合わせなおす場合は、シャッターボタンを離し、もう1度、シャッターボタンを半分押してください。
- 「操作音（ビープ音）の設定 P65」で[ALL]または[SHUTTER]を選んでいると、ピントが合った時にピッピッと鳴ります。

6 さらにシャッターボタンを静かに押し込む

- シャッターが切れます。
- 「操作音（ビープ音）の設定 P65」で[ALL]または[SHUTTER]を選んでいるとピッと鳴ります。
- 静止画撮影の場合、シャッターボタンを押した状態にしていると、その間撮影した画像を見ることができます。
- スタンバイランプが赤色で点滅している間は画像の記録中で、次の撮影はできません。緑色に点灯すれば撮影できます。
- 撮影後、メインスイッチを[再生]にすると、撮影した画像をすぐに見ることができます。

■ 撮影が終わったら、電源を切る

- ファインダーを使った撮影に比べ、電池の消耗が早くなります。

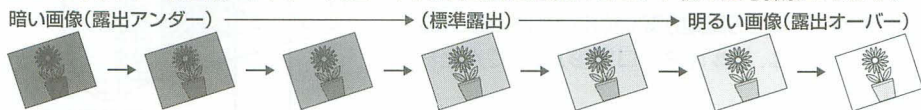
連写撮影をする

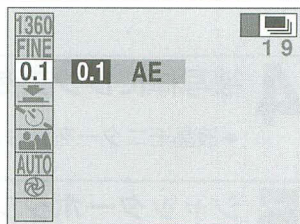
0.1 秒または0.06 秒間隔で連写撮影ができます。
また、AEシフト連写に設定すると、暗い画像(露出アンダー)から明るい画像(露出オーバー)に変化させて、連写撮影ができます。

0.06 秒間隔連写 :解像度 [640] で40 枚連写撮影します。

0.1 秒間隔連写 :解像度 [1360]・圧縮率 [FINE] で15 枚、解像度 [1360]・圧縮率 [NORM] で20 枚、解像度 [640] で40 枚連写撮影します。

AEシフト連写:露出(シャッタースピード)を自動的に変化させて、7枚の連写撮影をします。

暗い画像(露出アンダー) ——→ (標準露出) ——→ 明るい画像(露出オーバー)

1 撮影モードを連写撮影モードにする [P45]

2 [モード] ボタンを押して、撮影設定画面を出す

3 連写速度メニューから連写速度またはAEシフト連写アイコンを選び、[セット]ボタンを押す

[0.06] :0.06 秒間隔で連写撮影します。(解像度 [640] で設定できます。)

[0.1] :0.1 秒間隔で連写撮影します。

[AE] :露出(シャッタースピード)を自動的に変化させて暗い画像(アンダー)から明るい画像(オーバー)へと、7枚の連写撮影をします。撮影間隔は、解像度 [1360] で0.1 秒、[640] では0.06 秒です。(AEシフト連写)

- 連写またはAEシフト連写の設定ができました。

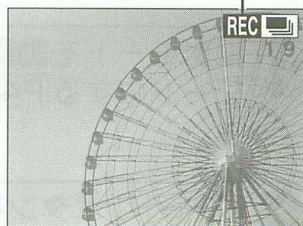
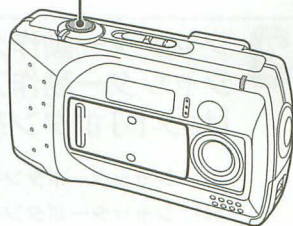
4 シャッター動作メニューから希望のシャッター動作アイコンを選び、[セット]ボタンを押す

[ ] :シャッターボタンを押している間だけ撮影します。

[ ] :シャッターボタンを押すと撮影を開始し、もう1度押すと停止します。

- 連写メニューで [AE] を選んだ場合は、設定不要です。(シャッター動作メニューは出ません。)
- シャッター動作の設定ができました。
- メインスイッチを[再生]や[モニター切]にしたり、電源を切ったりしても、連写速度とシャッター動作の設定を保持します。
- メインスイッチを[モニター切]にして、ファインダーを使った撮影ができます。
- 撮影設定画面を消すには、[モード]ボタンを押します。

5 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッター動作が[アイコン]の場合は、シャッターボタンを押し続けている間、撮影します。
  撮影可能枚数内にシャッターボタンを離すと、その時点で撮影が終わります。AEシフト連写モードでは、露出を変化させて7枚の撮影を行います。（AEシフト連写モードでは、押し続ける必要はありません。）
- シャッター動作が[アイコン]の場合は、シャッターボタンを押すと撮影が始まり、設定した連写撮影を行います。撮影可能枚数内にもう1度押すと、その時点で撮影が終わります。
- 撮影可能枚数は119ページを参照してください。
- 液晶モニターを使った撮影中は、液晶モニターにREC表示が出ます。
- 撮影後、メインスイッチを［再生］にすると、撮影した最初の画像を見ることができます。
  「連写画像を再生するP78」

■ 撮影が終わったら、電源を切る

すばやく露出補正と撮影ズームを設定するには

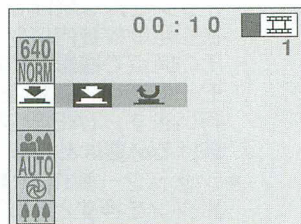
- 撮影設定画面またはインフォ画面が消えているときに、方向ボタンを押すと、露出補正または撮影ズームの設定が可能な場合、それぞれのアイコンが出ます。P63·64

参考

- 連写撮影時、フラッシュは使えません。
- 連写速度を0.1秒間隔に選んだ場合、1秒間に7.5枚の割合で連写撮影を行うため、厳密には0.1333･･･秒間隔となります。0.06秒間隔を選んだ場合は、1秒間に15枚の割合で連写撮影を行うため、0.0666…秒間隔となります。
- AEシフト連写時、周囲の明るさによっては、露出が変化しない場合があります。

動画クリップ撮影をする

音声付き動画(動画クリップ)で撮影することができます。

1 撮影モードを動画クリップ撮影モードにする P45

2 [モード]ボタンを押して、撮影設定画面を出す

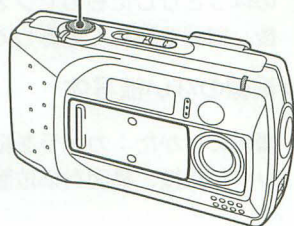
3 シャッター動作メニューから希望のシャッター動作アイコンを選び、[セット]ボタンを押す

：シャッターボタンを押している間だけ撮影します。

：シャッターボタンを押すと撮影を開始し、もう1度押すと停止します。

- シャッター動作の設定ができました。
- メインスイッチを[再生]や[モニター切]にしたり、電源を切ったりしても、シャッター動作の設定を保持します。
- メインスイッチを[モニター切]にして、ファインダーを使った撮影ができます。
- 撮影設定画面を消すには、[モード]ボタンを押します。

4 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッター動作が［記号］の場合は、シャッターボタンを押し続けている間、撮影します。撮影可能時間内にシャッターボタンを離すと、その時点で撮影が終わります。
- シャッター動作が［記号］の場合は、シャッターボタンを押すと撮影が始まり、もう1度押すとその時点で撮影が終わります。
- 撮影可能時間は119ページを参照してください。
- 撮影可能回数と撮影可能時間は、カードの残り容量を計算して表示します。
- 液晶モニターを使った撮影中は、液晶モニターに REC 表示が出ます。
- 撮影後、メインスイッチを［再生］にすると、撮影した最初の画像を見ることができます。「動画クリップを再生する P79」

■ 撮影が終わったら、電源を切る

すばやく露出補正と撮影ズームを設定するには

- 撮影設定画面またはインフォ画面が消えているときに、方向ボタンを押すと、露出補正または撮影ズームの設定が可能な場合、それぞれのアイコンが出ます。P63･64

- 解像度 160 で撮影すると、画像は1/4のサイズで画面の中央に写ります。
- 動画クリップ撮影時、フラッシュとセルフタイマーは使えません。
- 動画クリップは、データ量が多くなります。特に、解像度 640 で撮影したデータをパソコンにダウンロードしてパソコンで再生する場合、ご使用になるパソコンによっては、画像処理能力が追いつかない場合があります。このため、再生画像がスムーズに動かないなどの現象になります。（カメラの液晶モニターやテレビでは、正常な再生ができます。）
- 別売の32MBコンパクトフラッシュを使った場合、カメラ本体の1動画クリップ最大撮影可能時間は、解像度 640 で15秒になりますが、コンパクトフラッシュの種類やメーカーなどによって、15秒間の動画クリップが撮影できないこともあります。

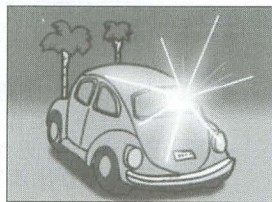
オートフォーカス（自動ピント合わせ）機能について

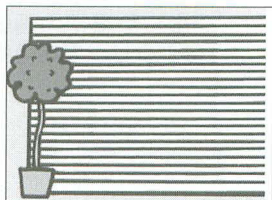
本機のオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体に対して正常に動作しますが、苦手な被写体もあります。ここでは、オートフォーカス機能でのピント合わせがしにくい被写体を、うまく撮影する方法を紹介します。

■ オートフォーカスの苦手な被写体

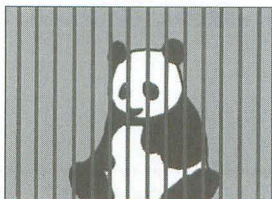
次のような条件では、オートフォーカス機能でのピント合わせが正常に動作しないことがあります。

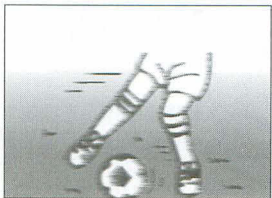
● **コントラストのない被写体や画面中央に極端に明るいものがある被写体**

撮影のしかた：被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりしたものでフォーカスロック P51·52 した後、構図を決めて撮影してください。

● **縦線のない被写体**

撮影のしかた：カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後、構図を横位置に戻して撮影してください。

次のような被写体では、オートフォーカス機能が動作してもピントが合わないときがあります。

● **遠いものと近いものが共存する被写体**

撮影のしかた：ピントを合わせたい被写体と同じ距離にあるものにフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。（液晶モニターでピントを確認してください。）

● **動きの速い被写体**

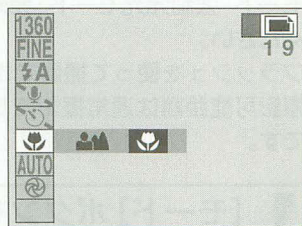
撮影のしかた：撮影したい被写体と同じ距離の被写体であらかじめフォーカスロックしてから、構図を決めて撮影してください。

連写撮影や動画クリップ撮影について

- 連写撮影では、オートフォーカス機能はシャッターボタンを押したときに働き、ピントを固定します。
- 動画クリップ撮影では、フォーカスを（通常撮影）にしているときは2mに、（マクロ撮影）にしているときは20cmに、ピントを固定します。

さまざまな撮影機能を使う

マクロ撮影をする

被写体との距離が短い(15cm～50cm)ときは、マクロ撮影をします。

1 [モード] ボタンを押して、撮影設定画面を出す

例：静止画撮影モードの設定画面

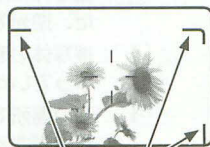
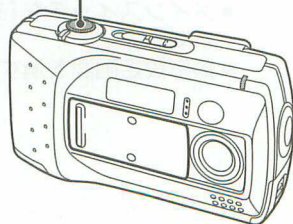
2 フォーカスメニューからマクロフォーカスアイコン[マクロ]を選び、[セット]ボタンを押す

[通常]：通常のフォーカスで撮影します。

[マクロ]：マクロ撮影をします。

- マクロ撮影の設定ができました。
- メインスイッチを[再生]や[モニター切]にしたり、電源を切ったりしても、マクロ撮影の設定を保持します。
- メインスイッチを[モニター切]にして、ファインダーを使った撮影ができます。
- 撮影設定画面を消すには、[モード]ボタンを押します。

3 構図を決める

- ファインダーを使って撮影するときは、ファインダーとレンズの位置の関係により、被写体との距離が近づくにしたがい、実際に写る範囲が左下へ移動します。被写体との距離が約15cmの場合は、ファインダーの近距離補正マークの範囲に、被写体を入れるようにしてください。
- マクロ撮影をするときは、液晶モニターで構図を確認することをおすすめします。

4 シャッターボタンを押す

- マクロ撮影でシャッターが切れます。

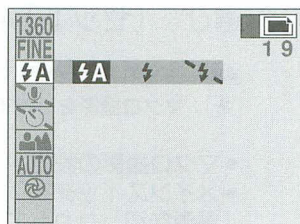
■ 撮影が終わったら、電源を切る

さまざまな撮影機能を使う（つづき）

フラッシュを使う

フラッシュは暗い場所での撮影だけでなく、被写体が影になっているときや逆光の場合などでも役に立つ機能です。本機のフラッシュには、3つの動作モード（自動発光モード・強制発光モード・発光禁止モード）がありますので、状況に応じて使い分けてください。
フラッシュを使って撮影できるのは、静止画撮影モードだけです。また、フラッシュ撮影可能距離は通常撮影で0.5m～2.1m、マクロ撮影モードでは0.15m～0.5mです。

撮影・録音

1 ［モード］ボタンを押して、撮影設定画面を出す

2 フラッシュメニューからフラッシュ動作アイコンを選び、［セット］ボタンを押す

⚡A：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが発光します。また、逆光で画面中央が極端に暗い場合は逆光と判断し、発光します。（自動発光）

⚡：被写体の明るさに関わらずフラッシュが発光します。逆光などで被写体が影になっていたり、蛍光灯などの照明で撮影するときに使います。（強制発光）

⚡禁止：暗い場所でもフラッシュは発光しません。フラッシュが使えない場所や、夜景を撮影するときなどに使います。（発光禁止）

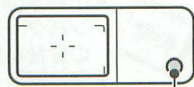
- フラッシュ動作モードの設定ができました。
- メインスイッチを［再生］や［モニター切］にしたり、電源を切ったりしても、フラッシュ動作モードの設定は保持します。
- メインスイッチを［モニター切］にして、ファインダーを使った撮影もできます。
- 撮影設定画面を消すには、［モード］ボタンを押します。

3 シャッターボタンを押す

●設定したフラッシュの動作モードで撮影します。

■ 撮影が終わったら、電源を切る

● 連写撮影 P53 ・動画クリップ撮影 P55 ・音声の記録 P71 では、フラッシュは発光しません。
● マニュアル撮影モードでスローシャッターの設定 P68 をしているときは、フラッシュは発光禁止の設定になります。

● フラッシュ充電中は、ファインダー横のスタンバイランプが赤色で点滅します。このときシャッターボタンを押しても、シャッターは切れません。シャッターボタンから指を離して、スタンバイランプが緑色になるまで待ってから、次の撮影をしてください。

さまざまな撮影機能を使う（つづき）

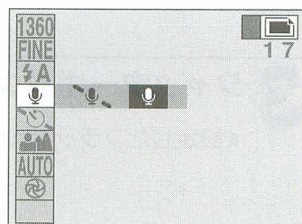
ボイスメモを付ける

静止画撮影モードでは、撮影時に約４秒間の音声が記録できます。これを「ボイスメモ」といいます。なお、撮影済みの画像に後から音声を付けることもできます。（「ボイスメモを追加する（ADD AUDIO）P89」）

※液晶モニターを使った撮影時のみ、ボイスメモを付けることができます。

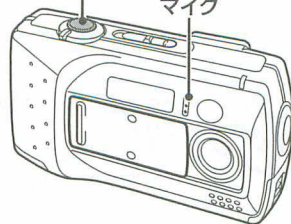
撮影・録音

1 [モード] ボタンを押して、撮影設定画面を出す

2 ボイスメモメニューから ボイスメモ入アイコン を選び、[セット] ボタンを押す

：ボイスメモを付けます。（ボイスメモ入）
：ボイスメモを付けません。（ボイスメモ切）

- ボイスメモの設定ができました。
- メインスイッチを[再生]や[モニター切]にしたり、電源を切ったりすると、ボイスメモの設定を解除し、ボイスメモを付けない設定に戻ります。
- 撮影設定画面を消すには、[モード] ボタンを押します。

3 シャッターボタンを押して、撮影してから、マイクに向かってしゃべる

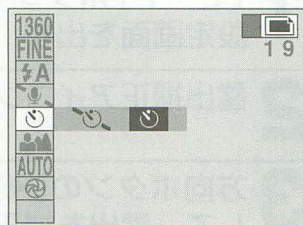
- 約４秒間の音声を記録します。
- 音声の記録中は、液晶モニターの右上に REC 表示が出ます。
- 音声の記録が終わると、ボイスメモ切の設定に戻ります。

■ 撮影が終わったら、電源を切る

- 圧縮率 TIFF で撮影した場合、撮影データを記録するまでに約 11 秒かかり（付属のコンパクトフラッシュ使用時）、その後、ボイスメモの録音が始まります。ボイスメモの録音が始まると、液晶モニターに REC 表示が出ます。
- 連写撮影では、ボイスメモを付けることができません。
- 動画クリップ撮影では、常に音声を記録します。
- ボイスメモは１件当たり、解像度 640・圧縮率 NORM の画像約 1/2 枚分のメモリを使用します。

セルフタイマーを使う

静止画撮影モードと連写撮影モードでは、セルフタイマーの設定ができます。セルフタイマーを使うと、シャッターボタンを押して約10秒後に、自動的にシャッターを切ることができます。

※液晶モニターを使った撮影時のみ、セルフタイマーが使えます。

1 [モード] ボタンを押して、撮影設定画面を出す

2 セルフタイマーメニューから セルフタイマー入アイコン ⏲ を選び、[セット]ボタンを押す

⏲：セルフタイマーが使えます。（セルフタイマー入）
⏲̸：セルフタイマーが使えません。（セルフタイマー切）

- セルフタイマーの設定ができました。
- メインスイッチを[再生]や[モニター切]にしたり、電源を切ったりすると、セルフタイマーの設定を解除し、セルフタイマー切の設定に戻ります。
- 撮影設定画面を消すには、[モード]ボタンを押します。

3 シャッターボタンを押す

- シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが約7秒間点灯した後、約3秒間点滅し、シャッターが切れます。
- セルフタイマーを使うときは、三脚などに本機を固定してください。
- 撮影が終わると、セルフタイマー切の設定に戻ります。
- シャッターが切れる前にもう1度シャッターボタンを押すと、セルフタイマー撮影を中断します。再度セルフタイマー撮影をする時は、シャッターボタンを押します。
- セルフタイマー撮影をやめるときは、セルフタイマー切アイコンを選び、[セット]ボタンを押してください。

■ 撮影が終わったら、電源を切る

さまざまな撮影機能を使う（つづき）

露出補正をする

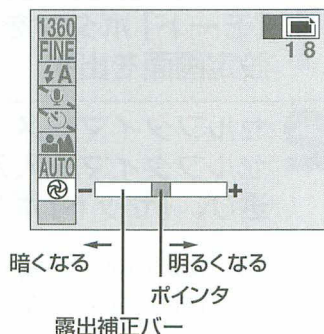
画面全体を意図的に暗くしたり（露出アンダー）、明るくしたり（露出オーバー）して、撮影できます。

※液晶モニターを使った撮影時のみ、露出補正ができます。
ただし、AEシフト連写撮影では露出補正はできません。

1 [モード] ボタンを押して、撮影設定画面を出す

2 露出補正アイコン［⊛］を選ぶ

3 方向ボタンの[◀]または[▶]を押して、露出を補正する

- [◀]または[▶]を押すと、露出補正バーのポインタが左右に移動し、露出補正が働きます。
- 暗く（露出アンダーぎみに）するには[◀]を押し、明るく（露出オーバーぎみに）するには[▶]を押します。
- ポインタを中央以外に移動すると、露出を補正します。
- 露出補正が働いているときは、ファインダーのスタンバイランプが、緑色に点滅します。
- メインスイッチを[再生]や[モニター切]にしたり、電源を切ったり、ポインタを中央に戻すと、露出補正の設定を解除します。
- 撮影設定画面を消すには、[モード]ボタンを押します。

4 シャッターボタンを押す

- 補正した露出で撮影します。

■ 撮影が終わったら、電源を切る

すばやく露出補正を設定するには
- 撮影設定画面またはインフォ画面が消えているときに、方向ボタンを押すと、露出補正または撮影ズームの設定が可能な場合、それぞれのアイコンが出ます。露出補正バーを表示させ、方向ボタンの[◀]または[▶]を押して設定します。

ズーム撮影をする

被写体を電気的に拡大(ズーム)して撮影できます。(デジタルズーム)
ズーム機能は、静止画撮影モードと連写撮影モードの解像度640および動画クリップ撮影モードで使えます。

※液晶モニターを使った撮影時のみ、ズーム撮影ができます。

1 [モード]ボタンを押して、撮影設定画面を出す

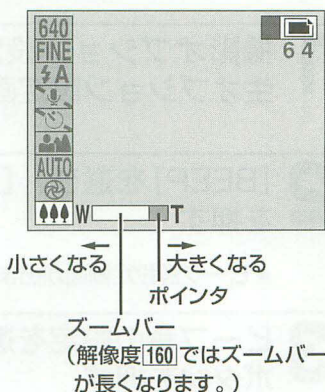
2 解像度を設定する P46

3 撮影ズームアイコン を選ぶ

4 方向ボタンの[▶]を押して、被写体をズームアップ(拡大)する

- [▶]を押すと、ズームバーのポインタが右へ移動し、ズームアップします。
  拡大率:解像度640……………1倍、2倍(2段階)
  解像度320……………1倍、2倍(2段階)
  解像度160……………1倍、2倍、4倍(3段階)
- [◀]を押すと、ポインタが左へ移動し、元の構図に戻ります。
- ズームアップ(拡大)すると、ファインダーのスタンバイランプが、緑色に点滅します。
- メインスイッチを[再生]や[モニター切]にしたり、電源を切ったりポインタを左端に戻すと、ズーム撮影の設定を解除します。
- 撮影設定画面を消すには、[モード]ボタンを押します。

5 シャッターボタンを押す

- 被写体をズームアップして撮影します。

■ 撮影が終わったら、電源を切る

すばやくズームを設定するには
- 撮影設定画面またはインフォ画面が消えているときに、方向ボタンを押すと、露出補正または撮影ズームの設定が可能な場合、それぞれのアイコンが出ます。ズームバーを表示させ、方向ボタンの[◀]または[▶]を押して設定します。

- デジタルズームを使うと機能上、撮影した画像はあらくなります。

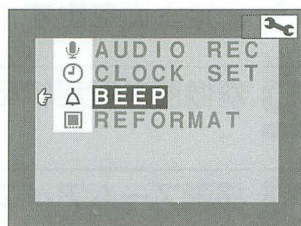
さまざまな撮影機能を使う（つづき）

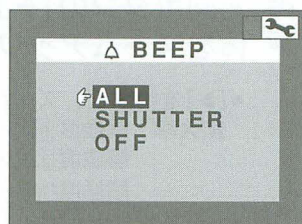
操作音(ビープ音)を設定する

シャッターボタンや[セット]ボタン、[モード]ボタンなどを押したときに、ビープ音(ピッという確認音)を鳴らす/鳴らさないが設定できます。

1 撮影オプション設定画面(または再生オプション設定画面)を出す P24

2 [BEEP]を選び、[セット]ボタンを押す

- ビープ音設定画面が出ます。

3 ビープ音の設定を選び、[セット]ボタンを押す

[ALL]　　　：すべてのボタン操作などでビープ音が鳴ります。
[SHUTTER]：シャッターボタン操作時などでビープ音が鳴ります。
[OFF]　　　：ビープ音が鳴りません。

- ビープ音の設定ができました。
- 撮影オプション設定画面(または再生オプション設定画面)に戻ります。
- メインスイッチを[再生]や[モニター切]にしたり、電源を切ったりしても、ビープ音の設定は保持します。

- ビープ音の音量調整はできません。

マニュアル撮影モードの設定

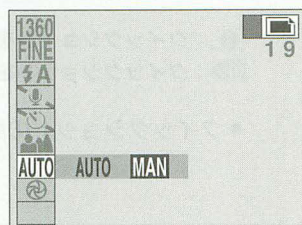
マニュアル撮影モードでは、下記の設定を変えることができます。さまざまな効果を持たせた撮影が可能です。
マニュアル撮影モードでの設定は、マニュアル撮影設定画面で行います。

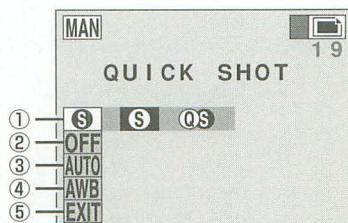
・クイックショット設定 ｝静止画撮影モードのみ可能
・スローシャッター設定 ｝静止画撮影モードのみ可能
・ISO感度設定
・ホワイトバランス設定

注意：
マニュアル撮影モードの設定は、撮影を終了したり電源を切っても保持します。
マニュアル撮影終了後は、オート撮影に切り替えてください。

● メインスイッチを[モニター切]にして、ファインダーを使った撮影ができます。

マニュアル撮影設定画面の出しかた

1 [モード]ボタンを押して、撮影設定画面を出す

2 オート/マニュアル撮影メニューからマニュアル撮影モードアイコン MAN を選び、[セット]ボタンを押す

● マニュアル撮影設定画面が出ます。
① クイックショット設定メニュー P67
② スローシャッター設定メニュー P68
③ ISO感度設定メニュー P69
④ ホワイトバランス設定メニュー P70
⑤ EXITアイコン

■ [モード]ボタンを押すか、EXITアイコンを選んで[セット]ボタンを押すと、撮影設定画面に戻ります。

マニュアル撮影モードの設定（つづき）

クイックショットを設定する

初期設定では、シャッターボタンを押してから、最適な撮影ができるように露出・ホワイトバランスの設定やピント合わせなどを行っています。このため、シャッターボタンを押してから実際に撮影するまでに少し時間がかかります。クイックショットを設定すると、露出・ホワイトバランス・ピントなどの設定を簡単に行い、シャッターボタンを押してから撮影するまでのレスポンスを早くすることができます。

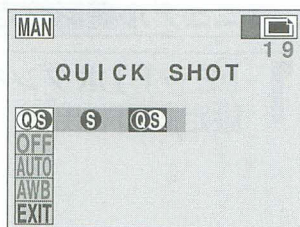
撮影・録音

※静止画撮影時のみ、クイックショットの設定ができます。

1 マニュアル撮影設定画面でクイックショット設定メニューを選ぶP66

2 方向ボタンの[◀]または[▶]を押して設定を選び、[セット]ボタンを押す

S：クイックショットを使いません。
QS：クイックショットを使います。

● クイックショットの設定ができました。

■ [モード]ボタンを押すか、EXITアイコンを選んで[セット]ボタンを押すと、撮影設定画面に戻ります。

● クイックショットを設定すると、シャッターボタンを押してから早く撮影することを優先するためクイックショットを使わない撮影と比べ、適正露出にならないことやフォーカスを通常撮影時で2m、マクロ撮影時で20cmに固定することがあります。

スローシャッターを設定する

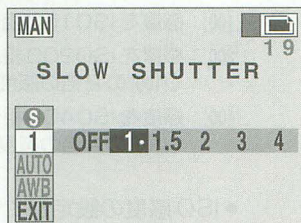
初期設定では、自動的に被写体の明るさを感知し、シャッター速度を1/4～1/10,000秒の範囲で変えて最適な撮影ができるようになっています。フラッシュを使わないで、より暗い場所での撮影をするときに、長時間シャッターを開けるスローシャッターの設定をしてください。夜景撮影で使用すると、光が流れるような写真にすることができます。

※静止画撮影時のみ、スローシャッターの設定ができます。

撮影・録音

1 マニュアル撮影設定画面でスローシャッター設定メニューを選ぶP66

2 方向ボタンの[◀]または[▶]を押して設定を選び、[セット]ボタンを押す

OFF：自動的にシャッタースピードを判断します。
1：シャッタースピードを1秒にします。
1.5：シャッタースピードを1.5秒にします。
2：シャッタースピードを2秒にします。
3：シャッタースピードを3秒にします。
4：シャッタースピードを4秒にします。

- スローシャッターの設定ができました。

■ [モード]ボタンを押すか、EXITアイコンを選んで[セット]ボタンを押すと、撮影設定画面に戻ります。

参考
- スローシャッターで撮影する場合、手ぶれを防ぐため、三脚などで本機を固定してください。
- スローシャッターで撮影した場合、小さな光る点が写ることがあります。これはデジタルカメラの撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。
- スローシャッターを設定すると、フォーカスを通常撮影時で2m、マクロ撮影時で20cmに固定することがあります。

マニュアル撮影モードの設定（つづき）

ISO感度を設定する

初期設定では、自動的に被写体の明るさに応じてISO感度を設定するようになっていますが、ISO感度を100、200、400相当に固定することができます。

1 マニュアル撮影設定画面でISO感度メニューを選ぶP66

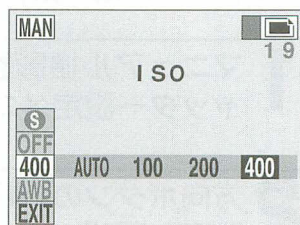
撮影・録音

2 方向ボタンの[◀]または[▶]を押して設定を選び、[セット]ボタンを押す

AUTO：自動的に感度を設定します。（ISO100～200相当）

100：感度をISO100相当にします。

200：感度をISO200相当にします。（100の2倍の感度）

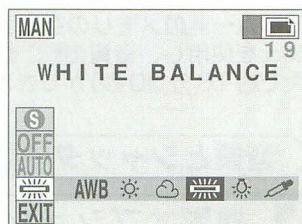
400：感度をISO400相当にします。（100の4倍の感度）

- ISO感度の設定ができました。

■ [モード]ボタンを押すか、EXITアイコンを選んで[セット]ボタンを押すと、撮影設定画面に戻ります。

- ISO感度を高く設定するほど、速いシャッタースピードでの撮影や、より暗い場所での撮影が可能になりますが、撮影画像はざらついたような感じになることがあります。

ホワイトバランスを設定する

このカメラでは光源が変化しても、白色が白く写るホワイトバランス自動調整機能が働きますので、ほとんどの場合は自動で撮影できます。光源を特定したり、色合いに変化を付けたいときは、ホワイトバランスの設定をしてください。

1 マニュアル撮影設定画面でホワイトバランスメニューを選ぶ P66

2 方向ボタンの[◀]または[▶]を押して設定を選び、[セット]ボタンを押す

AWB：撮影現場の天候や照明をカメラが判別し、自動的にホワイトバランスを調整します。オート撮影モードの設定です。(オートホワイトバランス)

☼：晴天時の設定です。

☁：曇天時の設定です。

蛍光灯アイコン：蛍光灯による照明時の設定です。

電球アイコン：白熱灯による照明時の設定です。

スポイトアイコン：より正確にホワイトバランスをとる時の設定です。光源が特定できない場合などに使用してください。

[設定のしかた]

① スポイトアイコンを選ぶ
  ・スポイトアイコンの上にNEW表示が出る

② 方向ボタンの[▲]を押して、NEWアイコンを選ぶ

③ 白色の紙を画面いっぱいに写す

④ [セット]ボタンを押す
  ・設定したスポイトアイコンのホワイトバランスは、他の設定(AWB、☼、☁、蛍光灯、電球)にしても、記憶しています。スポイトアイコンを選んで、[セット]ボタンを押すと、設定したスポイトアイコンのホワイトバランスに戻すことができます。

● ホワイトバランスの設定ができました。

■ [モード]ボタンを押すか、EXITアイコンを選んで[セット]ボタンを押すと、撮影設定画面に戻ります。

ホワイトバランスの設定を解除する(オートホワイトバランス設定に戻す)には

● 操作**1**･**2**を行い、AWBアイコンを選びます。

セピア色の写真を撮るには

● 操作**2**でスポイトアイコンを選んだ後、NEWアイコンを選び、白色の紙の代わりに青色の紙を使ってホワイトバランスの設定をしてください。紙の色を変えることにより雰囲気の変わった画像にすることができます。

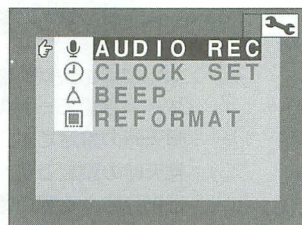
音声を記録する(AUDIO REC)

テープレコーダーのように、音声だけを記録することができます。
デジタル録音ですので、再生時の頭出しがすばやくできるなどの利点があります。静止画撮影時のボイスメモ機能の録音時間は約4秒間ですが、音声記録(AUDIO REC)ではカードのメモリの空き容量分の録音が可能です。(付属の8MBコンパクトフラッシュを使用し、音質NORMですべて音声録音した場合、1回当たり15分の連続録音(最大で約16分30秒)ができます。)

音質とシャッター動作の設定のしかた

撮影・録音

1 撮影オプション設定画面を出す P24

- この状態で[AUDIO REC]を選んでいます。

撮影オプション設定画面

2 [セット]ボタンを押す

- 録音画面が出ます。

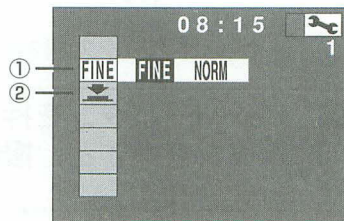
録音画面

3 [モード]ボタンを押す

- 録音設定画面が出ます。

①音質を設定する場合
音質メニューからFINEまたはNORMを選び、[セット]ボタンを押す

FINE:高音質で録音ができます。
(音質を優先する)

NORM:録音時間がFINEの約2倍になります。
(録音時間を優先する)

録音設定画面

②シャッター動作を設定する場合
シャッター動作メニューから[押している間]または[押して開始/停止]を選び、[セット]ボタンを押す

[押している間]:シャッターボタンを押している間だけ、録音します。

[押して開始/停止]:シャッターボタンを押すと録音を開始し、もう1度押すと停止します。

4 設定が終わったら、[モード]ボタンを押す

- 録音画面に戻ります。
- この状態でシャッターボタンを押すと、録音を開始します。
- 撮影オプション設定画面に戻すには、[セット]ボタンを押します。

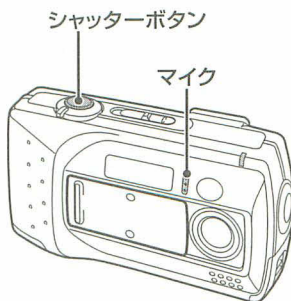
録音のしかた

1 録音画面を出す P71 操作1・2

P71

2 シャッターボタンを押して録音する

- 録音を開始します。マイクを音源に向けてください。
- シャッター動作が[アイコン]の場合は、シャッターボタンを押し続けている間、録音します。録音可能時間内にシャッターボタンを離すと、その時点で録音が終わります。
- シャッター動作が[アイコン]の場合は、シャッターボタンを押すと録音が始まり、もう1度押すとその時点で録音が終わります。
- 録音可能時間は119ページを参照してください。
- 液晶モニターを使っている場合、録音中は[RECORDING]表示とREC表示が出ます。
- 撮影オプション設定画面に戻すには、[セット]ボタンを押します。

録音中画面

■ 録音が終わったら、電源を切る

録音画面を消しても録音ができる

- 録音画面(P71 操作1・2)を出した後、メインスイッチを[モニター切]にすると録音待機状態になり、シャッターボタンを押して録音ができます。

撮影・録音

再生モードを設定する

本機で撮影・録音すると、静止画像データ、連写画像データ、動画クリップ(動画と音声)データ、音声データの4種類に分けて記録します。このため、再生するときは、どの種類のデータを再生するかを決める操作から始めます。

● 設定する再生モード

・静止画再生モード

静止画像を再生します。

拡大(ズーム)表示した画像を保存した場合P81、画像を合成した場合P84や、複写した画像P100も、静止画再生モードで再生します。

・連写再生モード

連写画像を再生します。

・動画クリップ再生モード

動画クリップを再生します。

・音声再生モード

録音した音声を再生します。

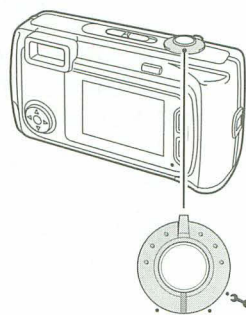
再生

1 セレクトダイヤルをまわし、希望する再生モードのマークに合わせる

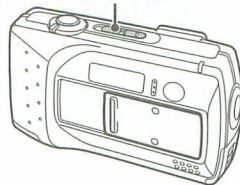
静止画再生モード：
静止画撮影モードで撮影した画像を再生します。P75

連写再生モード：
連写撮影モードで撮影した画像を再生します。P78

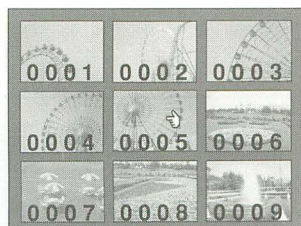
動画クリップ再生モード：
動画クリップ撮影モードで撮影した動画クリップを再生します。P79

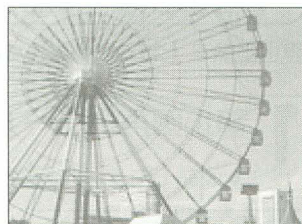
オプション：
録音した音声を再生します。P82

セレクトダイヤル

2 メインスイッチを[再生]にする

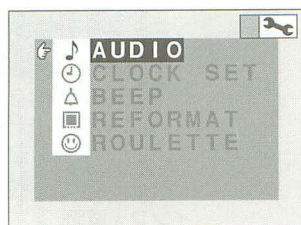
● 電源が入ります。
● 液晶モニターに再生画像または、再生オプション設定画面が出ます。
● 連写再生と動画クリップ再生の時に、操作**2**・**1**の順に行った場合は、次ページ「連写再生モード・動画クリップ再生モードについて」をご覧ください。
● 音声再生の時は、引き続き、次ページ「音声再生モードについて」をご覧ください。

メインスイッチ

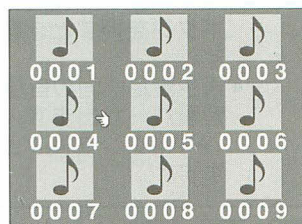
連写再生モード・動画クリップ再生モードについて

● メインスイッチを[再生]にしている状態で、セレクトダイヤルを[ ]または[ ]に合わせたときは、9画面マルチ再生による画像選択画面になります。この場合は、方向ボタンを押して、見たい画像に選択マーク を合わせて、[セット]ボタンを押してください。選んだ画像が大きくなります。

画像選択画面

方向ボタンで選び、
[セット]ボタンを押す

再生画面

音声再生モードについて

● セレクトダイヤルを[ ]に合わせたときは、再生オプション設定画面になります。この状態で[AUDIO]を選んでいます。[セット]ボタンを押すと、9画面マルチ再生による音声選択画面になります。方向ボタンを押して、聞きたい音声マークに選択マーク を合わせて、[セット]ボタンを押してください。音声再生画面になります。

再生オプション設定画面

[セット]ボタンを押す

音声選択画面

方向ボタンで選び、
[セット]ボタンを押す

音声再生画面

[NO IMAGE]または[NO AUDIO]表示が出る?
● 設定した再生モードに対応した画像または音声のデータがありません。セレクトダイヤルをまわし、データのある再生モードに切り替えてください。P99

再生

静止画像を再生する

静止画撮影モードで撮影した画像を再生します。

1枚ずつ再生する

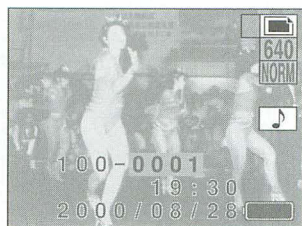
静止画像を1枚ずつ確認しながら再生できます。

1 静止画再生モードにする P73

- 液晶モニターに画像が出ます。

2 方向ボタンの[◀]または[▶]を押す

- 1つ前の画像を表示する場合は、[◀]を1回押します。
- 1つ後の画像を表示する場合は、[▶]を1回押します。
- ボイスメモのある画像は、再生設定画面で音量アイコン🔊が、インフォ画面でボイスメモアイコン♪が出ます。再生設定画面またはインフォ画面を消してから、[セット]ボタンを押すと、音声を聞くことができます。
- 再生設定画面の音量アイコン🔊を選ぶと、音量バーが出ます。この状態で[◀]または[▶]ボタンを押すと、再生音量が調整できます。

再生設定画面

インフォ画面

■ 再生が終わったら、電源を切る

連続再生する

連続して静止画像を再生することができます。

1 静止画再生モードにする P73

- 液晶モニターに画像が出ます。

2 方向ボタンの[◀]または[▶]を押し続ける

- 押している間、連続して画像を見ることができます。
- [◀]を押すと、逆方向の再生になります。
- [▶]を押すと、順方向の再生になります。

■ 連続再生を終わるときは、ボタンから指を離す

- 指を離した時点の画像を表示します。

再生

自動再生(スライドショー)

自動で静止画像を順番に再生します。ボイスメモの音声も聞くことができます。

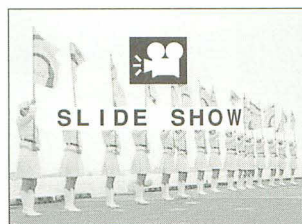
1 静止画再生モードにする P73

- 液晶モニターに画像が出ます。

2 再生設定画面が出ている場合は、[モード]ボタンを押して、再生設定画面を消す

- インフォ画面が出ている場合は、[インフォ]ボタンを押して、インフォ画面を消してください。

3 「SLIDE SHOW」表示が出るまで、方向ボタンの[▲]または[▼]を押し続ける

- 4秒間隔での自動再生が始まります。
- [▲]を押したときは、逆方向の自動再生になります。
- [▼]を押したときは、順方向の自動再生になります。

■ 自動再生を終わるときは、[モード]、[セット]、[インフォ]、方向ボタンのいずれかを押す

- 「SLIDE SHOW OFF」表示が出て、自動再生が終わります。

再生

静止画像を再生する（つづき）

9画面マルチ再生

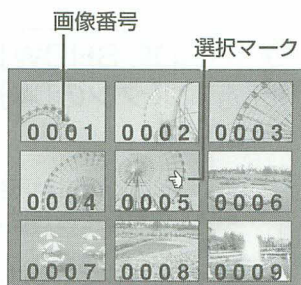
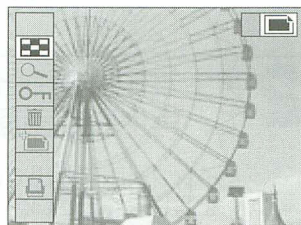
静止画撮影モードで撮影した静止画像を、液晶モニターに9画面表示します。

1 静止画再生モードにするP73

● 液晶モニターに画像が出ます。

2 [モード]ボタンを押して、再生設定画面を出す

3 9画面マルチ再生アイコン を選び、[セット]ボタンを押す

● 9画面マルチ再生表示になります。
● 各画像に付いている番号は、画像番号です。

4 方向ボタンを押して、見たい静止画像に選択マークを合わせ、[セット]ボタンを押す

● 選択マークを合わせた画像が大きくなります。

■ 再生が終わったら、電源を切る

9画面マルチ再生で ? マークが出る？

● 本機以外のカメラで撮影したカードを使用したときは、 ? マークが出る場合があります。

画像番号が飛んでいる？

● 画像番号はその画像固有のファイル番号を表示します。このため、撮影した画像を消去した場合、その後の画像番号はくり上がらないため、画像番号は飛んだように見えます。例えば上記の場合、画像番号0005の画像を消去すると、操作**3**では画像番号0005が飛んで、0001～0004、0006～0010の順になります。

再生

連写画像を再生する

連写撮影モードで撮影した画像を再生します。

1枚ずつ再生する

連写画像を1枚ずつ確認しながら再生できます。

1 連写再生モードにする P73

- 9画面マルチ再生表示になったときは、操作**5**を行ってから操作**2**へ進んでください。

2 方向ボタンの[◀]または[▶]を押す

- ボタンを押すごとに、選んだ連写画像を1枚ずつ再生します。
- 1つ前の画像を表示する場合は、[◀]を1回押します。
- 1つ後の画像を表示する場合は、[▶]を1回押します。
- ボタンを押し続けると、押している間、連続して画像を見ること（連続再生）ができます。連続再生を終わるときは、ボタンから指を離してください。
- 他の連写画像に切り替えるときは、操作**3**～**5**を行ってください。

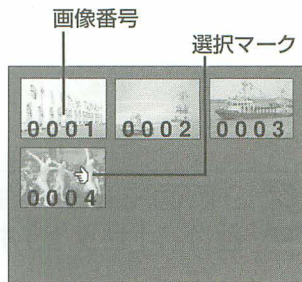
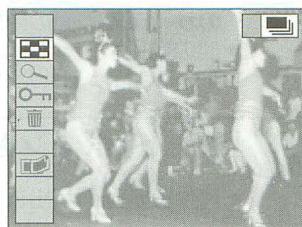
3 [モード]ボタンを押す

- 再生設定画面が出ます。

4 9画面マルチ再生アイコン を選び、[セット]ボタンを押す

- 9画面マルチ再生表示になります。

5 方向ボタンを押して、見たい連写画像に選択マークを合わせ、[セット]ボタンを押す

- 選択マークを合わせた画像が大きくなり、操作**2**を行うと、選んだ連写画像を再生します。

■ 再生が終わったら、電源を切る

自動再生をするには

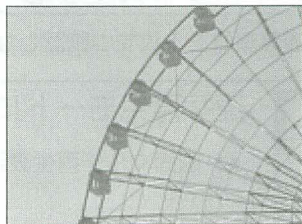
- 再生設定画面またはインフォ画面が消えている状態で、方向ボタンの[▲]または[▼]を押し続けた場合は、「SLIDE SHOW」表示が出て、自動再生 P76 ができます。自動再生を終わるときは、[モード]、[セット]、[インフォ]、方向ボタンのいずれかを押してください。

再生

動画クリップを再生する

動画クリップ撮影モードで撮影した画像を再生します。音声も聞くことができます。

1 動画クリップ再生モードにする P73

- 9画面マルチ再生表示になったときは、操作**6**を行ってから操作**2**へ進んでください。

2 再生設定画面が出ている場合は、[モード]ボタンを押して、再生設定画面を消す

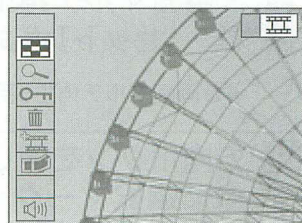
- インフォ画面が出ている場合は、[インフォ]ボタンを押して、インフォ画面を消してください。

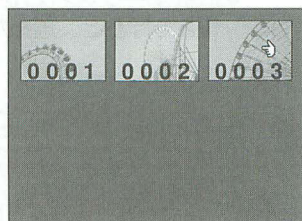
3 [セット]ボタンを押す

- 動画クリップ(画像と音声)を再生します。
- 解像度160で撮影した動画クリップは、1/4のサイズで画面の中央で再生します。
- 他の動画クリップに切り替えるときは、操作**4**～**6**を行ってください。

再生

4 [モード]ボタンを押す

- 再生設定画面が出ます。

5 9画面マルチ再生アイコン を選び、[セット]ボタンを押す

- 9画面マルチ再生表示になります。

6 方向ボタンを押して、見たい動画クリップに選択マーク☝を合わせ、[セット]ボタンを押す

●選択マークを合わせた画像が大きくなり、操作**3**を行うと選んだ動画クリップを再生します。

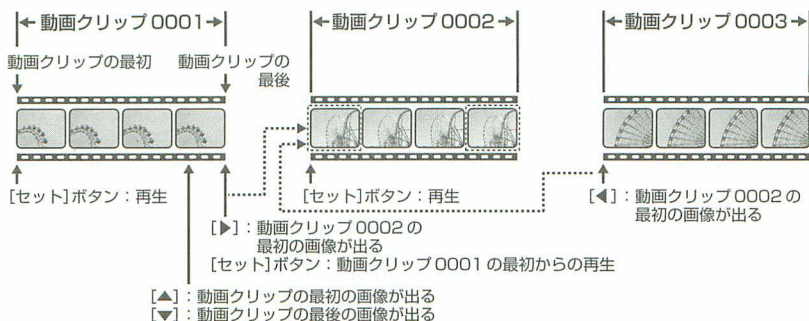
■ 再生が終わったら、電源を切る

動画クリップ再生を一時停止するには
- 動画クリップ再生中に、[セット]ボタンを押すと、押した時点で再生を一時停止します。もう1度[セット]ボタンを押すと、再生を再開します。

画像をコマ送りで見るには
- 動画クリップ再生を一時停止した後、方向ボタンの[▶]を押すと、順方向にコマ送りで見ることができます。[◀]を押すと逆方向のコマ送りになります。
- 方向ボタンの[◀]または[▶]を押し続けると連続コマ送りになります。

動画クリップを早送り再生で見たり、逆方向の再生で見るには
- 動画クリップ再生中に、方向ボタンの[▶]を押すと、2倍速再生(音声は出ない)になります。もう1度押すと、20倍速再生になり、さらにもう1度押すと通常の再生に戻ります。
- 動画クリップ再生中に方向ボタンの[◀]を押すと、逆方向の再生(音声は出ない)になります。もう1度押すと、逆方向の2倍速再生になります。もう1度押すと、逆方向の20倍速になり、さらにもう1度押すと、逆方向の再生に戻ります。通常の再生にするときは、[▶]を押してください。

動画クリップの頭出しをするには
- 動画クリップ再生中に、方向ボタンの[▲]を押すと、動画クリップの最初の画面になり、[▼]を押すと最後の画面になります。動画クリップの最後の画面で[▶]を押すと、次に撮影した動画クリップの最初の画面に切り替わります。動画クリップの最初の画面で[◀]を押すと、前に撮影した動画クリップの最初の画面に切り替わります。

操作ボタンを押したときの動作例

音量を調節するには
- 再生設定画面を出し、音量アイコン🔊を選ぶと、方向ボタンの[◀]または[▶]で音量を調整することができます。P75

拡大(ズーム)表示をする

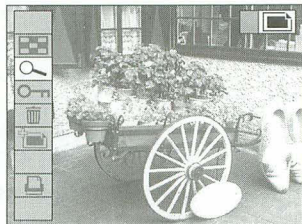
撮影した画像を拡大して見ることができます。

1 拡大表示したい画像を表示する

「静止画像を再生する P75」「連写画像を再生する P78」
「動画クリップを再生する P79」

2 [モード]ボタンを押して、再生設定画面を出す

3 再生ズームアイコン を選び、[セット]ボタンを押す

- 画像を拡大し、元の画像の中央部分を表示します。
- 方向ボタンを押すと、表示領域が変更できます。

4 さらに拡大したいときは、[セット]ボタンを押す

- 押すごとに画像を拡大します。
- 再生している画像の解像度により、拡大できる回数が異なります。
  解像度 1360 ：７段階　解像度 640 ：５段階　解像度 320 ：４段階
  解像度 160 ：３段階(動画クリップの解像度 160 を拡大するときは４段階)
- 最大まで拡大した後に、もう１度[セット]ボタンを押すと、元の大きさの画像に戻ります。
- シャッターボタンを押すと、拡大した画像を静止画像として保存できます。

■ 再生が終わったら、電源を切る

- ズーム機能で拡大すると、画像があらくなります。
- 動画クリップでは、１コマ(静止画)の拡大画像として見ることができますが、拡大画像で動画クリップ再生はできません。
- 最大拡大率は、解像度 1360 の場合で21倍になります。

拡大した画像を保存するときに、[CARD FULL]表示が出る？
- カードの空き容量がないので、拡大(ズーム)表示した画像を保存することができませんでした。画像を保存する場合は、不要な画像を消去 P98 してください。

再生

音声を再生する

録音した音声をカメラのスピーカーで聞くことができます。

1 音声再生画面を出す P73

音声再生画面

2 [セット]ボタンを押す

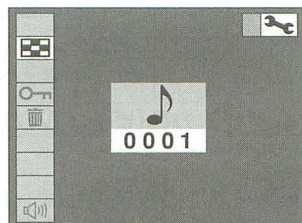
- 音声の再生を開始します。
- 他の音声に切り替えるときは、操作**3**～**5**を行ってください。

3 [モード]ボタンを押す

- 音声再生設定画面が出ます。

音声再生設定画面

4 9画面マルチ再生アイコン を選び、[セット]ボタンを押す

- 9画面マルチ再生による音声選択画面になります。

5 方向ボタンを押して、聞きたい音声に選択マークを合わせ、[セット]ボタンを押す

- 選択マークを合わせた音声の再生画面になります。

■ 再生が終わったら、電源を切る

すばやく他の音声に切り替えるには
- 操作**1**の音声再生画面で、方向ボタンの[◀]または[▶]を押すと、他の音声に切り替わります。

音声の再生を一時停止するには
- 音声再生中に、[セット]ボタンを押すと、押した時点で再生を一時停止します。もう1度[セット]ボタンを押すと、再生を再開します。

音声データを先送り･後戻し･頭出しするには
- 音声再生中に、方向ボタンの[▶]または[◀]を押すと、音声データを先送りしたり後戻しできます。(音声は出ません。)音声を聞くときは[▶]を押します。また、方向ボタンの[▲]または[▼]を押すと、音声データの最初または最後になります。

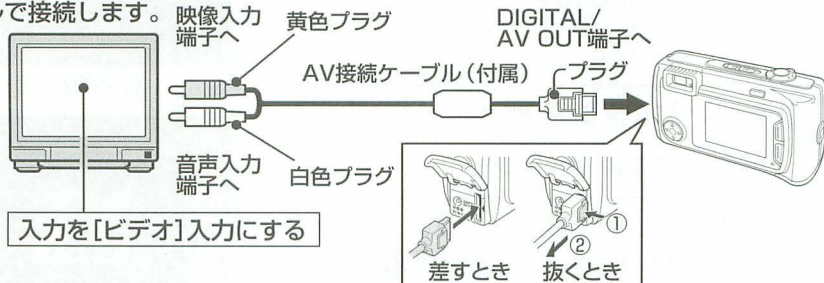
音量を調整するには
- 音声を再生していないときに[モード]ボタンを押して音声再生設定画面を出し、音量アイコン を選ぶと、方向ボタンの[◀]または[▶]で音量を調整することができます P75。調整後、[モード]ボタンを押して、[セット]ボタンを押すと音声の再生ができます。

音声データの情報を見るには
- 音声再生画面(操作**1**)で[インフォ]ボタンを押すと、録音時間などが確認できます。P34

テレビを使って再生する

撮影した画像は液晶モニターで見ることができますが、テレビに映して見ることもできます。音声もデジタルカメラのスピーカーで聞くことができますが、テレビで聞くこともできます。（ただし、テレビに接続した場合、カメラのスピーカー音声は出ません。）

接続のしかた

本機のDIGITAL/AV OUT端子と、テレビの音声・映像入力端子を付属のAV接続ケーブルで接続します。

- ケーブルの抜き差しは、ていねいに行ってください。むりに抜き差しすると、破損の原因になります。本機からAV接続ケーブルを抜くときは、プラグのボタンを押しながら抜いてください。
- 本機の音声はモノラルです。テレビがステレオの場合は、音声入力左（モノ）端子へ接続してください。

画像再生のしかた

- 接続後、テレビの入力切り替えを[ビデオ]入力にしてください。
- 液晶モニターでの再生と同じ手順で再生できます。

音声の再生のしかた

- ボイスメモのある画像は、再生設定画面で音量アイコン[音量アイコン]が、インフォ画面でボイスメモアイコン[ボイスメモアイコン]が出ます。再生設定画面またはインフォ画面を消してから、[セット]ボタンを押すと、音声を聞くことができます。
- 再生設定画面の音量アイコン[音量アイコン]を選んで[◀]または[▶]ボタンを押すと、再生音量が調整できます。
- 静止画の自動再生や動画クリップ再生のときは、上記操作をしなくても音声が聞こえます。
- 録音した音声を再生するときは、カメラで音声を聞くときと同様の操作を行ってください。P82

- このカメラの映像信号は、日米標準NTSCカラーTV方式です。NTSC方式以外のテレビでは、画像を見ることができません。
- ご使用になるテレビによっては、メニュー表示の一部が切れるなど、カメラの液晶モニターで見る状態より画面情報が少なくなることがあります。これはテレビの特性によるもので、故障ではありません。

画像を合成する…ウィンドウ機能(ADD PHOTO)

静止画撮影モードで撮影した画像や、拡大(ズーム)表示した画像を保存した画像P81、複写した画像P100に、新たに撮影した画像をはめ込む(画像を合成する)ことができます(ウィンドウ機能とも呼びます)。
この機能を使うと、撮影した名刺に顔写真を付けるなど、簡単な画像合成ができます。

画像合成の操作手順

背景になる画像を表示する

はめ込む画像の大きさを決める

はめ込む画像の位置を決める

はめ込む画像を撮影する
(シャッターボタンを押す)

- 画像合成ができました。
- 元の画像はそのまま残ります。

画像を合成する…ウィンドウ機能（ADD PHOTO）（つづき）

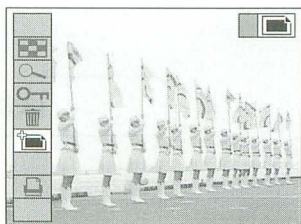
画像合成を始める前にフォーカスを確認する

- 画像合成で撮影する被写体との距離が短い（15cm～50cm）ときは、フォーカスを［マクロアイコン］（マクロ撮影）にしてください。P58

背景になる画像を表示する

1 背景になる静止画像を表示する

- 静止画像が多くあるときは、「9画面マルチ再生P77」で選ぶと便利です。

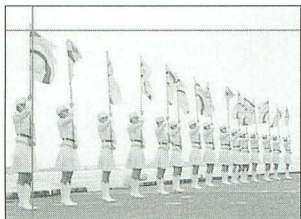
2 ［モード］ボタンを押して、再生設定画面を出す

3 静止画像編集アイコン［アイコン］を選び、［セット］ボタンを押す

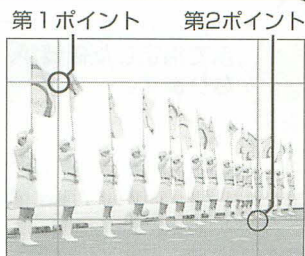
- 画像/音声合成選択画面が出ます。
- 「ADD PHOTO」表示がオレンジ色になっています。この状態で画像合成アイコンを選んでいます。

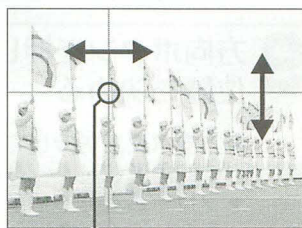
画像/音声合成選択画面

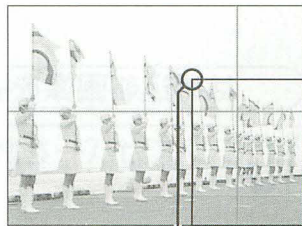
4 ［セット］ボタンを押す

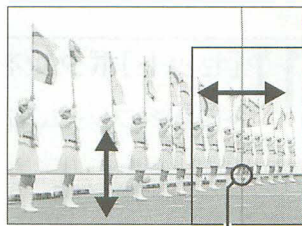
- はめ込む画像の大きさを設定する、ガイド表示（白色の線）が出ます。

その他の操作

はめ込む写真の大きさを決める

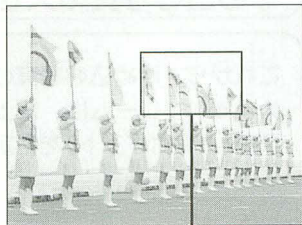
これから、はめ込む写真の大きさ（フレーム）を決めます。フレームは、左上角（第１ポイント）と右下角（第２ポイント）を指定して作成します。

5 方向ボタンを押して、第１ポイントを決める

- ［▲］、［▼］ボタン：ガイド表示の横線が上下に移動します。
- ［◀］、［▶］ボタン：ガイド表示の縦線が左右に移動します。
- 方向ボタンを押し続けると、ガイド表示の線が連続して移動し、離すと停止します。

6 ［セット］ボタンを押す

- 第１ポイントが確定します。
- 第２ポイントを指定するための、ガイド表示が出ます。

7 方向ボタンを押して、第２ポイントを決める

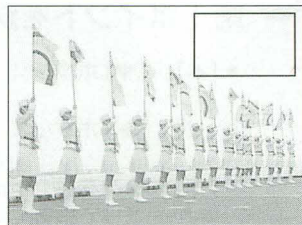
- 第２ポイント設定中に、ガイド表示が緑色になる位置があります。
  この位置は、第１ポイントと第２ポイントで作ったフレームの縦横比が３：４になるところです。

画像を合成する…ウィンドウ機能（ADD PHOTO）（つづき）

8 [セット]ボタンを押す

- はめ込む画像の大きさが決まり、ガイド表示で指定した領域が、四角形（フレーム）になります。

フレーム

はめ込む画像の位置を決める

9 方向ボタンを押して、はめ込む画像の位置を決める

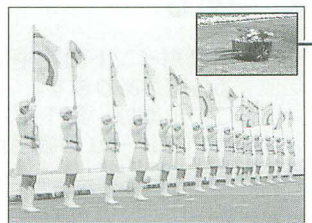
- 方向ボタンを押して、はめ込む画像の位置に四角形（フレーム）を移動します。
- フレームを作り直すには、[モード]ボタンを押してください。[モード]ボタンを押すと、第1ポイントを指定する画面（操作**4**）に戻ります。

はめ込む画像を撮影する

10 レンズカバーを開ける

11 [セット]ボタンを押す

- 四角形（フレーム）部分に撮影画像が出ます。

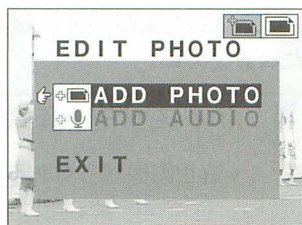
撮影画像

その他の操作

12 はめ込む画像の構図を決めて、シャッターボタンを押す

画像/音声合成選択画面

- 撮影が終了すると画像/音声合成選択画面に戻ります。
- 画像合成ができました。合成した画像は、静止画像の最後のファイルとして、追加します。
- [モード] ボタンを押すか、[EXIT] 表示を選び [セット] ボタンを押すと、再生設定画面に戻ります。

■ 画像合成が終わったら、電源を切る

その他の操作

[CARD FULL] 表示が出る？

- カードの空き容量がないので、画像合成ができませんでした。画像合成をする場合は、背景になる画像と同じカードの空き容量が必要です。不要な画像を消去 P98 してください。

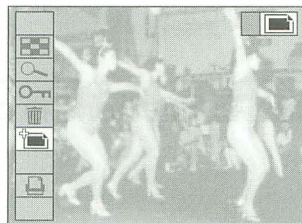
- はめ込む画像を撮影する時には、フラッシュとセルフタイマーは使えません。
- 画像合成した画像の圧縮率は NORM になります。（解像度は変わりません。）

ボイスメモを追加する(ADD AUDIO)

静止画撮影モードで撮影した画像や、拡大(ズーム)表示した画像を保存した画像P81、画像合成した画像P84、複写した画像P100に、ボイスメモ(音声)を後から付けることができます。

1 ボイスメモ(音声)を付ける静止画像を表示するP75

- 静止画像が多くあるときは、「9画面マルチ再生P77」で選ぶと便利です。

2 [モード]ボタンを押して、再生設定画面を出す

3 静止画像編集アイコン を選び、[セット]ボタンを押す

- 画像/音声合成選択画面が出ます。

4 方向ボタンの[▼]を押して、音声追加(ADD AUDIO)アイコン を選ぶ

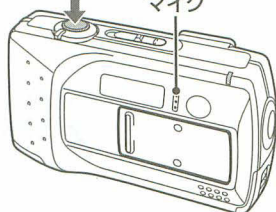
- 「ADD AUDIO」表示がオレンジ色になります。

- ボイスメモ付きの画像をプロテクトしている場合は、ボイスメモを追加することができません。プロテクトを解除P97してから、ボイスメモを付けてください。

5 [セット]ボタンを押す

●ボイスメモ(音声)追加の準備状態になります。

6 シャッターボタンを押す

●録音を開始しますので、マイクに向って音声を吹き込みます。約4秒間録音することができます。録音中は[RECORDING]表示とREC表示が出ます。
●録音が終了すると、画像/音声合成選択画面に戻ります。
●続けて他の画像にボイスメモを付ける場合は、方向ボタンの[◀]または[▶]を押して追加する画像を表示し、操作**5·6**を行います。
●[モード]ボタンを押すか、[EXIT]表示を選び[セット]ボタンを押すと、再生設定画面に戻ります。

REC(録音中)表示

その他の操作

■ ボイスメモの追加が終わったら、電源を切る

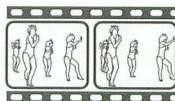
●撮影しながらボイスメモを付けることもできます「ボイスメモを付ける P61」。
●ボイスメモを付けた場合、後でボイスメモだけを消去することはできません。画像を消去すると、ボイスメモも消去します。
●ボイスメモを付けた画像にボイスメモの追加をすると、後で記録した音声に入れ替わります。
●撮影可能枚数が[0]の場合は、ボイスメモを付けることができません。

[CARD FULL]表示が出る?
●カードの空き容量がないので、ボイスメモを追加することができませんでした。ボイスメモを追加する場合は、不要な画像を消去 P98 してください。

動画クリップを編集する…動画クリップ編集機能（CLIPPING/JOINT）

動画クリップを希望のシーンから前部分または後ろ部分の動画クリップを、新しい動画クリップとして保存することができます。（動画クリップの部分保存：CLIPPING（クリッピング））
また、動画クリップをつなぎ合わせて、新しい動画クリップファイルとして保存することができます。（動画クリップのつなぎ合わせ：JOINT（ジョイント））

動画クリップの部分保存（CLIPPING）の操作手順

動画クリップを表示する

希望のシーンから前部分を保存するか、
後ろ部分を保存するか決める

新しい動画クリップとして保存する
（[セット]ボタンを押す）

- 動画クリップの部分保存ができました。…

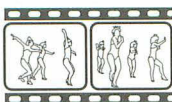
- 元の動画クリップはそのまま残ります。…
（保存時に消去することもできます。）

動画クリップのつなぎ合わせ(JOINT)の操作手順

前部分になる動画クリップを表示する

後ろ部分になる(つなぎ合わせる)
動画クリップを選ぶ

動画クリップをつなぎ合わせる
([セット]ボタンを押す)

● 動画クリップのつなぎ合わせができました。…

● 元の動画クリップはそのまま残ります。…
(保存時に消去することもできます。)

動画クリップ編集時のご注意

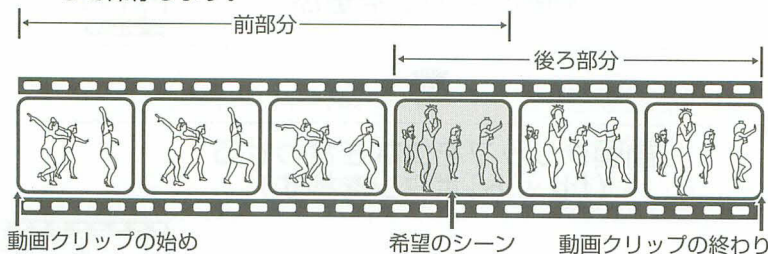
● 動画クリップ編集処理中は、メインスイッチを動かさないでください。メインスイッチを動かすと、編集処理が正常に終了しないばかりではなく、編集元の画像まで消えてしまうことがあります。
● CLIPPING(クリッピング)とJOINT(ジョイント)をくり返すことにより、希望の動画クリップを作ることができます。ただし、動画クリップが増えて、カードの空き容量がなくなると、編集はできなくなります。([CARD FULL]表示が出ます。P94·96)このようなときは、不要な動画クリップを消去P98するか、編集時に元の動画クリップの消去操作P94·96を行ってください。
● 動画クリップの編集時は、カードに記録した動画クリップデータを、カメラ本体内のメモリに呼び出して編集を行います。このため、カメラ本体内のメモリを超える容量の動画クリップ編集はできません。[MEMORY FULL]表示と表示が出ます。P94·96

動画クリップの部分保存（CLIPPING）

1 部分保存する動画クリップを表示する

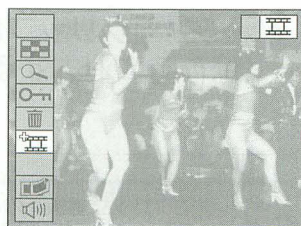
「動画クリップを再生するP79」

2 方向ボタンの[◀]または[▶]を押して、保存したい希望のシーンを表示する

- 希望のシーンを含んで、前部分または、後ろ部分を新しい動画クリップとして保存します。

- 希望のシーンをすばやくさがすときは、動画クリップの「早送り再生（逆方向の再生）」→「一時停止」→「コマ送り」の操作をすると便利です。P80

3 [モード]ボタンを押して、再生設定画面を出す

4 動画クリップ編集アイコン を選び、[セット]ボタンを押す

- 動画クリップ編集選択画面が出ます。
- [CLIPPING] 表示がオレンジ色になっています。この状態で動画クリップ部分保存アイコンを選んでいます。

5 [セット]ボタンを押す

- 動画クリップ編集部分保存選択画面が出ます。
- [CLIP FORMER] 表示がオレンジ色になっています。この状態で前部分保存アイコンを選んでいます。

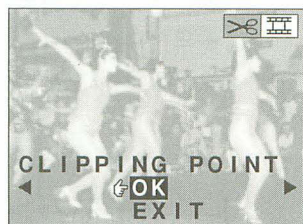
動画クリップ編集選択画面

6 方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、保存する部分を選ぶ

[CLIP FORMER]　：前部分を保存します。
[CLIP LATTER]　：後ろ部分を保存します。

- この状態で方向ボタンの[◀]または[▶]を押すと、保存したい希望のシーンを変更することができます。

7 [セット]ボタンを押す

- カット位置の確認画面が出ます。
- カット位置を変更するときは、方向ボタンの[◀]または[▶]を押します。

8 [セット]ボタンを押す

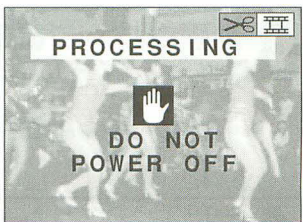
- 元の動画クリップの消去確認画面が出ます。

9 編集と同時に元の動画クリップを消去する/しないを選ぶ

[YES]　：元の動画クリップを消去します。
[NO]　：元の動画クリップを消去しません。

元動画クリップの消去確認画面

10 [セット]ボタンを押す

- [PROCESSING]表示の後、[LOADING]表示が出て、操作**5**の画面に戻ります。
- 選んだ部分を、新しい動画クリップとして保存しました。
- 操作**9**で[YES]を選んだときは、新しく動画クリップを保存した後、元の動画クリップを自動的に消去します。
- [モード]ボタンを押すか、[EXIT]表示を選び[セット]ボタンを押すと、再生設定画面に戻ります。

その他の操作

[CARD FULL]表示が出る？
- カードまたはカメラ本体メモリの空き容量がないので、動画クリップを新しく保存することができませんでした。詳しくは、「動画クリップ編集時のご注意 P92」をご覧ください。

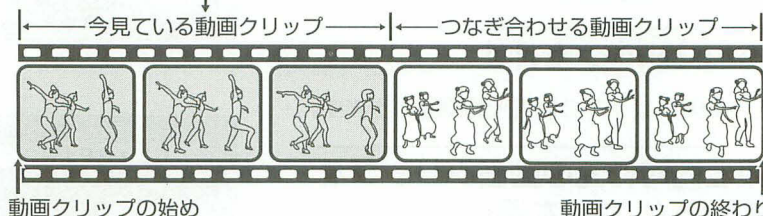
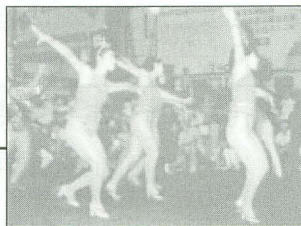
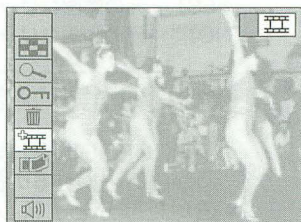
[BATTERY EMPTY]表示が出る？
- 電池の残り容量がないので、動画クリップ編集ができません。電池を充電するか、充電済みの電池と交換してから編集を行ってください。

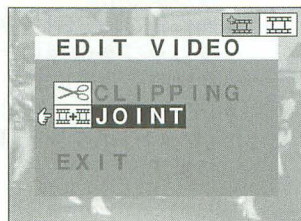
動画クリップを編集する…動画クリップ編集機能（CLIPPING/JOINT）（つづき）

動画クリップのつなぎ合わせ(JOINT)

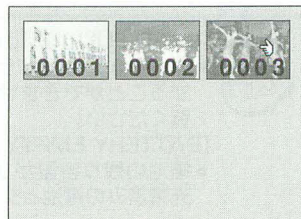
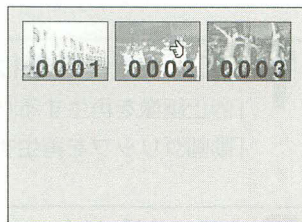
1 編集する動画クリップを表示する

「動画クリップを再生する P79」

- 表示した動画クリップの後に、別の動画クリップがつながります。

2 [モード]ボタンを押して、再生設定画面を出す

3 動画クリップ編集アイコン を選んで、[セット]ボタンを押す

- 動画クリップ編集選択画面が出ます。

4 方向ボタンの[▼]を押して、動画クリップつなぎ合わせ(JOINT)アイコン を選ぶ

5 [セット]ボタンを押す

- 動画クリップの9画面マルチ再生画面になります。

6 方向ボタンを押して、つなぎ合わせる動画クリップに☝を合わせる

7 [セット] ボタンを押す

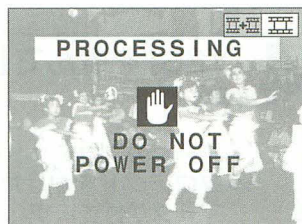
- 元の動画クリップの消去確認画面が出ます。

8 編集と同時に元の動画クリップを消去する/しないを選ぶ

[YES] ：元の動画クリップを消去します。
[NO] ：元の動画クリップを消去しません。

元動画クリップの消去確認画面

9 [セット] ボタンを押す

- [PROCESSING] 表示の後、[LOADING] 表示が出て、操作**4**の画面に戻ります。
- 選んだ動画クリップをつなぎ合わせて、新しい動画クリップとして保存しました。
- 操作**8**で [YES] を選んだときは、動画クリップをつなぎ合わせて保存した後、元の動画クリップを自動的に消去します。
- [モード] ボタンを押すか、[EXIT] 表示を選び [セット] ボタンを押すと、再生設定画面に戻ります。

その他の操作

[CARD FULL] 表示が出る？
- カードまたはカメラ本体メモリの空き容量がないので、動画クリップを新しく保存することができませんでした。詳しくは、「動画クリップ編集時のご注意 P92」をご覧ください。

[SIZE ERROR] 表示が出る？
- つなぎ合わせる動画クリップの解像度が異なるので、動画クリップをつなぎ合わせることができませんでした。動画クリップをつなぎ合わせる場合は、解像度が同じ動画クリップを選択してください。

[BATTERY EMPTY] 表示が出る？
- 電池の残り容量がないので、動画クリップ編集ができません。電池を充電するか、充電済みの電池と交換してから編集を行ってください。

プロテクトをかける(消去禁止)

記録済みの大切なデータを誤って消さないために、プロテクト(消去禁止)をかけることができます。静止画像、連写画像は1枚ずつ、動画クリップはクリップごと、音声データは1つずつにプロテクトがかかります。

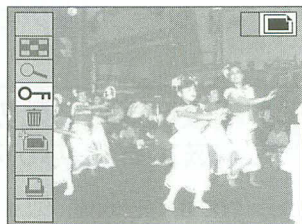
1 プロテクトをかけるデータを表示する

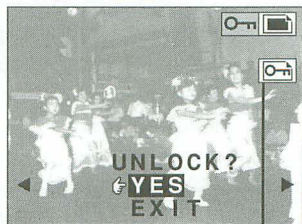
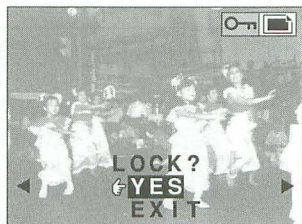
「静止画像を再生する P75」「連写画像を再生する P78」
「動画クリップを再生する P79」「音声を再生する P82」

例：静止画再生モードの設定画面

2 [モード]ボタンを押して、再生設定画面を出す

3 プロテクト(消去禁止)アイコン を選び、[セット]ボタンを押す

- [LOCK?]表示が出ます。
- すでにプロテクトがかかっているデータには、[UNLOCK?]表示が出ます。

4 [YES]を選んで[セット]ボタンを押す

- データのプロテクト(消去禁止)ができました。
- プロテクトをかけたデータには、プロテクトマークが付きます。
- 続けて他のデータにプロテクトをかける場合は、方向ボタンの[◀]または[▶]を押して、プロテクトをかけるデータを表示し、操作**2**～**4**を行ってください。
- [モード]ボタンを押すか、[EXIT]表示を選び[セット]ボタンを押すと、再生設定画面に戻ります。

プロテクトマーク

■ プロテクトが終わったら、電源を切る

- プロテクトしたデータでも、カードを初期化(フォーマット) P111 すると、すべてのデータを消去します。

プロテクト(消去禁止)を解除するには

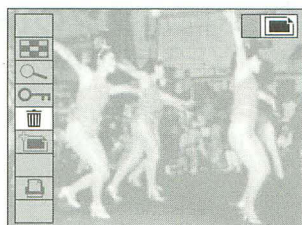
- プロテクトを解除したいデータを選び、操作**3**･**4**を行うと、プロテクトマークが消え、プロテクト(消去禁止)を解除します。

データを消去する

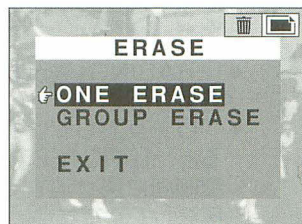
撮影に失敗したり、いらなくなったデータを消去することができます。データの消去には、画像を１つずつまたは１動画クリップずつ消去する方法と、グループごとに一括して消去する方法があります。

1 消去するデータを表示する

「静止画像を再生する P75 」「連写画像を再生する P78 」
「動画クリップを再生する P79 」「音声を再生する P82 」

2 [モード]ボタンを押して、再生設定画面を出す

例：静止画再生モードの設定画面

3 消去アイコン[🗑]を選び、[セット]ボタンを押す

● 消去方法選択画面が出ます。

4 方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、消去方法を選ぶ

消去方法選択画面

静止画像消去の場合

[ONE ERASE]　　：１枚ずつ静止画像を消去します。
[GROUP ERASE]：すべての静止画像を消去します。
[EXIT]　　　　　：再生設定画面に戻ります。

連写画像消去の場合

[ONE ERASE]　　：表示中の連写画像を１枚ずつ消去します。
[GROUP ERASE]：表示中の連写画像をフォルダごとすべて消去します。
（他の連写フォルダは消えません）
[EXIT]　　　　　：再生設定画面に戻ります。

動画クリップ消去の場合

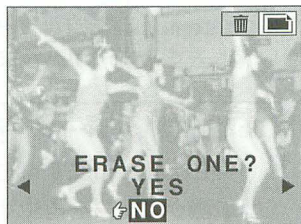
[ONE ERASE]　　：表示中の動画クリップを消去します。
[GROUP ERASE]：すべての動画クリップを消去します。
[EXIT]　　　　　：再生設定画面に戻ります。

音声消去の場合

[ONE ERASE]　　：１つずつ音声を消去します。
[GROUP ERASE]：すべての音声を消去します。
[EXIT]　　　　　：再生設定画面に戻ります。

データを消去する（つづき）

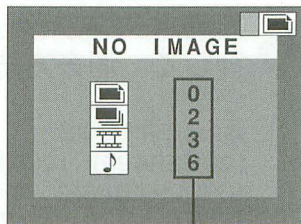
5 [セット]ボタンを押す

- 消去確認画面が出ます。
- [ONE ERASE]アイコンを選択した場合は、この状態で方向ボタンの[◀]または[▶]を押して、消去するデータが変更できます。

消去方法確認画面

6 方向ボタンの[▲]を押して、「YES」を選ぶ

[YES]：消去します。
[NO]　：消去を中止し、消去方法選択画面に戻ります。

7 [セット]ボタンを押す

- [ERASING]表示が出て、データの消去ができました。
- プロテクトしているデータを消去しようとすると、「PROTECTED」表示が出た後、消去確認画面に戻り消去できません。プロテクトを解除してください。P97
- 続けて他のデータを消去する場合は、方向ボタンの[◀]または[▶]を押して、消去するデータを表示し、操作**6·7**を行ってください。
- 消去してデータがなくなった場合は、「NO IMAGE」または「NO AUDIO」表示が出ます。

静止画像、連写画像、動画クリップ、音声記録のデータ数をそれぞれ表示します

■ 消去が終わったら、電源を切る

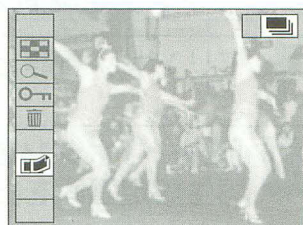
その他の操作

画像を複写(COPY)する

連写撮影した画像と動画クリップ撮影した画像は、その中からお気に入りの画像を抜き出して1枚の静止画像データとして、複写ができます。(元の画像はそのまま残ります。)

1 連写画像または動画クリップを再生し、お気に入りの画像を表示する

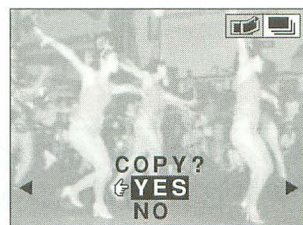
「連写画像を再生する P78」「動画クリップを再生する P79」

2 [モード]ボタンを押して、再生設定画面を出す

例:連写再生モードの設定画面

3 コピーアイコンを選び、[セット]ボタンを押す

- コピー画面が出ます。
- この状態で[YES]を選んでいます。

[YES]:表示中の画像を静止画像として保存します。元の画像はそのまま残ります。
[NO] :複写を中止し、再生設定画面に戻ります。

- 方向ボタンの[◀]または[▶]を押して、コピーする画像が変更できます。

コピー画面

4 [セット]ボタンを押す

- [LOADING]表示が出て、コピー画面に戻ります。
- 画像の複写ができました。
- [モード]ボタンを押すと、再生設定画面に戻ります。

■ 複写が終わったら、電源を切る

[CARD FULL]表示が出る?
- カードの空き容量がないので、画像を複写することができませんでした。画像を複写する場合は、元になる画像と同じカードの空き容量が必要です。不要な画像を消去 P98 してください。

- 圧縮率 FINE の動画クリップをコピーした場合、静止画像の圧縮率は NORM になります。(解像度は変わりません。)

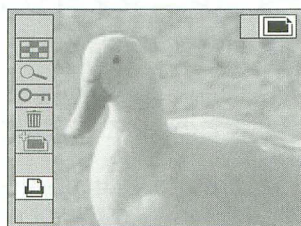
その他の操作

プリントを指定する

静止画像はデジタルプリントサービスを取り扱っている店に、カードをお持ちいただければ写真にすることができます。本機はDPOF規格を採用しており、DPOF規格の取り扱い店では、プリントする枚数の指定やプリントに日付表示の指定が本機で、できます。連写画像または動画クリップの画像をプリントサービスに出される場合は、まず静止画像として画像を複写(COPY) P100 する必要があります。プリントについて詳しくは、デジタルカメラのデジタルプリントサービス取り扱い店にご相談ください。

プリント指定画面を出す

1 プリントする静止画像を表示する P75

2 [モード] ボタンを押して、再生設定画面を出す

3 プリント指定アイコン を選び、[セット] ボタンを押す

プリント指定画面

- プリント指定画面が出ます。

[STANDARD] ：1枚の用紙に1画像をプリントします。(スタンダードプリント) P102

[INDEX] ：すべての静止画像を小さな画像で一覧表示用としてプリントします。(インデックスプリント) P103

[ALL CLEAR] ：プリント指定の内容を取り消します。 P104

[EXIT] ：再生設定画面に戻ります。

- [モード] ボタンを押すか、[EXIT] を選んで、[セット] ボタンを押すと、再生設定画面に戻ります。

DPOF規格について

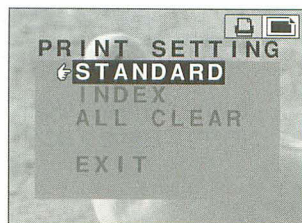
- プリントオーダー規格の1つ。デジタルカメラでプリント指定をして、効率よくプリントができます。また、DPOF規格に対応したプリンタを使うこともできます。

その他の操作

スタンダードプリントする

1枚の用紙に1画像をプリントすることを「スタンダードプリント」といいます。スタンダードプリントでは、プリント枚数や撮影年月日のプリントを指定することができます。

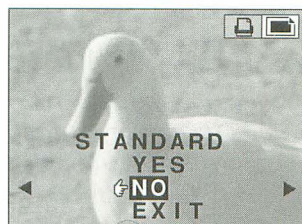
プリント枚数を指定する

1 プリント指定画面を出す P101

プリント指定画面

2 [STANDARD]を選ぶ

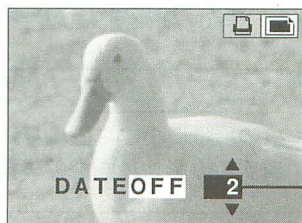
3 [セット]ボタンを押す

- スタンダードプリント画面が出ます。

[YES]：スタンダードプリントの設定を続けます。
[NO]：その画像に設定しているプリント枚数の指定と、日付プリントの指定を取り消すときに選んでください。
[EXIT]：プリント設定画面に戻ります。

スタンダードプリント画面

- 方向ボタンの[◀]または[▶]を押して、プリント指定する画像が変更できます。

4 方向ボタンの[▲]を押して、[YES]を選び、[セット]ボタンを押す

- プリント枚数・日付プリント指定画面が出ます。
- プリント枚数指定がオレンジ色になっています。

5 方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、プリント枚数を指定する

プリント枚数指定

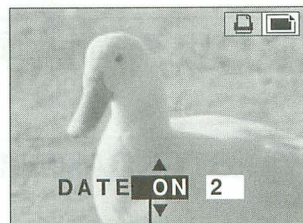
枚数・日付プリント指定画面

- 1～99枚まで指定できます。
- プリント枚数の指定ができました。日付プリントの指定をするときは、操作**6**･**7**を行ってください。
- 日付プリントの指定をしないときは、操作**7**を行ってください。

- プリントの仕上りなどは、プリントサービスやプリンタの仕様により異なります。

日付プリントを指定する

6 方向ボタンの[◀]を押して、日付プリント指定を選び、[▲]または[▼]を押して、日付プリントを指定する

[ON] ：日付をプリントします。
[OFF]：日付をプリントしません。

日付プリント指定

7 [セット]ボタンを押す

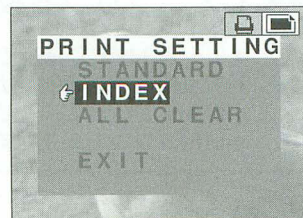
- 日付プリントとプリント枚数の設定ができました。
- スタンダードプリント画面に戻ります。
- 続けて他の画像のプリント指定をする場合は、方向ボタンの[◀]または[▶]を押してプリント指定する画像を表示し、操作**4**～**7**を行ってください。
- [モード]ボタンを押すか、[EXIT]を選んで、[セット]ボタンを押すと、プリント指定画面に戻ります。

■ 指定が終わったら、電源を切る

インデックスプリントする

1枚の用紙に小さな画像をたくさんプリントすることを「インデックスプリント」といいます。撮影した画像の一覧を作成する場合に便利です。

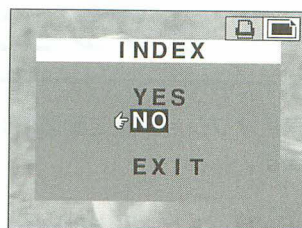
1 プリント指定画面を出す P101

2 [INDEX]を選ぶ

プリント指定画面

3 [セット]ボタンを押す

インデックスプリント設定画面

- インデックスプリント画面が出ます。

[YES] ：インデックスプリントの設定をします。
[NO] ：設定しているインデックスプリントの指定を取り消します。
[EXIT]：プリント設定画面に戻ります。

4 方向ボタンの[▲]を押して、[YES]を選び、[セット]ボタンを押す

- インデックスプリントの設定ができました。
- プリント指定画面に戻ります。
- [モード]ボタンを押すか、[EXIT]を選んで、[セット]ボタンを押すと、再生設定画面に戻ります。

■ 指定が終わったら、電源を切る

すべての画像のプリント指定を消去する

1 プリント指定画面を出す P101

プリント指定画面

2 [ALL CLEAR]を選ぶ

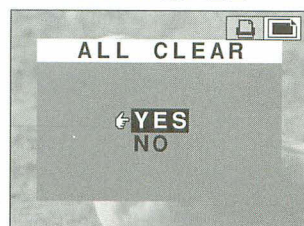
3 [セット]ボタンを押す

- 消去確認画面が出ます。

[YES] ：すべての画像のプリント指定を消去します。
[NO] ：プリント指定の消去を中止して、プリント指定画面に戻ります。

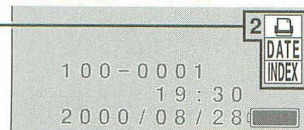
消去確認画面

4 方向ボタンの[▲]を押して、[YES]を選び、[セット]ボタンを押す

- すべての画像のプリント指定を消去し、プリント指定画面に戻ります。
- [モード]ボタンを押すか、[EXIT]を選んで、[セット]ボタンを押すと、再生設定画面に戻ります。

■ 指定の消去が終わったら、電源を切る

- 設定したプリント指定内容は、各画像ごとにインフォ画面で確認できます。

例：日付が入るスタンダードプリントが２枚とインデックスプリントを指定しています。

その他の操作

オプション(ゲーム)機能について

再生オプション設定画面には、撮影画像を利用したルーレットを楽しめる機能があります。

ルーレットゲームとは：８枚の静止画像の中から、ルーレットのようにカメラが自動的に１枚の画像を選びます。ゲームには、ルーレット形式で１枚の撮影画像を選ぶ「ノーマルモード」(１画面選択方式)と、ルーレットで選んだ画像が次回のルーレット対象外となり、対象になる画像がだんだん減っていく「サバイバルモード」(生き残り方式)の２種類があります。
ルーレットゲームは、テレビに映して楽しむこともできます。「テレビを使って再生するP83」

ルーレットゲームの操作手順

ゲーム開始画面にする

ルーレットゲームのモードを選択する

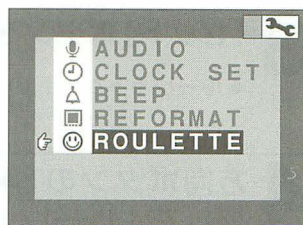
ルーレットゲームに使う画像を選択する

ゲームを始める
([セット]ボタンを押す)

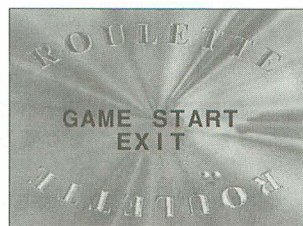
その他の操作

ゲーム開始画面にする

1 再生オプション設定画面を出す P24

P24

2 [ROULETTE] を選んで、[セット] ボタンを押す

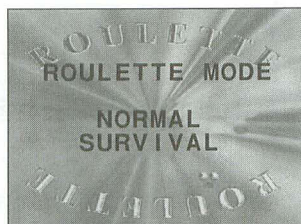
- ゲーム開始画面が出ます。
- [GAME START] 表示が緑色になっています。この状態でゲーム開始アイコンを選んでいます。

[GAME START] ：ゲームを始めます。
[EXIT] ：ゲームを中止して、再生オプション設定画面に戻ります。

ゲーム開始画面

オプション(ゲーム)機能について (つづき)

ルーレットゲームのモードを選択する

3 [セット]ボタンを押す

- ルーレットゲームのモード選択画面が出ます。

モード選択画面

4 方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、ルーレットゲームのモードを選ぶ

[NORMAL] : 表示している画像の中から1つをルーレットで選びます。(ノーマルモード)

[SURVIVAL] : 表示している画像の中から1つをルーレットで選びます。選んだ画像は、続けて行うルーレットの対象にはなりません。(サバイバルモード)

- 選択した表示が緑色になります。

5 [セット]ボタンを押す

- ルーレット画面が出ます。
- ルーレット画面には最新の画像8枚が出ますが、この画像は変えることができます。「画像の変更・消去のしかた」P109
- ノーマルモードの楽しみかたは、操作**6・7**を参照してください。
- サバイバルモードの楽しみかたは、操作6・7を参照してください。

ルーレット画面

ノーマルモードの楽しみかた

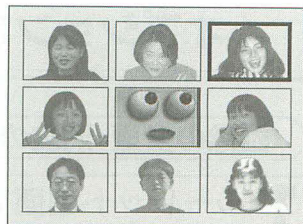
6 中央のイラストに緑色の枠がある状態で、[セット]ボタンを押す

- 画像を囲んでいる青色の枠が回転し始め、音声が聞こえます。

[NO IMAGE]表示が出る?
- 静止画像がないので、ゲームができません。まず、静止画像を撮影してください。

その他の操作

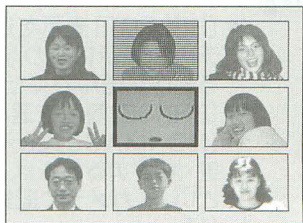
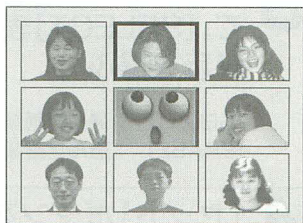
7 そのまま放置し、青色の枠の動きが止まるのを待つ

- 枠の動きが遅くなり、最後に1つの画像で止まります。画像を囲んでいる枠は、オレンジ色に変わります。(画像選択状態)
- 画像選択状態で、[セット]ボタンを押すと、選ばれた画像を拡大します。もう1度、[セット]ボタンを押すと、操作**5**の画面に戻ります。
- 画像選択状態で、[モード]ボタンを押すと、操作**5**の画面に戻ります。
- 操作**5**の画面にした後、[セット]ボタンを押すことにより、再びノーマルモードのルーレットゲームを楽しむことができます。
- ルーレットゲームを中断・終了するときは、110ページをご覧ください。

サバイバルモードの楽しみかた

6 中央のイラストに緑色の枠がある状態で、[セット]ボタンを押す

- 画像を囲んでいる青色の枠が回転し始め、音声が聞こえます。

7 そのまま放置し、青色の枠の動きが止まるのを待つ

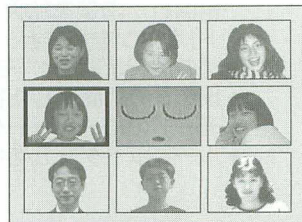
- 枠の動きが遅くなり、最後に1つの画像で止まります。画像を囲んでいる枠は、オレンジ色に変わります。(画像選択状態)
- 画像選択状態で、
  ① [セット]ボタンまたは[モード]ボタンを押すと、選ばれた画像に影がつきます。
    - この画像は、次のルーレットゲームから除外します。
  ② もう1度、[セット]ボタンを押すと、選択した画像を除いた画像でルーレットゲームを再開し、さらにもう1枚の画像を選びます。
    - [モード]ボタンを押すと、このゲームを中止し、操作**4**のルーレットゲームのモード選択画面になります。
  ③ ①と②を繰り返すと最後に1枚の画像が残り、最後に残った画像を拡大表示します。
- ルーレットゲームを中断・終了するときは、110ページをご覧ください。

ゲームの音声を消すには

- ルーレット画面(操作**5**)で、[インフォ]ボタンを押すと、音声の「入」と「切」の切り替えができます。[インフォ]ボタンを押すと、設定内容を[ON](音声「入」)または[OFF](音声「切」)で表示します。設定した後、約5秒間放置するか、[セット]ボタンを押すと設定内容表示が消えます。

オプション(ゲーム)機能について(つづき)

画像の変更・消去のしかた

1 ルーレット画面で方向ボタンを押して、変更・消去する画像を選ぶ

- 107ページ操作**5**の後、方向ボタンを押すと、緑色の枠が移動します。変更・消去する画像に緑色の枠を合わせます。

2 [セット]ボタンを押す

- SELECT/ERASE選択画面が出ます。

SELECT/ERASE選択画面

3 方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、[SELECT]表示または[ERASE]表示を選ぶ

[SELECT]：選んだ画像を他の画像に入れ替えます。
[ERASE] ：選んだ画像を消去します。

4 [セット]ボタンを押す

- [SELECT]表示を選んだ場合は、9画面マルチ再生表示になります。操作**5**で、入れ替える画像を選んでください。
- [ERASE]表示を選んだ場合は、画像が消えて[NO IMAGE]表示が出ます。他の画像を変更・消去するときは、操作**1**～**4**を行ってください。(カメラに記録している画像は消去しません。)

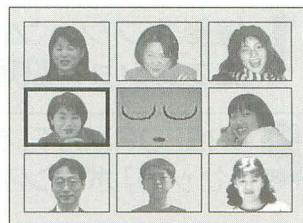
[SELECT]表示を選んだ場合

[ERASE]表示を選んだ場合

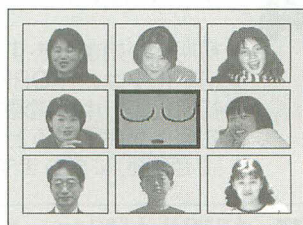
その他の操作

5 方向ボタンを押して、入れ替える画像に選択マーク[☝]を合わせ、[SET]ボタンを押す

入れ替える画像

- 選択した画像に入れ替わり、ルーレット画面に戻ります。

6 他の画像を変更・消去するときは、操作1〜5を行う

7 画像の変更・消去が終了したら、方向ボタンを押して、緑色の枠を中央に戻す

- 引き続き、107・108ページ操作**6・7**(ノーマルモードの楽しみかた)または、108ページ操作6・7(サバイバルモードの楽しみかた)を行ってください。

ルーレットゲームを中断・終了するには

- ルーレットゲームの途中(青色の枠がまわっている状態)で[モード]ボタンを押すと、枠の動きを止めてゲームを中断します。ゲームを再開するときは、[セット]ボタンを押してください。
  [モード]ボタンを押すと、押すごとに、1つ前の操作に戻り、ゲームを終了することができます。

その他の操作

カードの初期化

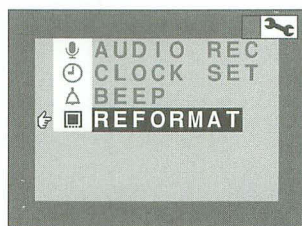
カードは本機に装着し、撮影した画像を記録するものです。本機を使用する前に必ず装着してください。「カードの装着と取り出しP20」

付属のコンパクトフラッシュを本機で最初に使用されるときや、静電気などによって正常に動作しなくなった場合は、以下の方法で初期化してください。
また、三洋製以外のコンパクトフラッシュをご使用になるときや、パソコンで初期化したときなども本機で初期化してください。
初期化しても正常に動作しない場合は、コンパクトフラッシュの破損が考えられますので、コンパクトフラッシュを交換してください。

重要：プロテクトしているデータP97でも、カードを初期化（フォーマット）すると、記録しているすべてのデータを消去しますので、ご注意ください。

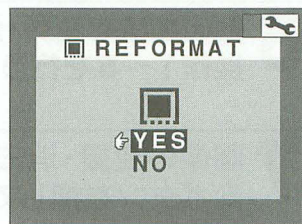
1 撮影オプション設定画面（または再生オプション設定画面）を出すP24

2 [REFORMAT]を選び、[セット]ボタンを押す

- 初期化確認画面が出ます。

3 方向ボタンの[▲]を押して、「YES」を選ぶ

初期化確認画面

4 [セット]ボタンを押す

- 初期化が始まります。
- 初期化中は、「FORMATTING」表示が出ます。
- 初期化実行中は電源を切らないでください。
- 初期化が完了すると、撮影オプション設定画面（または再生オプション設定画面）に戻ります。

■ 初期化が終わったら、電源を切る

- カードには寿命がありますので、長期間ご使用になるとデータの記録や再生ができなくなります。この時は新しいものをお買い求めください。
- カードへのアクセス中（アクセスランプ点滅または点灯時P21）に取り出したり、本機の電源を切ると記録したデータを破壊するおそれがあります。それらによる損害について当社は、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 「コンパクトフラッシュやマイクロドライブの取り扱い上のご注意P12」をお読みください。
- カードは必ず付属の保護ケースに入れて保管してください。

システム(別売機器)で楽しむには

本機をさらに活用していただくために、別売の機器を用意しています。

撮影した画像をパソコンで編集する

●パソコン接続キット　品番：PCK-SX150A*

本機で撮影した画像をパソコンで利用するために、「パソコン接続キット」を用意しています。「パソコン接続キット」を使うと、本機で撮影した画像の利用範囲が広がります。パソコン接続キットは、以下の製品がセットになっています。

＊商品は品番：PCK-SX150もあります。

■ 主なキット内容

- ●SANYO Software Pack 4.1* CD-ROM(ハイブリッドタイプ)・・・・・・・・・・・・・・・・・1枚
  - ・ユーティリティーソフトウェア　フォトラボ 4.0
    イメージエンハンス　マジック「Agfa PhotoGenie™」搭載
    (Windows 95/98/NT4.0、Macintosh)
  - ・QuickTime 4 Pro* (Windows 95/98/NT4.0、Macintosh)
  - ・ドライバソフトウェア　TWAINドライバ/Photoshopプラグイン
    (Windows 3.1/95/98/NT4.0、Macintosh)
  - ・動画対応デジカメ写真記(Windows95/98)
  - ・Ulead VideoStudio3.0 SE(Windows95/98/NT4.0)

  ＊パソコン接続キットが品番：PCK-SX150の場合、SANYO Software Packのバージョンは4.0、QuickTimeのバージョンはQuickTime 3 Pro(Windows 95/NT4.0、Macintosh)です。
- ●MGI PhotoSuite CD-ROM(ハイブリッドタイプ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1枚
  (Windows 3.1/95/98/NT4.0、Macintosh)
- ●PC接続ケーブル(D-SUB9ピン)・・・1本
- ●PC-9800シリーズ用変換アダプター(D-SUB9ピン→D-SUB25ピン)・・・・・・・・・・1個
- ●Macintosh用変換アダプター(D-SUB9ピン→ミニDIN8ピン)・・・・・・・・・・・・・・・・1個

■ 動作環境

Windows版

- ●OS：Windows®95/Windows®98/Windows NT®4.0(推奨Direct X ver3.0以上)
- ●CPU：i486DX4 100MHz以上(推奨Pentium MMX166MHz以上)
- ●メモリ：32MB以上(推奨64MB以上)
- ●ハードディスクの空き容量：30MB以上(フルインストール時90MB以上)
  (MGI PhotoSuite をインストールする場合はさらに38MB以上必要です)
  (動画対応デジカメ写真記をインストールする場合はさらに20MB以上必要です)
  (Ulead VideoStudio3.0 SEをインストールする場合はさらに80MB以上必要です)
- ●モニタ：800×600ドット、フルカラーまたはハイカラーを表示できること
- ●ドライブ：CD-ROMドライブ
- ●通信ポート：RS-232C端子(9ピンまたは25ピン)

Macintosh版

- ●OS：漢字Talk7.6.1以降、QuickTime3.0以降
- ●CPU：68040以上(推奨PowerPC)
- ●メモリ：システムを除いた空きエリアが30MB以上
- ●ハードディスクの空き容量：30MB以上(フルインストール時90MB以上)
  (MGI PhotoSuite をインストールする場合はさらに40MB以上必要です)
- ●モニタ：640×480ドット、256色以上(フルカラー推奨)を表示できること
- ●ドライブ：CD-ROMドライブ
- ●通信ポート：モデムポートまたはプリンタポート

● ソフトウェア（品番：PCK-SP150A*）
別売のパソコン接続キット（品番PCK-SX150A）のユーティリティーソフトウェア「フォトラボ」と「QuickTime」、「ドライバソフトウェア」を単独にパッケージしたものです。
この商品には、パソコン接続ケーブルが含まれていません。
パソコン接続ケーブルがない場合、以下の機能は使用することができません。
・画像と音声のダウンロード
・静止画のアップロード
・［カメラコントロール］を使用する機能
＊商品は品番：PCK-SP150もあります。

■ 主なキット内容

● SANYO Software Pack 4.1S* CD-ROM（ハイブリッドタイプ）……………1枚
・ユーティリティーソフトウェア　フォトラボ 4.0
イメージエンハンス　マジック「Agfa PhotoGenie™」搭載
（Windows 95/98/NT4.0、Macintosh）
・QuickTime 4 Pro*（Windows 95/98/NT4.0、Macintosh）
・ドライバソフトウェア　TWAINドライバ/Photoshopプラグイン
（Windows 3.1/95/98/NT4.0、Macintosh）
＊ソフトウェアが品番：PCK-SP150の場合、SANYO Software Packのバージョンは4.0S、QuickTimeのバージョンはQuickTime 3 Pro（Windows 95/NT4.0、Macintosh）です。

■ 動作環境

Windows版
● OS：Windows®95/Windows®98/Windows NT®4.0（推奨Direct X ver3.0以上）
● CPU：i486DX4 100MHz以上（推奨Pentium MMX166MHz以上）
● メモリ：16MB以上（推奨32MB以上）
● ハードディスクの空き容量：30MB以上（フルインストール時90MB以上）
● モニタ：800×600ドット、256色（フルカラー推奨）を表示できること
● ドライブ：CD-ROMドライブ
● 通信ポート：RS-232C端子（9ピンまたは25ピン）

Macintosh版
● OS：漢字Talk7.6.1以降、QuickTime3.0以降
● CPU：68040以上（推奨PowerPC）
● メモリ：システムを除いた空きエリアが30MB以上
● ハードディスクの空き容量：30MB以上（フルインストール時90MB以上）
● モニタ：640×480ドット、256色以上（フルカラー推奨）を表示できること
● ドライブ：CD-ROMドライブ
● 通信ポート：モデムポートまたはプリンタポート

その他の別売機器

● ACアダプター（品番：DSA-34）
本機に接続できる専用のACアダプターです。

● ニッケル水素電池（品番：HR-3US×2、HR-3US×4）
単3形ニッケル水素電池がセットになっています。
・HR-3US×2　：HR-3US　　2本パック
・HR-3US×4　：HR-3US　　4本パック

● コンパクトフラッシュ（品番：KA-DSM-C32D）
メモリ容量32MBのコンパクトフラッシュです。

困った状態になったとき

	困った状態	原　因	このようにしてください	参照ページ
電源	電源が入らない	レンズカバーが閉じている（撮影の場合）	レンズカバーを開ける	22
		電池が消耗している	電池を充電するか、充電済み電池と交換する	17・19
		電池の入れかたがまちがっている	極性(⊕⊖)に注意し、正しく入れる	
		電池カバーを完全に閉じていない	電池カバーを完全に閉じる	
		寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットなどで温めてから使用する	39
撮影	シャッターボタンを押しても撮影ができない	電源が入っていない	パワーセーブ機能が働いているときは、レンズカバーを開閉するか、シャッターボタンを1回押して電源を入れた後、撮影する	23
		スタンバイランプが赤色で点滅している（撮影準備状態）	スタンバイランプが緑の点灯になるまで待ってから撮影する	16
		撮影可能枚数いっぱいに撮影している（スタンバイランプが赤色で点灯し、液晶モニターの撮影可能枚数表示が[0]になっている）	カードを交換する	21
			不要な画像を消去してから撮影する 必要な画像は保存してから消去する	42・98
	フラッシュが光らない	フラッシュの設定が発光禁止になっている	強制発光または自動発光の設定にする	59
		被写体が明るくて、本機がフラッシュ発光の必要がないと判断した	故障ではありません そのまま撮影してください。	
		電池が消耗している	電池を充電するか、充電済み電池と交換する	17・19
液晶モニター	寒い所で使用すると、画像が尾を引いて見えることがある	液晶の性質による現象	故障ではありません 輝点などは液晶モニターにのみ現れるもので、記録することはありません。	
	赤、青、緑などの輝点が点灯したままになることや、小さな黒点が見えることがある			
	液晶モニターのまわりが少し熱を持つ	内部の構造による現象	故障ではありません	
	撮影時、液晶モニターに画像が出ない	レンズカバーが開いていない、または、メインスイッチが[モニター切]になっている	メインスイッチを[カメラ]にし、レンズカバーを開ける	52
	再生画像が出ない	メインスイッチが[再生]になっていない	メインスイッチを[再生]にする	73

付録

困った状態になったとき（つづき）

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	ピントが合っていない	被写体との距離が近すぎる	15～50cmの範囲では、フォーカスを[ ](マクロ撮影)にする	51・57・58
		フォーカスの設定が正しくない	通常撮影では50cm以上離れ、フォーカスを[ ](通常撮影)にする	
		シャッターボタンを押すときにカメラが動いた	カメラを正しく構え、シャッターボタンを半分押し、ピントを固定してから、さらにシャッターボタンを静かに押す	51・52
		フォーカスロックができていない		
			スローシャッターで撮影するときは、三脚などでカメラを固定する	68
		レンズが汚れていた	レンズをきれいにする	11
	画像が暗い	フラッシュを指などで覆っていた	カメラを正しく構え、フラッシュに指などがかからないようにする	50
		被写体が遠くにあった	フラッシュ撮影可能範囲内(2.1m以内)で撮影する	59
		逆光で撮影した	強制発光モードで撮影する	
			露出補正をする	63
		光量が不足していた	スローシャッターの設定をする	68
			ISO感度を設定する	69
	画像が明るすぎる	フラッシュを強制発光に設定していた	強制発光以外のフラッシュモードにする	59
		被写体が明るすぎた	カメラの向きを変えるなどの工夫をする	
			露出補正をする	63
		スローシャッターの設定が正しくない	スローシャッターの設定をOFFにする	68
		ISO感度の設定が正しくない	ISO感度の設定をAUTOにする	69
	室内で撮影した画像の色がおかしい	照明の影響を受けている	フラッシュを強制発光に設定して撮影する	59
		ホワイトバランスの設定が正しくない	ホワイトバランスの設定を正しくする	70
	画像の一部が欠けている	レンズに指やストラップなどがかかっていた	カメラを正しく構え、レンズに指やストラップなどがかからないようにする	50
		近くで撮影した	被写体が近い場合は、ファインダーの近距離補正マーク内で撮影する 液晶モニターで構図を確認して撮影する	58
	画像が出ない(?表示が出る)	本機以外のデジタルカメラで撮影したカードを使用すると、誤動作することがある	本機で撮影したカードを再生する	111

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
音声の再生	音声が出ない	カメラの音量設定が小さくなっている	音量アイコン🔉を選び、音量を調整する	75
		撮影時音声の記録をしていない	ボイスメモの追加を設定して、マイクに向かってしゃべる	89
	マイクロドライブ使用時、音声にノイズが入っている	マイクロドライブの駆動音が録音されている（機構上の現象）	故障ではありません	
テレビでの再生	画像・音声が出ない	カメラとテレビの接続がまちがっている	正しく接続する	83
		テレビの入力が［テレビ］入力になっている	テレビの入力を「ビデオ」入力にする	83
	音声が出ない	テレビのボリュームが小さくなっている	テレビのボリュームを調整する	83
		カメラの音量設定が小さくなっている	音量アイコン🔉を選び、音量を調整する	75
	メインスイッチを［再生］に切り替えたときノイズが聞こえることがある	機構上の現象	故障ではありません	
その他	カメラの操作ができない	カメラの回路が一時的に異常になった	電池を取り外してしばらく放置した後、電池を入れ直してください。	
	［システムエラー］表示が出た	カメラ内部やカードなどに異常が発生した	下記の項目をそれぞれ確認してください ①カードをカメラから取り出し、再度カードを入れる ②電池を取り出し、再度電池を入れる ③電池を取り出し、１時間程度放置した後、電池を入れ直す ④他のカードと交換し、確認する 上記を確認いただいても［システムエラー］表示が出る場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。	

付録

仕　様

デジタルカメラの仕様

形式	CCDデジタルカメラ（記録・再生型）
記録方式	デジタル記録
記録画像ファイルフォーマット	静止画像：JPEG形式、TIFF（非圧縮）形式（DCF，DPOF準拠） （注）DCFは（社）日本電子工業振興協会（JEIDA）で主として、DSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。 動画クリップ：QuickTime ムービー 音声：wav（モノラル）
記録媒体	コンパクトフラッシュ（3.3V） マイクロドライブ（3.3V）
撮像素子	1/2インチCCD固体撮像素子、150万画素（総画素数）
記録画素数	1,360×1024ピクセル（静止画・連写撮影のみ） 640×480ピクセル（静止画・連写・動画クリップ撮影） 320×240ピクセル（動画クリップ撮影のみ） 160×120ピクセル（動画クリップ撮影のみ）
画像圧縮	TIFF（非圧縮）（静止画撮影時のみ） FINE（低圧縮） NORM（中圧縮）
ホワイトバランス	フルオートTTL、マニュアル設定可能
レンズ	f＝7mm、オートフォーカス 5群5枚（35mmフィルムカメラ換算38mmレンズに相当）
絞り	F2.4－8
露出制御方式	絞り・シャッター可変プログラム露出制御（撮影設定画面による露出補正あり）
撮影範囲	50cm～∞（通常撮影）、15cm～50cm（マクロ撮影）
デジタルズーム	撮影時 静止画撮影モード・連写撮影モード（解像度 640 ）：1倍、2倍（2段階） 動画撮影モード（解像度 320 ）：1倍、2倍（2段階） 動画撮影モード（解像度 160 ）：1倍、2倍、4倍（3段階） 再生時 1.0～21倍（解像度により異なる）
シャッター	1/4～1/10,000秒（スローシャッター時：4、3、2、1.5、1秒） （フラッシュ発光時：1/30～1/500秒）
感度	自動（ISO100～200相当）/ISO100、200、400相当（マニュアル撮影設定画面による切り替え）
ファインダー	光学実像式ファインダー（近距離補正マーク付き）

デジタルカメラの仕様(つづき)

液晶モニター		1.8インチ低温ポリシリコンTFTカラー液晶
液晶モニター画素数		約110,000画素
フラッシュ撮影範囲		0.5m～2.1m(通常撮影)、0.15m～0.5m(マクロ撮影)
フラッシュモード		自動発光、強制発光、発光禁止
オートフォーカス		TTL方式AF
セルフタイマー		作動時間約10秒
日付・時刻		撮影時画像データに同時記録(自動カレンダー機能：1970～2105年まで)
使用環境	温度	0～40℃(動作時)、－20～60℃(保管時)
	湿度	30～90%(動作時、非結露)、10～90%(保管時、非結露)
電源	電池	単3形ニッケル水素電池(HR-3US)×2本
	ACアダプター(別売)	DSA-34
大きさ		110(幅)×63(高さ)×40(奥行き)mm
質量		約220g(電池・カード別)

デジタルカメラ各端子の仕様

DIGITAL/AV OUT(通信/音声・映像出力)端子	専用ジャック	
	音声出力	207mVrms(－12dBs)・2.2kΩ以下・モノラル
	映像出力	1.0Vp-p・75Ω不平衡・同期負・コンポジットビデオ、日米標準NTSCカラーTV方式
	RS-232Cシリアルポート(230kbps max)	
DC IN(外部電源入力)端子	DC3.4V(別売ACアダプターDSA-34専用)	

電池使用可能時間

撮影時	200枚：液晶モニターを消灯し、20秒間隔で撮影、フラッシュを3回に1回の割合で発光した場合
	100枚：液晶モニターを点灯し、20秒間隔で撮影、フラッシュを3回に1回の割合で発光した場合
再生時	50分：液晶モニターを点灯し、連続して再生した場合

・付属のコンパクトフラッシュと十分に充電した付属の電池を使い、常温(20℃)で当社測定条件のもと、電池が切れるまでのおおよその値です。
・電池の状態や測定条件により、使用可能時間が変わります。特に10℃以下の低温状態で使用したときは、電池の特性により使用可能時間が極端に短くなります。

仕　様（つづき）

撮影可能枚数/撮影可能時間/録音可能時間

本機に付属しているコンパクトフラッシュ（8MB）と、市販のマイクロドライブ（340MB）を使用した場合の記録枚数と記録時間は以下のとおりです。

撮影/録音モード設定	解像度設定	圧縮率設定/音質設定	コンパクトフラッシュ（8MB）使用時		マイクロドライブ（340MB）使用時	
			シャッターボタンを1回押した時の最大撮影枚数/撮影時間/録音時間	メディア内最大記録枚数/記録時間	シャッターボタンを1回押した時の最大撮影枚数/撮影時間/録音時間	メディア内最大記録枚数/記録時間
静止画撮影モード（ボイスメモなし）	1360	TIFF FINE NORM	― ― ―	1枚 19枚 31枚	― ― ―	83枚 840枚 1360枚
	640	FINE NORM	― ―	74枚 120枚	― ―	2730枚 5460枚
静止画撮影モード（ボイスメモあり）	1360	TIFF FINE NORM	― ― ―	1枚 17枚 27枚	― ― ―	82枚 780枚 1210枚
	640	FINE NORM	― ―	56枚 77枚	― ―	2180枚 2730枚
連写撮影モード	1360	FINE NORM	15枚 20枚	19枚 31枚	15枚 20枚	840枚 1360枚
	640	FINE NORM	40枚 40枚	74枚 120枚	40枚 40枚	2730枚 5460枚
動画クリップ撮影モード	640	NORM	10秒※	10秒	5分	約7分30秒
	320	FINE NORM	24秒※ 45秒※	24秒 45秒	5分 5分	約18分 約35分
	160	NORM	1分05秒※	1分05秒	5分	約50分
音声記録モード	―	FINE	8分15秒	8分15秒	15分	約6時間10分
	―	NORM	15分	16分30秒	15分	約12時間20分

・同じ容量のカードでも、メーカーや種類が違うと撮影枚数など上記数値が異なることがあります。

※別売の32MBコンパクトフラッシュを使った場合、カメラ本体の1動画クリップ最大撮影可能時間は解像度640：15秒、解像度320・圧縮率FINE：30秒、解像度320・圧縮率NORM：1分、解像度160：2分となります。

マイクロドライブ使用時のご注意：

・マイクロドライブを連続使用したときは、カードが高温になりますので、カードの取り出し時にはご注意ください。

・マイクロドライブを使用したときは、電源を入れてから使用できるまで数秒かかります。この現象は、記録しているデータが多くなればなるほど長くかかる傾向になります。

・多くのデータを[GROUP ERASE]で消去するとき、時間がかかります。
（例：約2000枚の静止画を[GROUP ERASE]で消去するときは、約1分かかります。）

・マイクロドライブに多くのデータを記録し、パソコンにダウンロードする場合は、非常に多くの時間を要します。（例：340MBのマイクロドライブに静止画（解像度640）を約2500枚撮影し、別売のパソコン接続キットP112を使って、通信速度115kbpsでダウンロードした場合、約13時間かかります。）

・マイクロドライブは、消費電力が多いため、電池使用可能時間P118がコンパクトフラッシュ使用時にくらべて短くなります。

・マイクロドライブは振動に弱い構造になっています。その他にも取り扱い上の注意がありますので、詳しくは機器に付属の取扱説明書をよくお読みください。

付属のコンパクトフラッシュの仕様

メモリの容量		8MB
使用環境	温度	0～60℃（動作時） −20～65℃（保管時）
	湿度	8～95%（使用時・保管時）（結露しないこと）
動作電圧		3.3V/5V
大きさ		42.8（たて）×36.4（よこ）×3.3（厚み）mm
質量		約9g

付属の充電器の仕様

品番		NC-SVC02
電源		AC100V・50-60Hz、5VA
定格出力		DC1.5V、650mA×2
適合電池		付属または別売の単3形ニッケル水素電池（HR-3US、HR-3U） 別売の単3形ニカド電池（N-3US、N-3U）
使用環境	温度	0～40℃（充電時）、−20～60℃（保管時）
	湿度	45～85%
大きさ		50（幅）×123（高さ）×43（奥行き）mm（電源プラグの刃は含まず）
質量		約255g

付属のニッケル水素電池の仕様

品番		HR-3US（単3形ニッケル水素電池）
電圧		1.2V
容量		1,600mAh
使用環境	温度	0～40℃（充電時） 0～50℃（放電時） −20～30℃（保管時）
	湿度	45～85%
質量		約27g（1本）

● 外観および仕様は、お断りなしに変更する場合があります。ご了承ください。

付録

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ…

家電製品についてのご相談や、修理のご依頼は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は…

下記の相談窓口にお問い合わせください。

総合相談窓口
家電製品についての全般的なご相談

修理相談窓口
修理サービスについてのご相談

総合相談窓口

◆北海道地区
☎札　幌(011)290-1522

◆東北地区
☎仙　台(022)714-6137

◆関東地区
☎東　京(03)3815-1111

◆中部・北陸地区
☎名古屋(052)533-5245

◆近畿・四国地区
☎大　阪(06)6994-9570

◆中国地区
☎広　島(082)544-6036

◆九州・沖縄地区
☎福　岡(092)263-7629

■営業時間
月曜日～金曜日(祭日および当社の休日を除く)
9:00～12:00、13:00～17:00

郵便・FAXでご相談される場合は

◆東京お客さまセンター
FAX(03)5803-3699
〒113-8434 東京都文京区本郷3-10-15

◆大阪お客さまセンター
FAX(06)6994-9510
〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5

修理相談窓口

■営業時間
月曜日～土曜日
(祭日および当社の休日を除く)
9:00～12:00、13:00～17:30

北海道地区

三洋電機サービス(株) 北海道支店
☎(011)831-9200
〒003-0013 札幌市白石区中央3条4-1-36

札　幌 ☎(011)831-9201
〒003-0013 札幌市白石区中央3条4-1-36

函　館 ☎(0138)22-6745
〒040-0036 函館市東雲町2-4

旭　川 ☎(0166)22-2421
〒070-0073 旭川市曙北3条7-4

北　見 ☎(0157)23-4871
〒090-0037 北見市山下町4-7-14

釧　路 ☎(0154)22-1576
〒085-0021 釧路市浪花町7-7

帯　広 ☎(0155)24-4973
〒080-0016 帯広市西6条南5-3-8

東北地区

三洋電機サービス(株) 東北支店
☎(022)382-5616
〒981-1225 宮城県名取市飯野坂3-4-8

■青森県
青　森 ☎(0177)76-6524
〒030-0843 青森市大字浜田字玉川343番地

八　戸 ☎(0178)28-9225
〒039-1103 八戸市長苗代字観音堂50-5

■秋田県
秋　田 ☎(018)862-6551
〒010-0925 秋田市旭南3-2-67

■岩手県
盛　岡 ☎(019)635-0136
〒020-0863 盛岡市南仙北1-13-6

■山形県
山　形 ☎(023)641-1769
〒990-2432 山形市荒楯町1-21-30

■宮城県
仙　台 ☎(022)384-0444
〒981-1225 名取市飯野坂3-4-8

■福島県
郡　山 ☎(024)945-6793
〒963-0111 郡山市安積町荒井字戸閫塔1-7

関東地区

三洋電機サービス(株) 関東支店
☎(048)443-9111
〒335-0026 埼玉県戸田市新曽南3-16-3

■東京都
城　北 ☎(03)3958-1261
〒173-0021 板橋区弥生町72-5

城　東 ☎(03)3607-3191
〒125-0051 葛飾区新宿4-10-15

江　東 ☎(03)3685-8166
〒136-0071 江東区亀戸1-8-6

城　南 ☎(03)3421-5171
〒154-0003 世田谷区野沢3-5-3

関東地区

■東京都
城　西 ☎(03)3376-3361
〒151-0073 渋谷区笹塚3-1-13

府　中 ☎(042)364-7721
〒183-0045 府中市美好町2-3-1

■群馬県
高　崎 ☎(027)362-1151
〒370-0001 高崎市中尾町池の内441

太　田 ☎(0276)46-3821
〒373-0852 太田市新井町211-2

■神奈川県
横　浜 ☎(045)939-0281
〒224-0054 横浜市都筑区佐江戸町788番地
富士商工 第二ビル

横須賀 ☎(0468)65-8362
〒237-0062 横須賀市浦郷町5-2931-22

平　塚 ☎(0463)55-3926
〒254-0014 平塚市四之宮842

相模原 ☎(042)742-2272
〒228-0805 相模原市豊町17-11

■埼玉県
大　宮 ☎(048)664-2319
〒330-0038 大宮市宮原町1-30

狭　山 ☎(042)952-8151
〒350-1334 狭山市狭山42-12

熊　谷 ☎(048)532-4555
〒360-0831 熊谷市大字久保島961-5

■千葉県
千　葉 ☎(043)241-7311
〒260-0025 千葉市中央区問屋町5-20

松　戸 ☎(047)341-9135
〒270-0023 松戸市八ケ崎2-1-1

船　橋 ☎(0474)69-2431
〒274-0063 船橋市習志野台4-11-6
マルトミビル 2階

■山梨県
甲　府 ☎(055)226-2561
〒400-0035 甲府市飯田4-9-14

■栃木県
宇都宮 ☎(028)653-2811
〒321-0106 宇都宮市上横田町1302-12

■茨城県
水　戸 ☎(029)251-4125
〒310-0044 水戸市西原2-2-26

つくば ☎(0298)64-4751
〒300-3261 つくば市花畑2-15-3

新潟・北陸地区

■新潟県
新　潟 ☎(025)285-2431
〒950-0971 新潟市近江244

長　岡 ☎(0258)24-0705
〒940-0029 長岡市東蔵王2-3-46

上　越 ☎(0255)43-3535
〒942-0074 上越市石橋2-2-9

新潟・北陸地区

■石川県

金　沢 ☎(076)237-7811
〒920-0062 金沢市割出町627

■富山県

富　山 ☎(076)422-7020
〒939-8211 富山市二口町1-13-8

■福井県

福　井 ☎(0776)22-6082
〒918-8231 福井市問屋町1-17

中部地区

三洋電機サービス(株) 中部支店
☎(0586)71-6960
〒491-0032 愛知県一宮市下沼町3-21-1

■愛知県

名古屋 ☎(052)451-3161
〒453-0804 名古屋市中村区黄金通5-10

岡　崎 ☎(0564)23-3418
〒444-0065 岡崎市柿田町1-2

一　宮 ☎(0586)71-4181
〒491-0032 一宮市下沼町3-21-1

■静岡県

静　岡 ☎(054)261-4151
〒420-0813 静岡市長沼885

沼　津 ☎(0559)63-1000
〒410-0861 沼津市真砂町3-1

浜　松 ☎(053)461-8685
〒435-0016 浜松市和田町795-2

■長野県

松　本 ☎(0263)26-1107
〒390-0835 松本市高宮東1-35

長　野 ☎(026)227-0504
〒380-0913 長野市大字川合新田字古屋敷北4222-41

■岐阜県

岐　阜 ☎(058)246-3417
〒500-8152 岐阜市入舟町4-33

大　垣 ☎(0584)73-1573
〒503-0837 大垣市安井町6-5-1

■三重県

津 ☎(059)228-8126
〒514-0838 津市岩田町10-3

三　重 ☎(0593)51-2128
〒510-0081 四日市市北町3-8

近畿地区

三洋電機サービス(株) 近畿支店
☎(06)6993-2251
〒570-0086 大阪府守口市竹町4—13

■大阪府

大阪南 ☎(06)6631-4001
〒556-0015 大阪市浪速区敷津西2-10-9

大阪東 ☎(0720)72-6502※
〒574-8534 大東市三洋町1-1 306号棟

大　阪 ☎(06)6992-6235
〒570-0086 守口市竹町4-13

近畿地区

■大阪府

阪　和 ☎(0722)21-8571
〒590-0959 堺市大町西3-1-16

■奈良県

奈　良 ☎(0744)22-7888
〒634-0837 橿原市曲川町7-1-31

■兵庫県

阪　神 ☎(06)6419-4081
〒660-0053 尼崎市南七松町2-4-25

神　戸 ☎(078)651-3951
〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2-1-11

姫　路 ☎(0792)96-2141
〒670-0981 姫路市西庄字八町108

洲　本 ☎(0799)22-2702
〒656-0101 洲本市納字横竹308-1

■和歌山県

和歌山 ☎(0734)36-3110
〒641-0006 和歌山市中島369

■京都府

京　都 ☎(075)672-0877
〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町41

福知山 ☎(0773)27-3458
〒620-0856 福知山市土師宮町1-66

■滋賀県

大　津 ☎(077)545-4221
〒520-2134 大津市瀬田1-1-5

四国地区

■香川県

四　国 ☎(087)843-1840
〒761-0104 高松市高松町2175-10

■愛媛県

新居浜 ☎(0897)40-5034
〒792-0043 新居浜市土橋1-5-7

松　山 ☎(089)971-3342
〒791-8036 松山市高岡町148-1

■高知県

高　知 ☎(088)860-0229
〒781-5106 高知市介良乙1044

■徳島県

徳　島 ☎(088)699-4131
〒771-0219 徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓150-2

中国地区

三洋電機サービス(株) 中国支店
☎(082)293-6511
〒733-0012 広島市西区中広町3-17-5

■広島県

広　島 ☎(082)293-6511
〒733-0012 広島市西区中広町3-17-5

福　山 ☎(0849)25-3455
〒720-0077 福山市南本庄3-1-48

■岡山県

岡　山 ☎(086)245-1634
〒700-0973 岡山市下中野703-101

中国地区

■島根県

松　江 ☎(0852)23-1183
〒690-0017 松江市西津田4-1-14

■山口県

山　口 ☎(0839)73-3391
〒754-0024 山口県吉敷郡小郡町若草町2-6

徳　山 ☎(0834)22-0668
〒745-0025 徳山市築港町12-1

■鳥取県

鳥　取 ☎(0857)24-2930
〒680-0843 鳥取市南吉方3-107

九州地区

三洋電機サービス(株) 九州支店
☎(092)924-3434
〒818-8534 福岡県筑紫野市紫6-1-1

■福岡県

福　岡 ☎(092)928-3414
〒818-8534 筑紫野市紫6-1-1

北九州 ☎(093)521-5286
〒802-0023 北九州市小倉北区下富野2-10-28

久留米 ☎(0942)21-3534
〒830-0052 久留米市上津町字赤坂1890-2

■長崎県

長　崎 ☎(095)824-5628
〒850-0012 長崎市本河内町922

佐世保 ☎(0956)31-7635
〒857-1162 佐世保市卸本町17-1

■熊本県

熊　本 ☎(096)357-1122
〒861-4106 熊本市南高江町3-2-88

■大分県

大　分 ☎(097)543-3454
〒870-0822 大分市大道町3-4-32

■宮崎県

宮　崎 ☎(0985)29-3441
〒880-0036 宮崎市花ケ島町観音免883

■鹿児島県

鹿児島 ☎(099)251-4615
〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-10

沖縄地区

■沖縄県

沖　縄 ☎(098)878-3411
〒901-2133 浦添市城間4-35-5
沖縄三洋販売(株) サービス部

付録

上記のお客さまご相談窓口の名称、所在地、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

※平成12年1月1日から、(072)872に変わります。

121009X(99-4)

アフターサービスについて

■この商品は保証書を別途添付しております。
保証書は販売店でお渡しいたしますから、所定事項の記入および記載内容を確認いただき、
大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です

- 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
- 当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、最低8年保有しています。
- なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口 P121 」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1. 故障の状況(できるだけくわしく)
2. 品番(DSC-SX150)
3. 製造番号(保証書に記入)
4. お買い上げ年月日(保証書に記入)
5. おなまえ、おところ、電話番号

総合相談窓口

営業時間　月曜日～金曜日(祭日および当社の休日を除く)　9:00～12:00、13:00～17:00

家電製品についての全般的なご相談は下記にお問い合わせください。

- ◆北海道地区　☎札　幌(011)290-1522
- ◆東北地区　☎仙　台(022)714-6137
- ◆関東地区　☎東　京(03)3815-1111
- ◆中部・北陸地区　☎名古屋(052)533-5245
- ◆近畿・四国地区　☎大　阪(06)6994-9570
- ◆中国地区　☎広　島(082)544-6036
- ◆九州・沖縄地区　☎福　岡(092)263-7629

郵便・FAXでご相談される場合は

◆東京お客さまセンター
FAX(03)5803-3699
〒113-8434 東京都文京区本郷3-10-15

◆大阪お客さまセンター
FAX(06)6994-9510
〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または「修理相談窓口 P121 」にお問い合わせください。

本商品に関するご相談は下記にお問い合わせください。
受付時間：月曜日～金曜日（祭日および当社の休日を除く）9:00～11:50、13:15～17:00
記録メディア事業部　国内販売部　　電話　大東(0720)70-4184(直通)※

●お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。
お問い合わせなどのときに便利です。

品　番	DSC-SX150
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ販売店	電話(　)　―
もよりのお客さまご相談窓口	電話(　)　―

三洋電機株式会社

本　社　〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
電話　大阪(06)6991-1181(代表)

マルチメディアカンパニー　記録メディア事業部　国内販売部
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1
電話　大東(0720)70-4184(直通)※

※平成12年1月1日から、(072)870に変わります。

1AG6P1P0605--A
SX112/J (1199HS-SY02)